

能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書(案)

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて

令和 2(2020)年 8 月

能勢町

目次

調査の目的	1
調査の概要	1
調査結果	2
回答者の属性について	2
問1 あなたのご家族や生活状況について	3
問 1-1 家族構成をお教えてください	3
問 1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	4
問 1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	8
問 1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	9
問 2 からだを動かすことについて	10
問 2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	10
問 2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	11
問 2-3 15 分位続けて歩いていますか	12
問 2-4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか	13
問 2-5 転倒に対する不安は大きいですか	15
問 2-6 週に 1 回以上は外出していますか	16
問 2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	17
問 2-8 外出を控えていますか	18
問 2-9 外出する際の移動手段は何ですか	21
問3 食べることについて	24
問 3-1 身長・体重	24
問 3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	26
問 3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか	27
問 3-4 口の渇きが気になりますか	27
問 3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	27
問 3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください	28
問 3-7 この 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか	31
問 3-8 どなたかと食事をともにする機会がありますか	33
問4 毎日の生活について	34
問 4-1 物忘れが多いと感じますか	34
問 4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	35
問 4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか	36
問 4-4 バスや電車を使って 1 人で外出していますか	37
問 4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか	38
問 4-6 自分で食事の用意をしていますか	40
問 4-7 自分で請求書の支払いをしていますか	41
問 4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか	43
問 4-9 年金などの書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか	44
問 4-10 新聞を読んでいますか	45
問 4-11 本や雑誌を読んでいますか	46
問 4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか	47
問 4-13 友人の家を訪ねていますか	48

問 4-14	家族や友人の相談にのっていますか	49
問 4-15	病人を見舞うことができますか	50
問 4-16	若い人に自分から話しかけることがありますか	51
問 4-17	趣味はありますか	52
問 4-18	生きがいはありますか	53
問5	地域での活動について	55
問 5-1	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか	55
問 5-2	地域活動への参加者としての参加意向	57
問 5-3	地域活動へのお世話役としての参加意向	59
問6	たすけあいについて	60
問 6-1	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか	60
問 6-2	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか	61
問 6-3	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか	63
問 6-4	あなたが看病や世話をしてあげる人はいますか	64
問 6-5	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか	66
問 6-6	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか	67
問 6-7	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか	67
問 6-8	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか	68
問7	健康について	69
問 7-1	現在のあなたの健康状態はいかがですか	69
問 7-2	あなたは、現在どの程度幸せですか	70
問 7-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	75
問 7-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	75
問 7-5	お酒は飲みますか	76
問 7-6	タバコは吸っていますか	76
問 7-7	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか	77
問8	認知症にかかる相談窓口の把握について	79
問 8-1	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	79
問 8-2	認知症に関する相談窓口を知っていますか。	79
問9	その他	81
問 9-1	地域包括支援センターを知っていますか	81
問 9-2	能勢町に高齢者の入所施設ができた場合、入所を希望されますか	81
問 9-3	あなたが認知症になったり、体調が悪くなって医療・介護を長期に受けるようになったとき、どのような医療・介護のサービスを希望しますか	83
問 9-4	ご家庭でどの程度の頻度で血圧を測っていますか	85
問 9-5	あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思っていますか	86
問 9-6	これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか	88

能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

報告書(案)

調査の目的

能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、能勢町第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にむけて、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに地域の抱える課題の特定に資することなどを目的として実施しました。

調査の概要

調査期間	令和2年 5 年 25 日～6 月 19 日
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
調査対象者	介護保険第 1 号被保険者のうち、非認定者、介護保険要支援認定者及び事業対象者
調査対象者数	3,391
有効回答	2,620
回収率	77.3%

調査結果

第7期介護保険計画策定に向けた「能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」(平成29年7月、有効回答2344。以下、「前回調査」)との比較検討を行いました。

回答者の属性について

■ 調査票を記入されたのはどなたですか。

あて名のご本人が記入	2,162	82.5%
ご家族が記入	173	6.6%
その他	10	0.4%
無回答	275	10.5%
計	2,620	100.0%

■ 回答者の性別

	回答数	構成比
男性	1,238	47.3%
女性	1,382	52.7%
計	2,620	100.0%

■ 回答者の年齢階級

	全体		男性		女性	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
65～69 歳	717	27.4%	353	28.5%	364	26.3%
70～74 歳	822	31.4%	405	32.7%	417	30.2%
75～79 歳	526	20.1%	240	19.4%	286	20.7%
80～84 歳	325	12.4%	153	12.4%	172	12.4%
85～89 歳	163	6.2%	62	5.0%	101	7.3%
90～94 歳	55	2.1%	21	1.7%	34	2.5%
95 歳以上	12	0.5%	4	0.3%	8	0.6%
計	2,620	100.0%	1,238	100.0%	1,382	100.0%
前期高齢者(再掲、65～74 歳)	1,539	58.7%	758	61.2%	781	56.5%
後期高齢者(再掲、75 歳以上)	1,081	41.3%	480	38.8%	601	43.5%

■ 回答者の要介護状態区分

	回答数	構成比
要支援 1	70	2.7%
要支援 2	55	2.1%
要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	39	1.5%
上記以外の高齢者	2,456	93.7%
計	2,620	100.0%

問1 あなたのご家族や生活状況について

問 1-1 家族構成をお教えてください

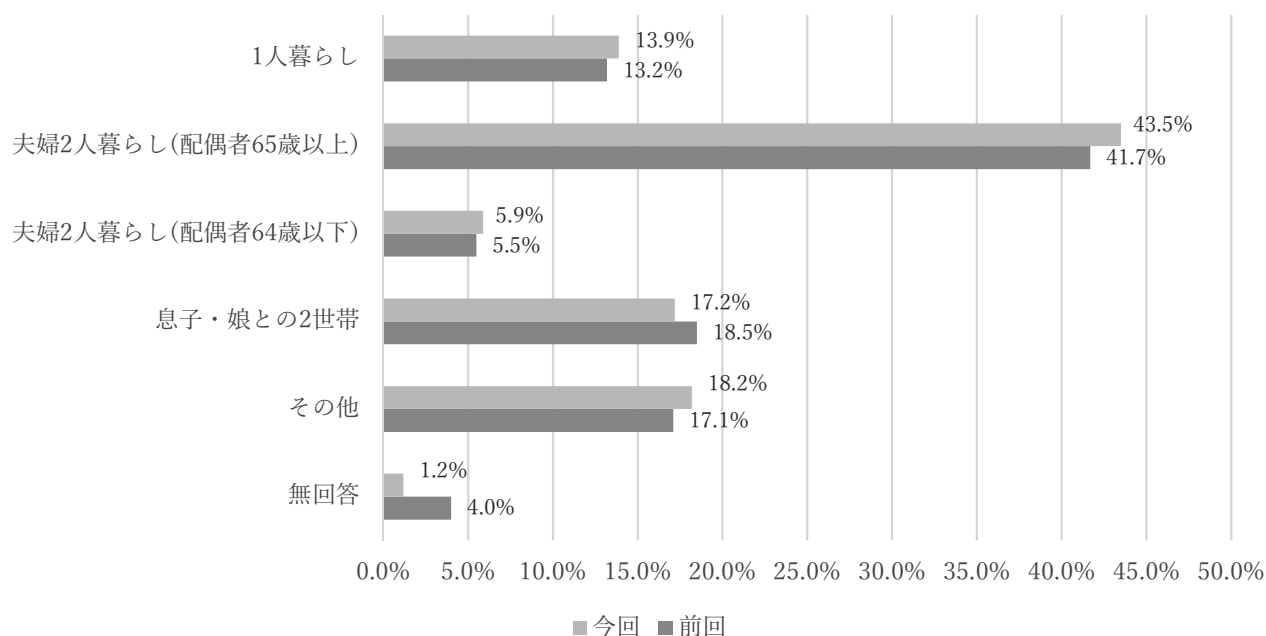
「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 43.5%、「夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)」が 5.9%と、「夫婦 2 人暮らし」の合計は 49.4%と、ほぼ半数を占めています。「1 人暮らし」は 13.9%であり、「高齢者のみの世帯」の合計は 57.5%に達しています。

前回調査と比べると、今回の方が「1 人暮らし」、「夫婦 2 人暮らし」とも、わずかに上回っており、「高齢者のみの世帯」の合計では 2.5 ポイント上回っています。

表 1-1 家族構成

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
1 人暮らし	365	13.9%	310	13.2%	0.7 ポイント
夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)	1,141	43.5%	978	41.7%	1.8 ポイント
夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)	154	5.9%	128	5.5%	0.4 ポイント
息子・娘との 2 世帯	450	17.2%	434	18.5%	△1.3 ポイント
その他	478	18.2%	401	17.1%	1.1 ポイント
無回答	32	1.2%	93	4.0%	△2.8 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	
夫婦二人暮らし(再掲)	1,295	49.4%	1,106	47.2%	2.2 ポイント
高齢者のみ世帯(再掲)	1,506	57.5%	1,288	54.9%	2.5 ポイント

図1-1 家族構成



問 1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

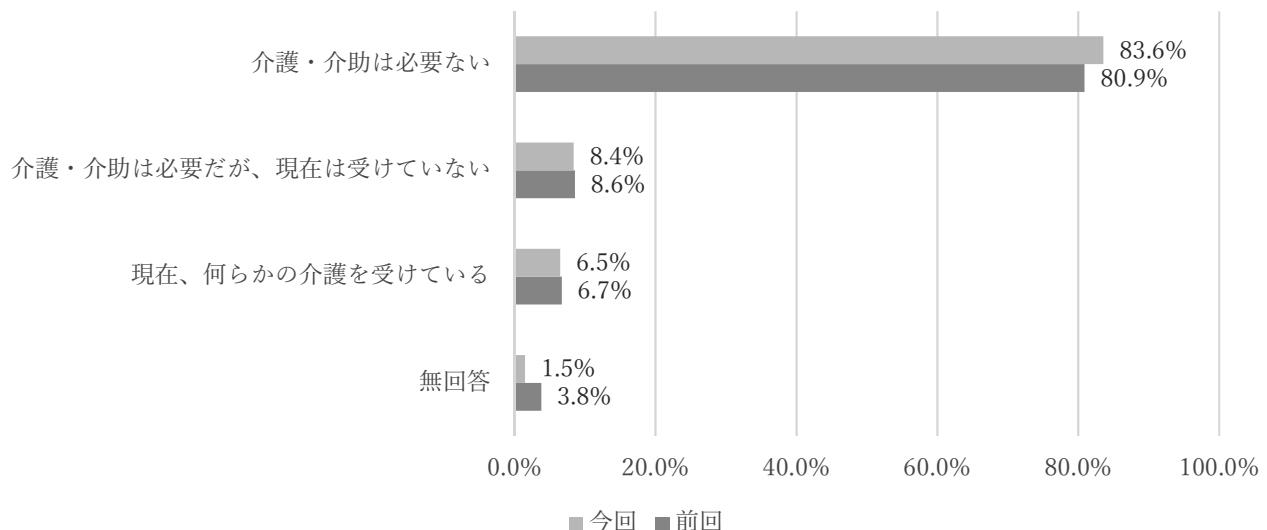
「介護・介助は必要ない」が 83.6%を占めており、「何らかの介護・介助が必要」な高齢者は合わせて 14.9%となっていますが、「現在、何らかの介護を受けている」は 6.5%になっています。

前回調査との比較では、今回の方が「介護・介助は必要ない」が 2.7 ポイント上回っています。

表 1-2 介護の有無

	今回		前回		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
介護・介助は必要ない	2,190	83.6%	1,896	80.9%	2.7 ポイント
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	219	8.4%	201	8.6%	△0.2 ポイント
現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	171	6.5%	158	6.7%	△0.2 ポイント
無回答	40	1.5%	89	3.8%	△2.3 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
介護・介助は必要(再掲)	390	14.9%	359	15.3%	△0.4 ポイント

図1-2 普段の生活で介護・介助が必要ですか

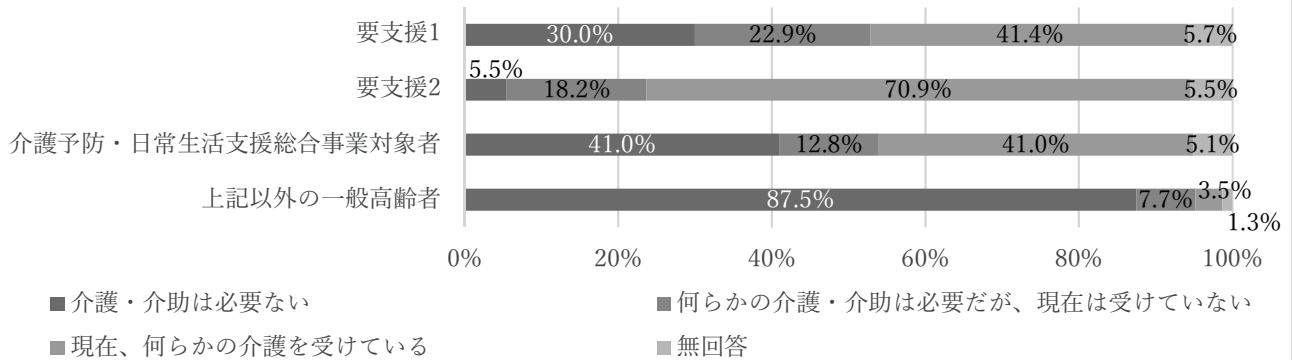


「要介護状態区分別、介護の有無」を見ると、「介護・介助が必要である」は、「要支援 2」が 89.1%でもっとも多く、次いで「要支援 1」が 64.3%、「支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が 53.8%となっており、「それ以外の高齢者」でも 11.2%になっています。

表 1-2-1 要介護状態区分別、介護の有無

	要支援 1		要支援 2		要支援者を除く介護 予防・日常生活支援 総合事業対象者		左記以外の高齢者	
介護・介助は必要ない	21	30.0%	3	5.5%	16	41.0%	2,150	87.5%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	16	22.9%	10	18.2%	5	12.8%	188	7.7%
現在、何らかの介護を受けている	29	41.4%	39	70.9%	16	41.0%	87	3.5%
無回答	4	5.7%	3	5.5%	2	5.1%	31	1.3%
計	70	100.0%	55	100.0%	39	100.0%	2,456	100.0%
介護・介助が必要である(再掲)	45	64.3%	49	89.1%	21	53.8%	275	11.2%

図1-2-1要介護状態区分別、介護の有無



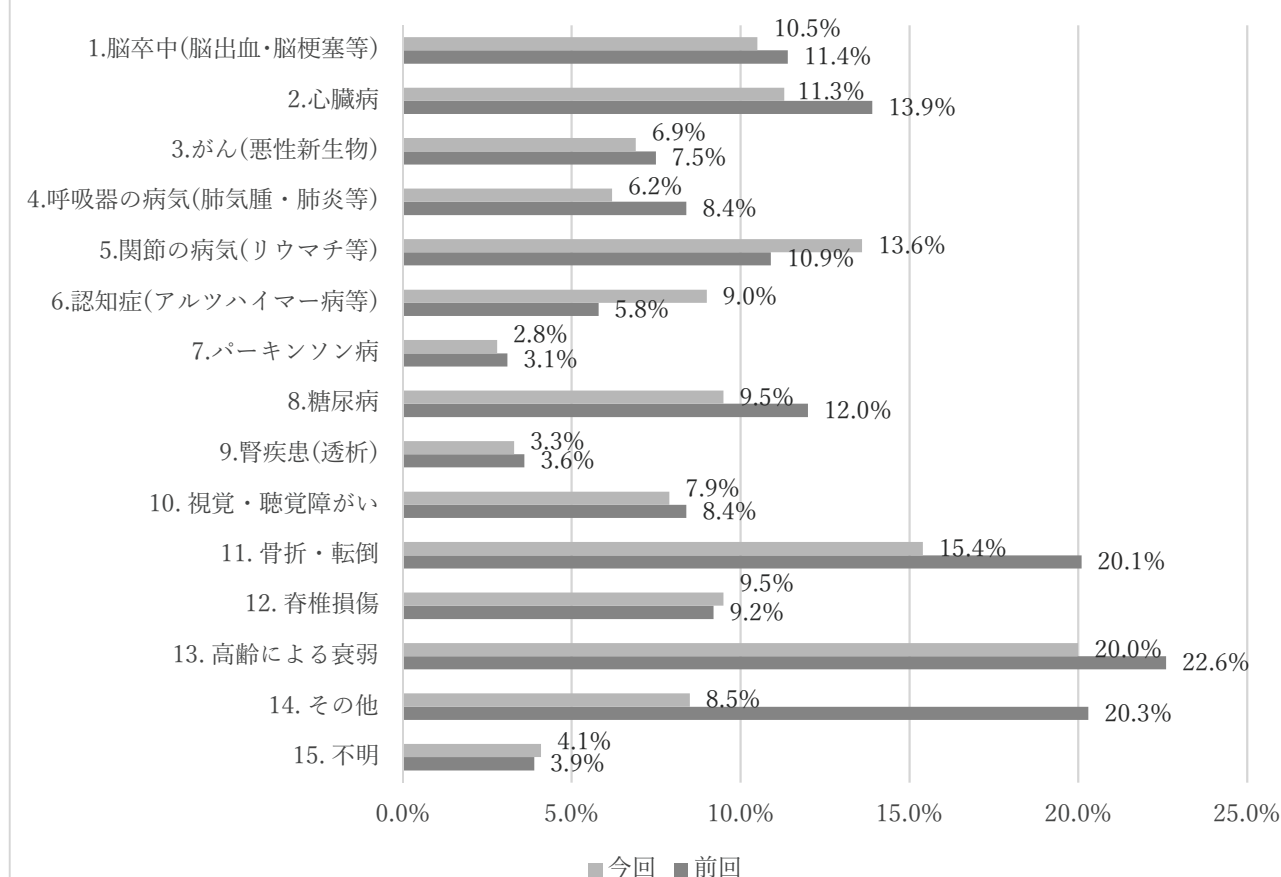
問1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。

問1-2で「何らかの介護・介助が必要」と回答した人の「介護・介助が必要になった主な原因」でもっとも多いのが「高齢による衰弱」で20.0%となっており、次いで「骨折・転倒」が15.4%、「関節の病気(リウマチ等)」が13.6%、「心臓病」が11.3%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が10.5%の順となっています。

表1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因(複数選択)

	今回(N=390)		前回(N=359)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
1.脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	41	10.5%	41	11.4%	△1.1 ポイント
2.心臓病	44	11.3%	50	13.9%	△2.6 ポイント
3.がん(悪性新生物)	27	6.9%	27	7.5%	△0.6 ポイント
4.呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	24	6.2%	30	8.4%	△2.2 ポイント
5.関節の病気(リウマチ等)	53	13.6%	39	10.9%	2.7 ポイント
6.認知症(アルツハイマー病等)	35	9.0%	21	5.8%	3.2 ポイント
7.パーキンソン病	11	2.8%	11	3.1%	△0.5 ポイント
8.糖尿病	37	9.5%	43	12.0%	△2.5 ポイント
9.腎疾患(透析)	13	3.3%	13	3.6%	△0.3 ポイント
10. 視覚・聴覚障がい	31	7.9%	30	8.4%	△0.5 ポイント
11. 骨折・転倒	60	15.4%	72	20.1%	△4.7 ポイント
12. 脊椎損傷	37	9.5%	33	9.2%	0.3 ポイント
13. 高齢による衰弱	78	20.0%	81	22.6%	△2.6 ポイント
14. その他	33	8.5%	73	20.3%	△11.8 ポイント
15. 不明	16	4.1%	14	3.9%	0.2 ポイント

図1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因



「介護・介助が必要になった主な原因」を多い順に並べ替えて、前回からの順位の変動を見てみると、「関節の病気(リウマチ等)」、「認知症(アルツハイマー病等)」の順位が上がり、「心臓病」、「糖尿病」、「視覚・聴覚障がい」、「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」の順位が下がっています。

表 1-2-1-1 介護・介助が必要になった主な原因(前回調査からの順位の変動)

前回(多い順)		変動	今回(多い順)	
高齢による衰弱	22.6%	→	高齢による衰弱	20.0%
骨折・転倒	20.1%	→	骨折・転倒	15.4%
心臓病	13.9%	↘	関節の病気(リウマチ等)	13.6%
糖尿病	12.0%	↘	心臓病	11.3%
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	11.4%	→	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	10.3%
関節の病気(リウマチ等)	10.9%	↗	糖尿病	9.5%
脊椎損傷	9.2%	→	脊椎損傷	9.5%
視覚・聴覚障がい	8.4%	↘	認知症(アルツハイマー病等)	9.0%
呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	8.4%	↘	視覚・聴覚障がい	7.9%
がん(悪性新生物)	7.5%	→	がん(悪性新生物)	6.9%
認知症(アルツハイマー病等)	5.8%	↗	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	6.2%
腎疾患(透析)	3.6%	→	腎疾患(透析)	3.3%
パーキンソン病	3.1%	→	パーキンソン病	2.6%

問 1-2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。

問1-2で「何らかの介護を受けている」と回答した人の「主な介護者」の内、家族、親族でもっとも多いのは「配偶者（夫・妻）」29.8%であり、次いで「娘」の22.2%、「息子」の16.4%となっています。また、「介護サービスのヘルパー」は26.3%と、4人に1人の割合になっています。

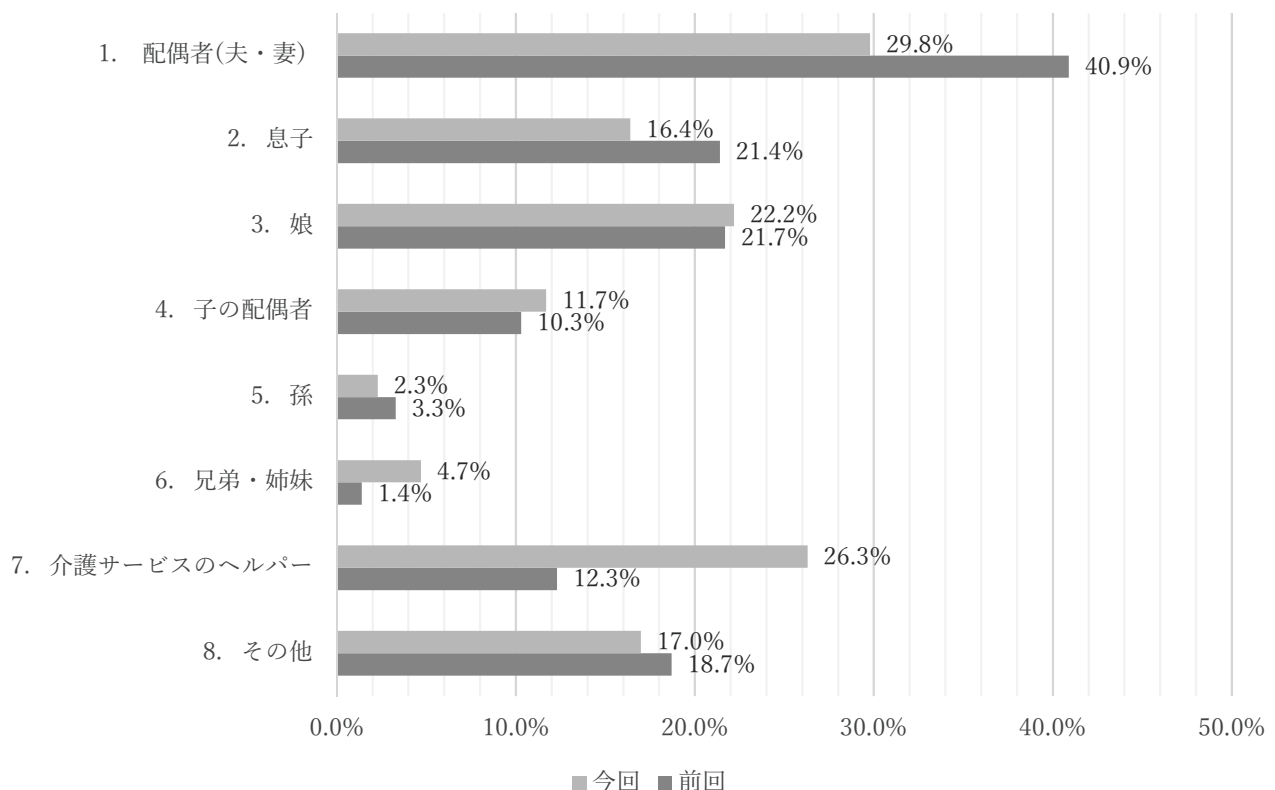
前回調査では「介護・介助は必要ない」以外の人への質問になっていますので、単純には比較できませんが、参考のために前回との比較を行ってみると、「配偶者（夫・妻）」が11.1ポイント減り、「介護サービスのヘルパー」が14.0ポイント増えています。

表 1-2-2 主な介護者(複数選択)

	今回(N=171)		前回(N=359)		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
1.配偶者(夫・妻)	51	29.8%	147	40.9%	△11.1 ポイント
2.息子	28	16.4%	77	21.4%	△5.0 ポイント
3.娘	38	22.2%	78	21.7%	0.5 ポイント
4.子の配偶者	20	11.7%	37	10.3%	1.4 ポイント
5.孫	4	2.3%	12	3.3%	△1.0 ポイント
6.兄弟・姉妹	8	4.7%	5	1.4%	3.3 ポイント
7.介護サービスのヘルパー	45	26.3%	44	12.3%	14.0 ポイント
8.その他	29	17.0%	67	18.7%	△1.7 ポイント

※今回は「介護を受けている人」への質問だが、前回は「介護・介助は必要ない」以外の人への質問。

図1-2-2 主な介護者



問 1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

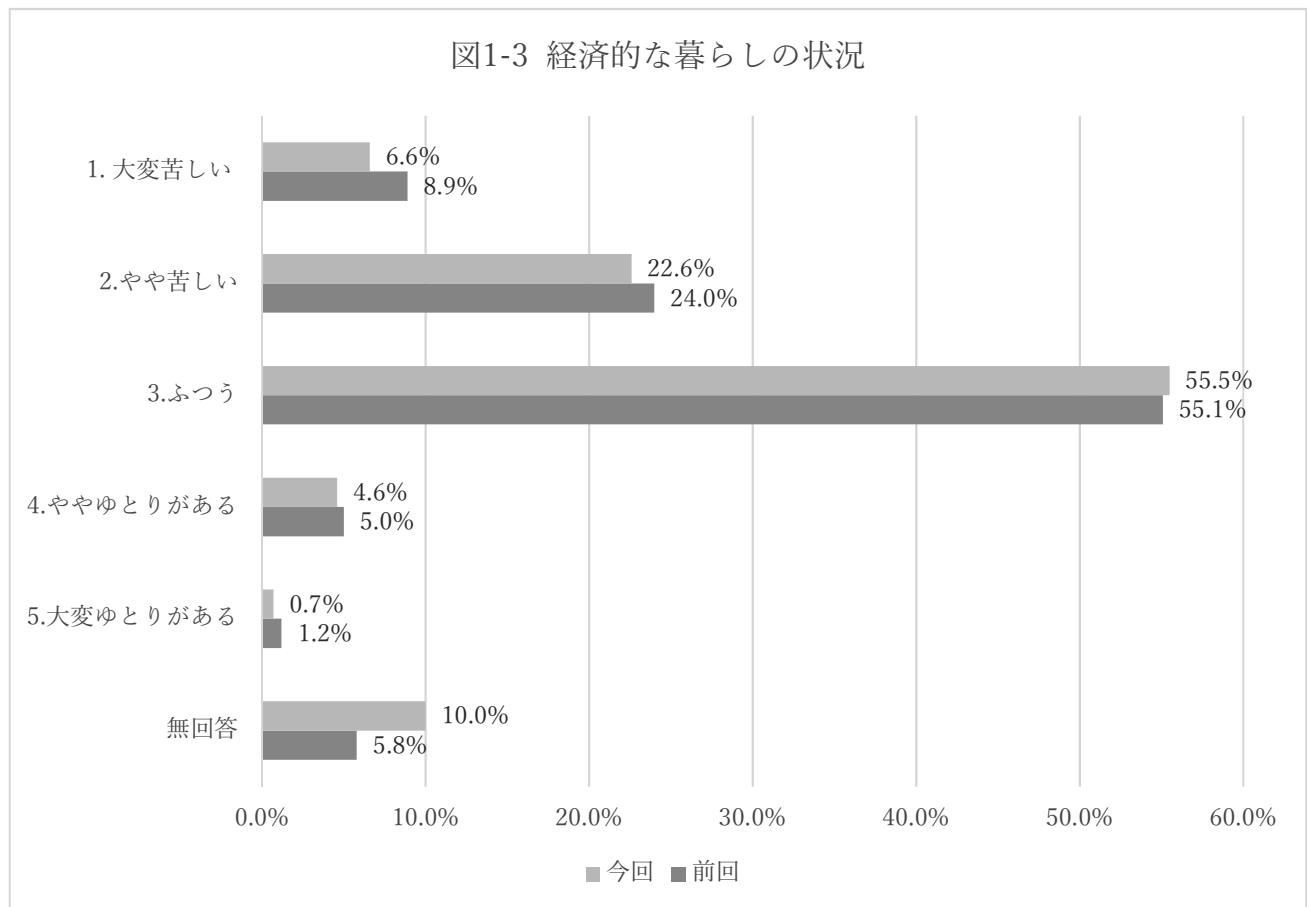
「経済的な暮らしの状況」については、55.5%が「ふつう」と回答していますが、「大変苦しい」6.6%、「やや苦しい」22.6%を合計した 29.2%が「苦しい」と回答しており、経済的に苦しいと感じている人が多いことが伺えます。

前回調査との比較では、「ふつう」が 0.4 ポイント増え、「苦しい」の合計では 3.7 ポイント減っています。

表 1-3 経済的な暮らしの状況

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
1.大変苦しい	173	6.6%	208	8.9%	△2.3 ポイント
2.やや苦しい	591	22.6%	563	24.0%	△1.4 ポイント
3.ふつう	1,454	55.5%	1,291	55.1%	0.4 ポイント
4.ややゆとりがある	121	4.6%	118	5.0%	△0.4 ポイント
5.大変ゆとりがある	18	0.7%	27	1.2%	△0.5 ポイント
無回答	263	10.0%	137	5.8%	4.2 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
苦しい(再掲 1+2)	764	29.2%	771	32.9%	△3.7 ポイント

図1-3 経済的な暮らしの状況



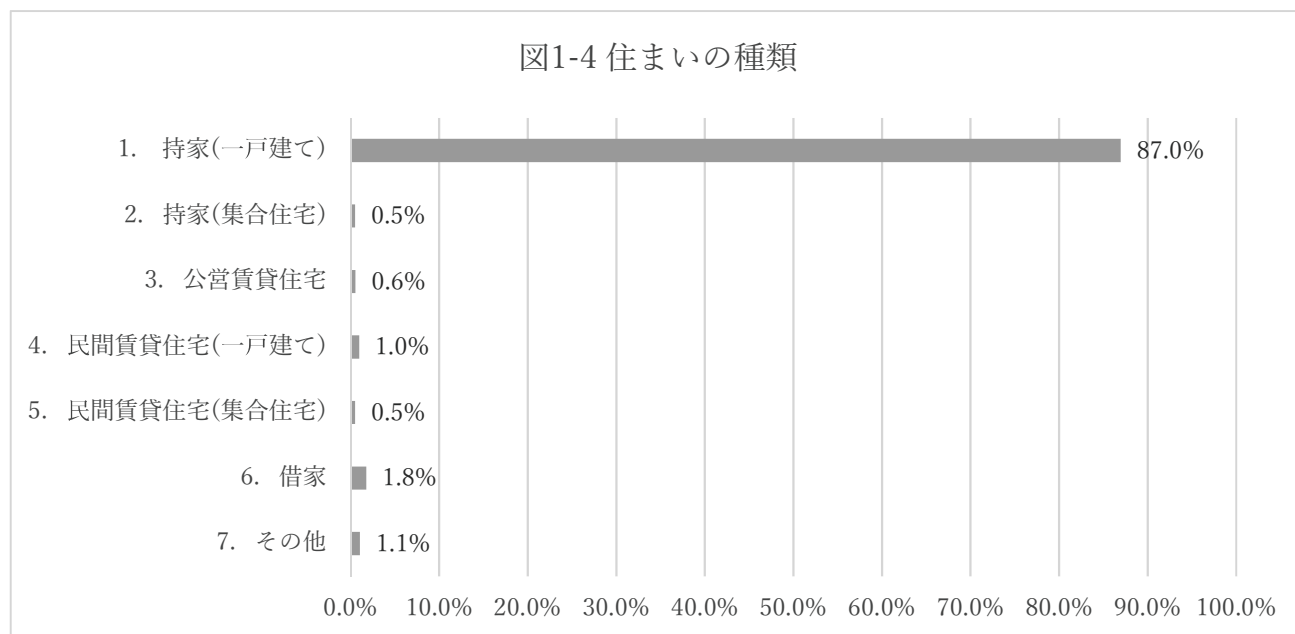
問 1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「住まいの種類」では「持家(一戸建て)」が 87.0%と、9 割近くを占めています。

表 1-4 住まいの種類

	回答数	構成比
1. 持家(一戸建て)	2,279	87.0%
2. 持家(集合住宅)	14	0.5%
3. 公営賃貸住宅	15	0.6%
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	26	1.0%
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)	14	0.5%
6. 借家	47	1.8%
7. その他	28	1.1%
無回答	197	7.5%
計	2,620	100.0%

図1-4 住まいの種類



問 2 からだを動かすことについて

問 2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

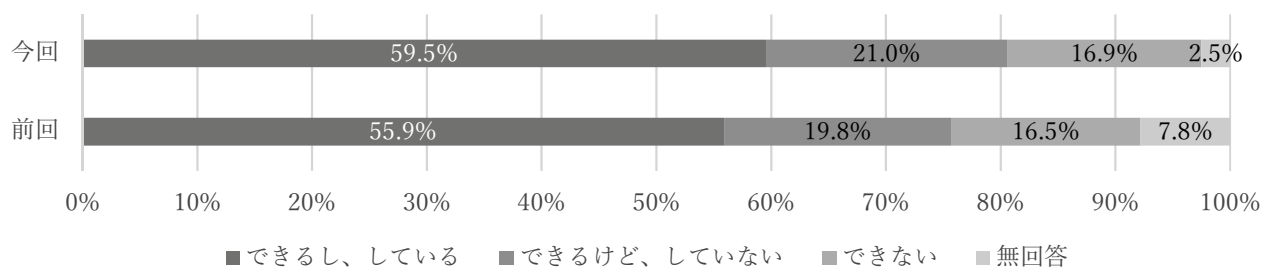
「階段を昇ること」では、59.5%が「できるし、している」、21.0%が「できるけど、していない」と回答しています。「できない」は16.9%でした。

前回調査との比較では「できるし、している」が3.6ポイント増えています。

表 2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
できるし、している	1,559	59.5%	1,310	55.9%	3.6 ポイント
できるけど、していない	551	21.0%	463	19.8%	1.2 ポイント
できない	444	16.9%	387	16.5%	0.4 ポイント
無回答	66	2.5%	184	7.8%	△5.3 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



「介護の状況別、階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」を見ると、「できるし、している」では「介護・介助は必要ない」が66.7%、「介護・介助は必要である」では21.6%になっています。

「できない」では「介護・介助は必要である」が55.9%、「介護・介助は必要ない」が9.9%となっています。

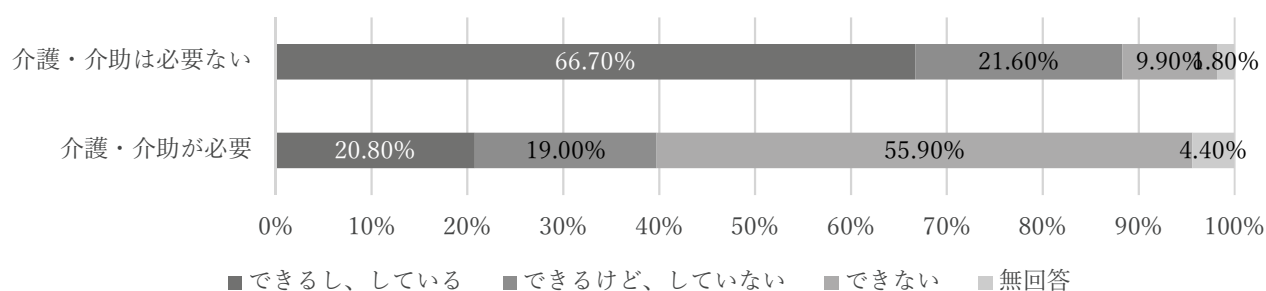
「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」と回答している人では21.6%、「介護・介助は必要である」では19.0%になっています。

「できるけど、していない」はいずれの場合も一定数を占めており、「している」ことに変えていくことが、フレイルの進行を予防し、介護予防を進めていく上での重要課題になると考えられます。

表 2-1-1 介護の状況別、階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,461	66.7%	81	20.8%
できるけど、していない	472	21.6%	74	19.0%
できない	217	9.9%	218	55.9%
無回答	40	1.8%	17	4.4%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図2-1-1介護の状況別、階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



問 2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

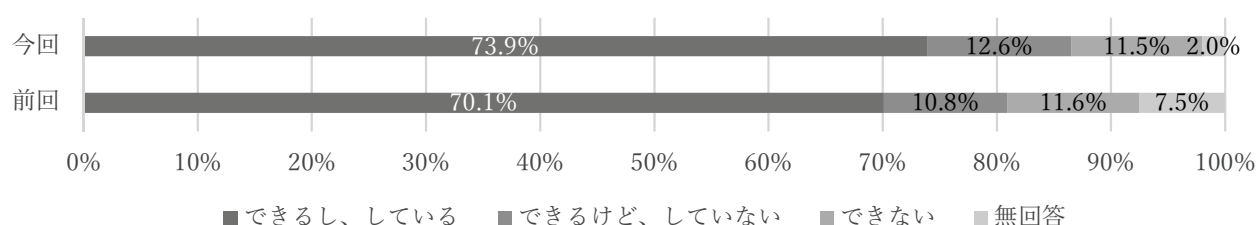
「椅子からの立ち上がり」では、73.9%が「できるし、している」、12.6%が「できるけど、していない」と回答しています。「できない」は11.5%でした。

前回調査との比較では「できるし、している」が3.8ポイント増えています。

表 2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

	今回		前回		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
できるし、している	1,937	73.9%	1,644	70.1%	3.8 ポイント
できるけど、していない	330	12.6%	253	10.8%	1.8 ポイント
できない	300	11.5%	272	11.6%	△0.1 ポイント
無回答	53	2.0%	175	7.5%	△5.5 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



「介護の状況別、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」を見ると、「できるし、している」では「介護・介助は必要ない」が80.5%、「介護・介助は必要である」では39.0%になっています。

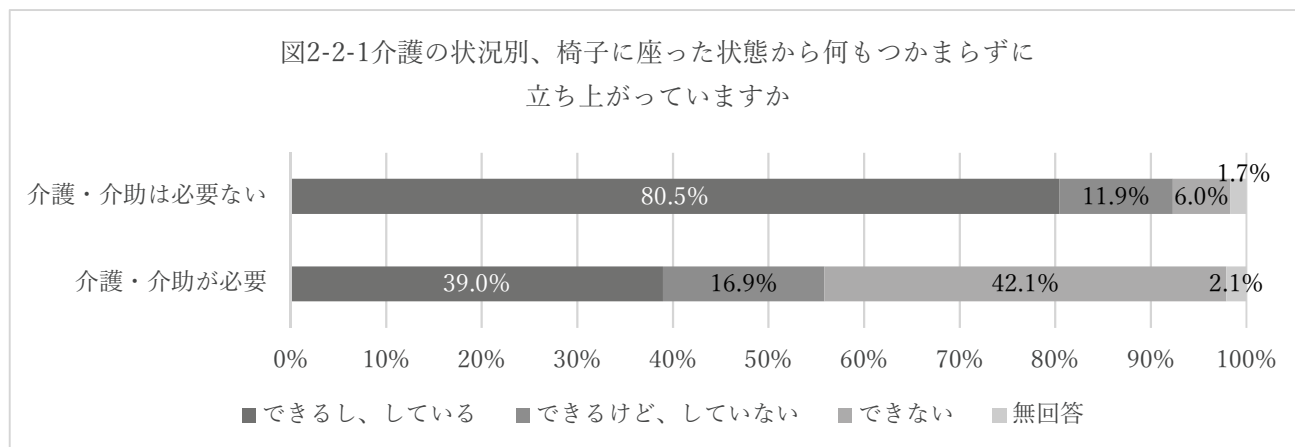
「できない」では「介護・介助は必要である」が42.1%、「介護・介助は必要ない」が6.0%となっています。

「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」と回答している人では42.1%、「介護・介助は必要である」では6.0%になっています。

「できるけど、していない」はいずれの場合も一定数を占めており、「している」ことに変えていくことが、フレイルの進行を予防し、介護予防を進めていく上での重要課題になると考えられます。

表 2-2-1 介護の状況別、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,762	80.5%	152	39.0%
できるけど、していない	260	11.9%	66	16.9%
できない	131	6.0%	164	42.1%
無回答	37	1.7%	8	2.1%
計	2,190	100.0%	390	100.0%



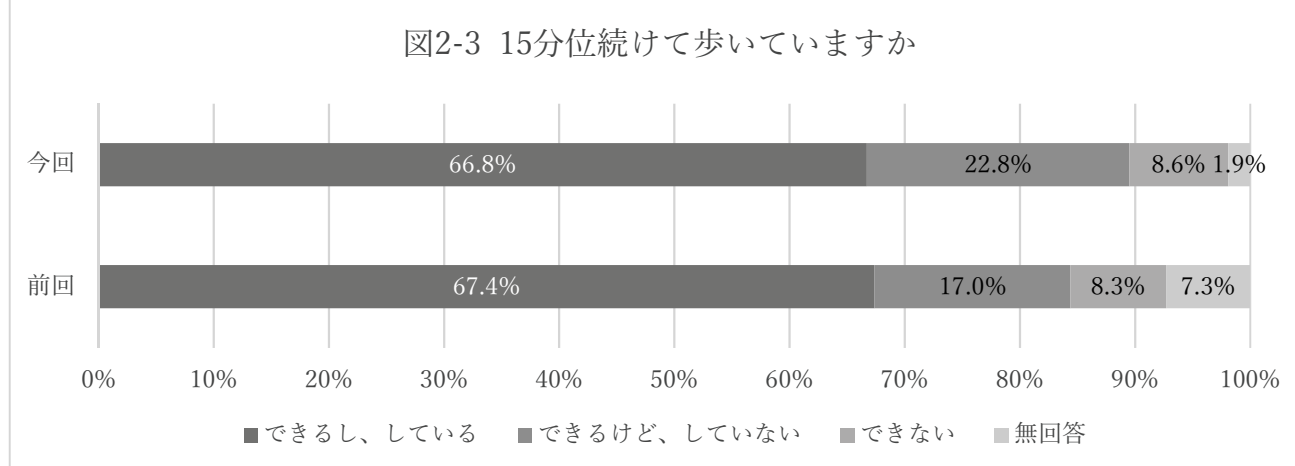
問 2-3 15 分位続けて歩いていますか

「15 分位続けて歩いていますか」では、66.8%が「できるし、している」、22.8%が「できるけど、していない」と回答しています。「できない」は 8.6%でした。

前回調査との比較では「できるけど、していない」が 5.8 ポイント増えています。

表 2-3 15 分位続けて歩いていますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比	回答数	構成比	(①-②)
できるし、している	1,749	66.8%	1,579	67.4%	△0.6 ポイント
できるけど、していない	597	22.8%	399	17.0%	5.8 ポイント
できない	225	8.6%	194	8.3%	0.3 ポイント
無回答	49	1.9%	172	7.3%	△5.4 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—



「介護の状況別、15 分位続けて歩いていますか」を見ると、「できるし、している」では「介護・介助は必要ない」が 72.1%、「介護・介助は必要である」では 39.2%になっています。

「できない」では「介護・介助は必要である」が 34.4%、「介護・介助は必要ない」が 4.0%となっています。

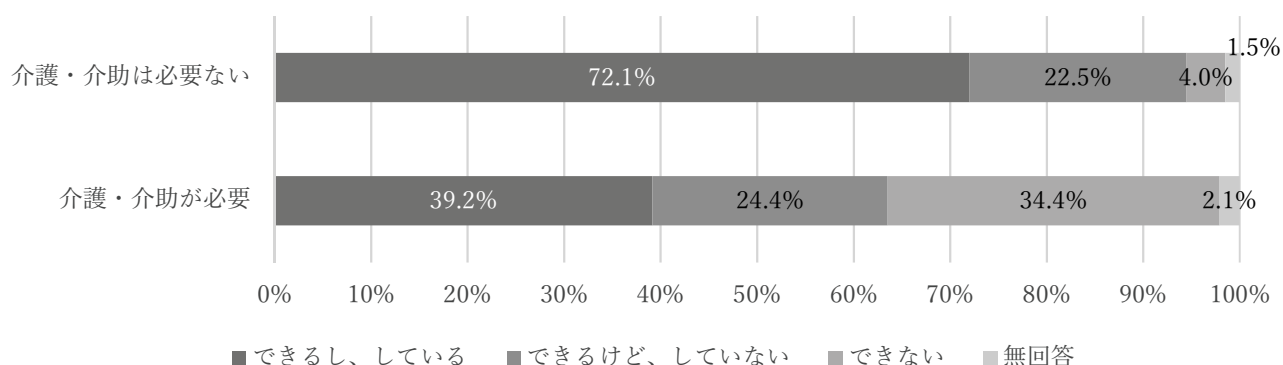
「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」と回答している人では 22.5%、「介護・介助は必要である」では 24.4%になっています。

「できるけど、していない」はいずれの場合も一定数を占めており、「している」ことに変えていくことが、フレイルの進行を予防し、介護予防を進めていく上での重要課題になると考えられます。

表 2-3-1 介護の状況別、15 分位続けて歩いていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,579	72.1%	153	39.2%
できるけど、していない	492	22.5%	95	24.4%
できない	87	4.0%	134	34.4%
無回答	32	1.5%	8	2.1%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図2-3-1介護の状況別、15分位続けて歩いていますか



問 2-4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか

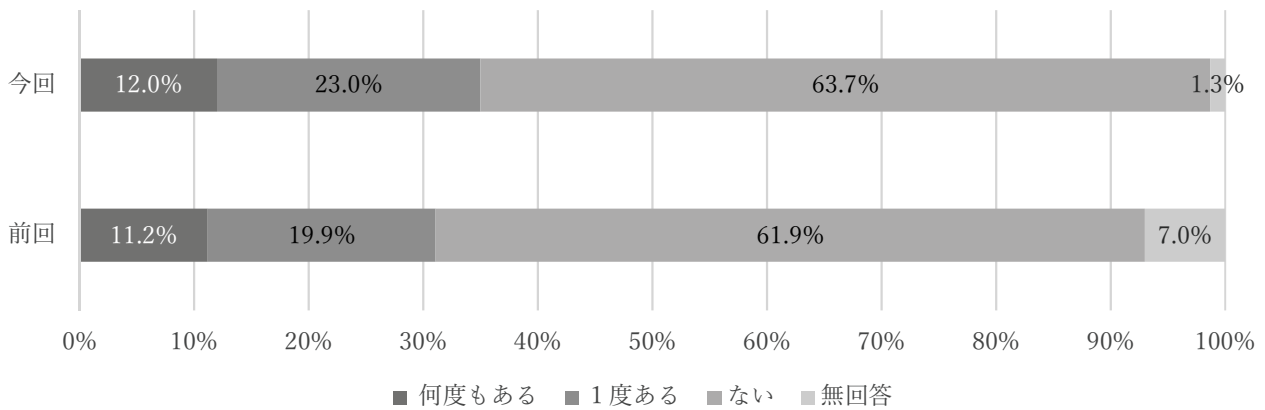
「過去 1 年間に転んだ経験がありますか」については、12.0%が「何度もある」、23.0%が「1度ある」と回答しており、合計した 35.0%が転倒した経験があると回答しています。

前回調査との比較では「1度ある」が 3.1 ポイント上回っています。

表 2-4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか

	今回		前回		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
何度もある	315	12.0%	262	11.2%	0.8 ポイント
1度ある	603	23.0%	466	19.9%	3.1 ポイント
ない	1,668	63.7%	1,451	61.9%	1.8 ポイント
無回答	34	1.3%	165	7.0%	△5.7 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか



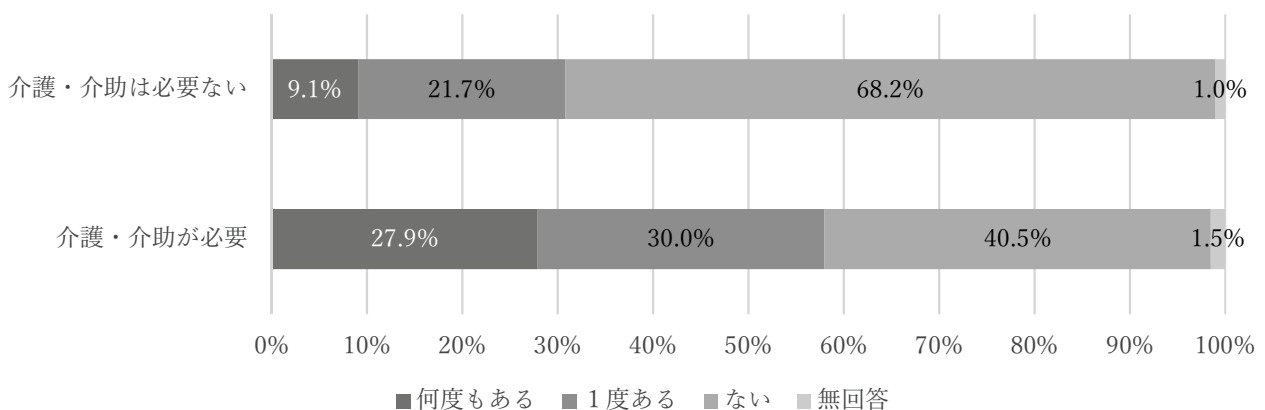
「介護の状況別、過去1年間に転んだ経験がありますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」の68.2%、「介護・介助は必要である」の40.5%が「ない」と回答しています。「何度もある」と回答しているのは「介護・介助は必要ない」で9.1%、「介護・介助は必要である」で27.9%でした。

「介護・介助は必要である」と回答した人の転倒リスクが高いという結果になりました。

表 2-4-1 介護の状況別、過去1年間に転んだ経験がありますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
何度もある	199	9.1%	109	27.9%
1度ある	476	21.7%	117	30.0%
ない	1,494	68.2%	158	40.5%
無回答	21	1.0%	6	1.5%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図2-4-1介護の状況別、過去1年間に転んだ経験がありますか



問 2-5 転倒に対する不安は大きいですか

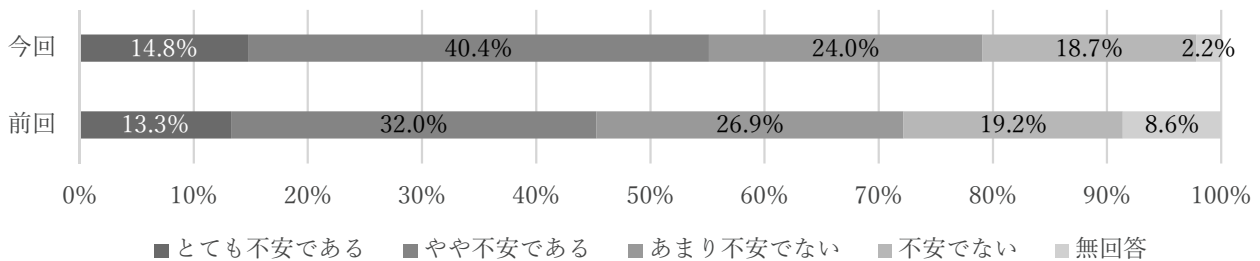
「転倒に対する不安」では、14.8%が「とても不安である」、40.4%が「やや不安である」と回答しており、合わせた55.2%が転倒に不安を感じていると答えています。

前回調査との比較では、「とても不安である」が1.5ポイント、「やや不安である」が8.4ポイントと、合わせて不安であると答えた人が9.9ポイント増えています。

表 2-5 転倒不安

	今回		前回		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
とても不安である (A)	388	14.8%	312	13.3%	1.5 ポイント
やや不安である (B)	1,058	40.4%	750	32.0%	8.4 ポイント
あまり不安でない	628	24.0%	631	26.9%	△2.9 ポイント
不安でない	489	18.7%	449	19.2%	△0.5 ポイント
無回答	57	2.2%	202	8.6%	△6.4 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
不安である(再掲 A+B)	1,446	55.2%	1,062	45.3%	9.9 ポイント

図2-5 転倒に対する不安は大きいですか

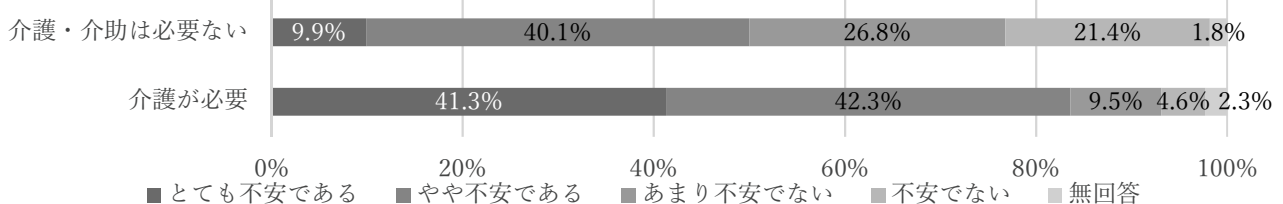


「介護の状況別、転倒不安」を見ると、「介護・介助は必要ない」の50.0%、「介護・介助は必要である」の83.6%が「不安である」と回答しています。

表 2-5-1 介護の状況別、転倒不安

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
とても不安である ①	217	9.9%	161	41.3%
やや不安である ②	879	40.1%	165	42.3%
あまり不安でない	586	26.8%	37	9.5%
不安でない	468	21.4%	18	4.6%
無回答	40	1.8%	9	2.3%
計	2,190	100.0%	390	100.0%
不安である(再掲①+②)	1,096	50.0%	326	83.6%

図2-5-1 介護の状況別、転倒不安



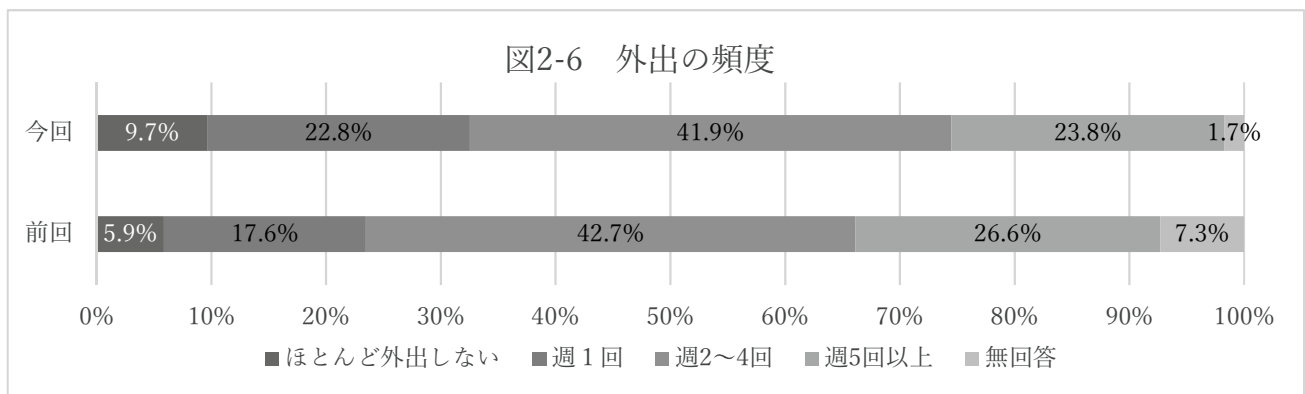
問 2-6 週に 1 回以上は外出していますか

「外出の頻度」では「週 2～4 回」が 41.9%と最も多く、次いで「週 5 回以上」が 23.8%、「週 1 回」22.8%の順となっています。「ほとんど外出しない」は 9.7%でした。

前回との比較では、「ほとんど外出しない」が 3.8 ポイント、「週 1 回」が 5.2 ポイント、それぞれ増えています。

表 2-6 外出の頻度

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
ほとんど外出しない	255	9.7%	138	5.9%	3.8 ポイント
週 1 回	597	22.8%	412	17.6%	5.2 ポイント
週 2～4 回	1,099	41.9%	1,001	42.7%	△0.8 ポイント
週 5 回以上	624	23.8%	623	26.6%	△2.8 ポイント
無回答	45	1.7%	170	7.3%	△5.6 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

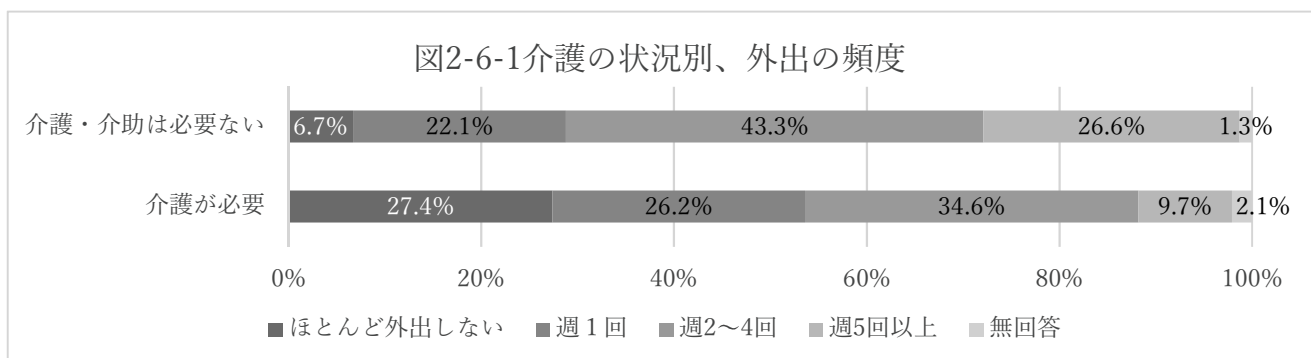


「介護の状況別、外出の頻度」については、「介護・介助は必要ない」では「週 2～4 回」が 43.3%で、もっとも多く、「介護・介助は必要である」でも「週 2～4 回」が 34.6%で、もっとも多くなっています。

「介護・介助は必要である」では「ほとんど外出しない」が 27.4%となっています。

表 2-6-1 介護の状況別、外出の頻度

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
ほとんど外出しない	146	6.7%	107	27.4%
週 1 回	485	22.1%	102	26.2%
週 2～4 回	948	43.3%	135	34.6%
週 5 回以上	582	26.6%	38	9.7%
無回答	29	1.3%	8	2.1%
計	2,190	100.0%	390	100.0%



問 2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

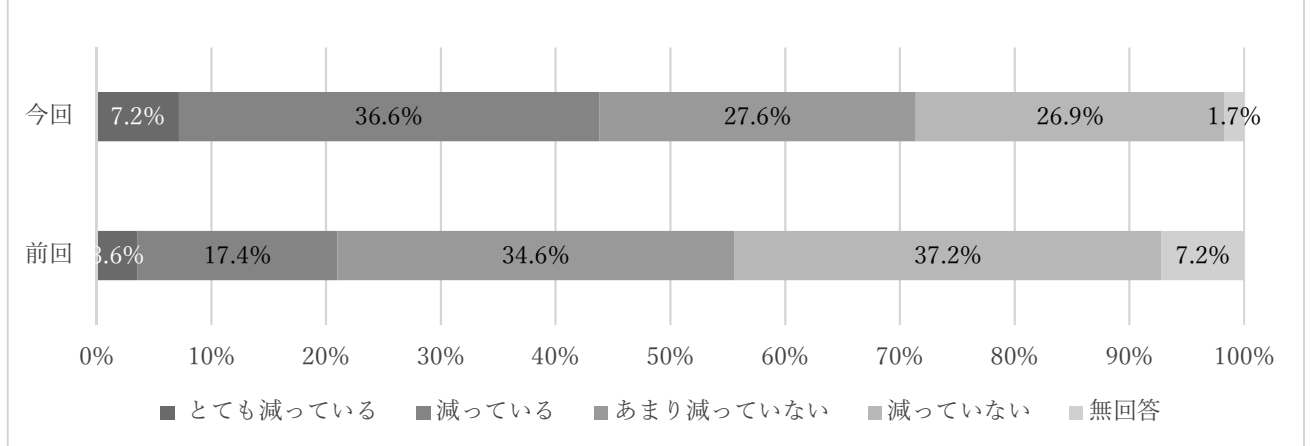
「外出の回数」は昨年と比べて「とても減っている」が7.2%、「減っている」が36.6%と、それを合わせた43.8%が減っていると回答しています。

前回調査との比較では「とても減っている」が3.6ポイント、「減っている」が19.2ポイントと、外出が減っていると答えた人が大幅に増えていますが、コロナ禍による外出自粛が影響しているものと思われます。

表 2-7 昨年と比べた外出頻度

	今回		前回		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
とても減っている (A)	188	7.2%	84	3.6%	3.6 ポイント
減っている (B)	960	36.6%	409	17.4%	19.2 ポイント
あまり減っていない	722	27.6%	810	34.6%	△7.0 ポイント
減っていない	705	26.9%	873	37.2%	△10.3 ポイント
無回答	45	1.7%	168	7.2%	△5.5 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
減っている(再掲・A+B)	1148	43.8%	493	21.0%	22.8 ポイント

図2-7 昨年と比べた外出頻度



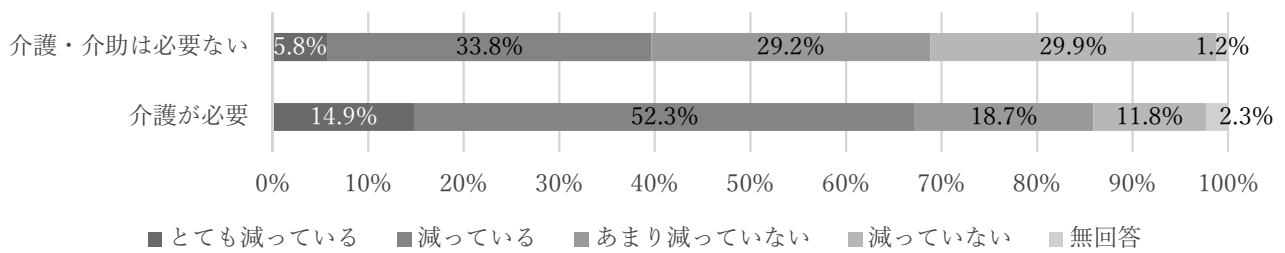
「介護の状況別、昨年と比べた外出頻度」については「減っている」では、「介護・介助は必要である」が52.3%と多く、「介護・介助は必要ない」は33.8%になっています。

「減っている」と「とても減っている」を合わせた「減っている小計」では「介護・介助は必要である」の67.2%、「介護・介助は必要ない」の39.6%になっています。

表 2-7-1 介護の状況別、昨年と比べた外出の頻度

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
とても減っている ①	128	5.8%	58	14.9%
減っている ②	740	33.8%	204	52.3%
あまり減っていない	640	29.2%	73	18.7%
減っていない	655	29.9%	46	11.8%
無回答	27	1.2%	9	2.3%
計	2,190	100.0%	390	100.0%
減っている小計(再掲 ①+②)	868	39.6%	262	67.2%

図2-7-1介護の状況別、昨年と比べた外出の頻度



問 2-8 外出を控えていますか

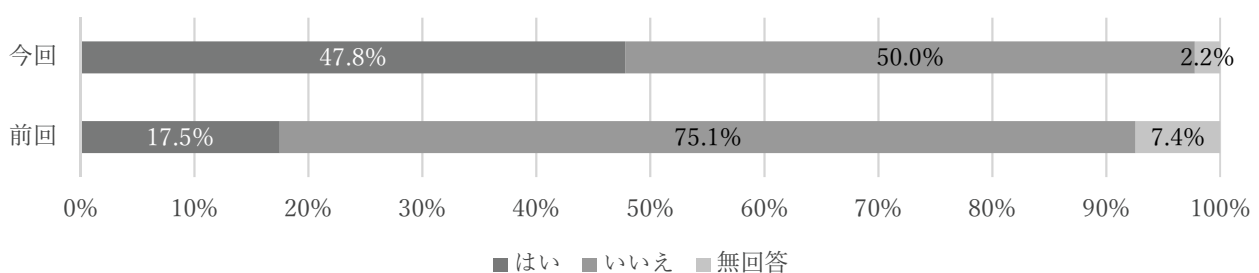
外出を控えていると回答している人は 47.8%、控えていないと回答している人は 50.0%と、控えている人がわずかに 2.2 ポイント少なくなっています。

前回調査との比較では外出を控えているが 30.3 ポイントと大幅に増加しており、コロナによる外出自粛が影響していると思われます。

表 2-8 外出を控えていますか

	今回		前回		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
はい	1,252	47.8%	410	17.5%	30.3 ポイント
いいえ	1,310	50.0%	1,761	75.1%	△25.1 ポイント
無回答	58	2.2%	173	7.4%	△5.2 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図2-8外出を控えていますか

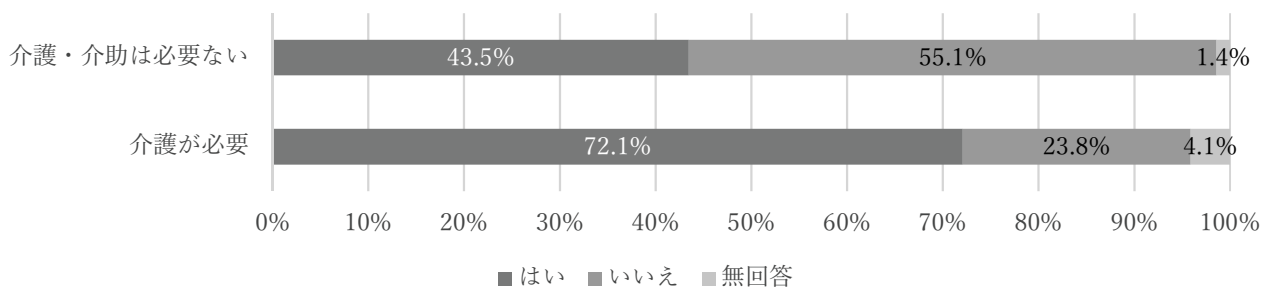


「介護の状況別、外出を控えていますか」については、「介護・介助は必要ない」では「いいえ」が 55.1%で多く、「介護・介助は必要」では「はい」が 72.1%と多くなっています。

表 2-8 ① 介護の状況別、外出を控えていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	952	43.5%	281	72.1%
いいえ	1,207	55.1%	93	23.8%
無回答	31	1.4%	16	4.1%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図2-8 ①介護の状況別、外出を控えていますか



問 2-8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか

問 2-8 で「外出を控えている」と回答した 1252 人に「外出を控えている理由」を訊ねたところ、「足腰などの痛み」23.4%、「交通手段がない」14.5%、「外での楽しみがない」10.1%が多くなっています。

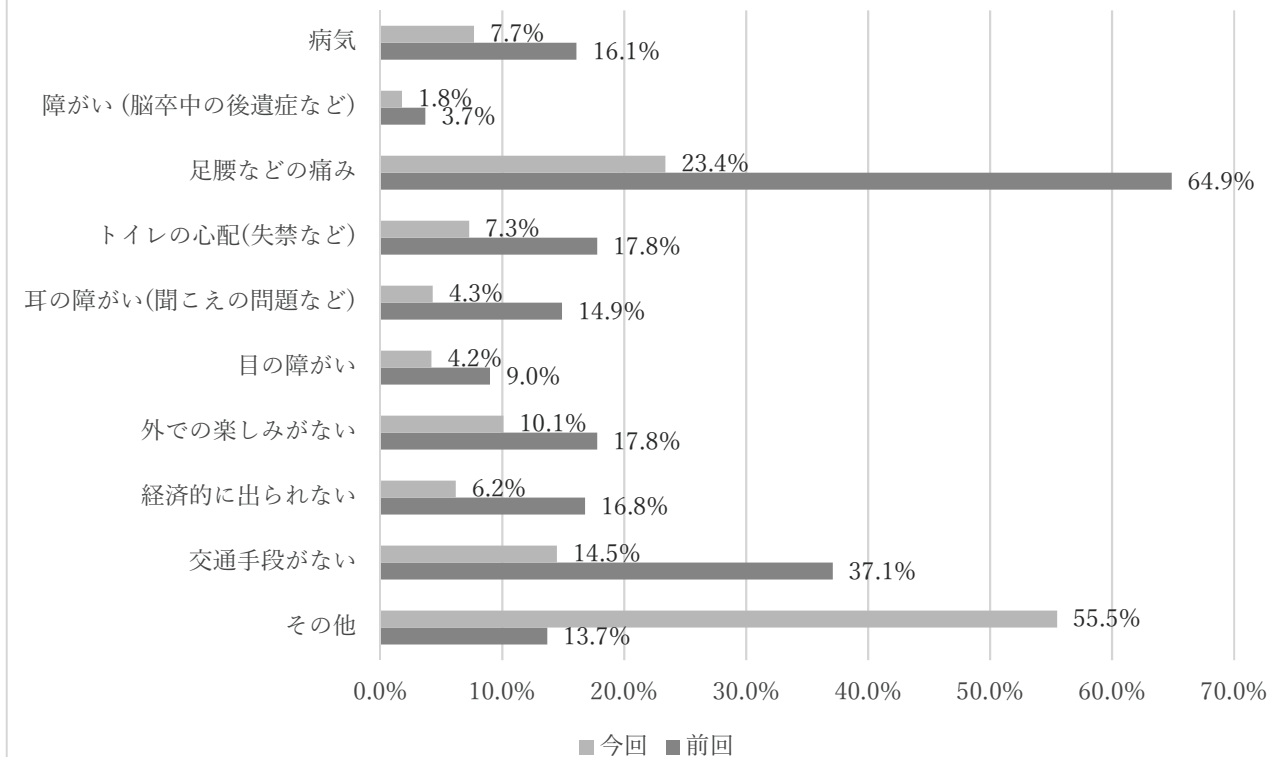
また、「その他」が 55.5%と多くなっていますが、「新型コロナ感染予防のための外出自粛」関連の自由記述が 601(48.0%)もあったことから、緊急事態宣言による外出自粛要請が高齢者の行動に大きな影響を与えていることが伺えます。

前回調査との比較では、「足腰などの痛み」が 41.5 ポイント減り、「その他」が 41.8 ポイント増えるなど、大きく異なる結果となりました。

表 2-8-1 外出を控えている理由(複数選択)

	今回(N= 1252)		前回(N=410)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
病気	97	7.7%	66	16.1%	△8.4 ポイント
障がい(脳卒中の後遺症など)	23	1.8%	15	3.7%	△1.9 ポイント
足腰などの痛み	293	23.4%	266	64.9%	△41.5 ポイント
トイレの心配(失禁など)	91	7.3%	73	17.8%	△10.5 ポイント
耳の障がい(聞こえの問題など)	54	4.3%	61	14.9%	△10.6 ポイント
目の障がい	53	4.2%	37	9.0%	△4.8 ポイント
外での楽しみがない	126	10.1%	73	17.8%	△7.7 ポイント
経済的に出られない	78	6.2%	69	16.8%	△10.6 ポイント
交通手段がない	181	14.5%	152	37.1%	△22.6 ポイント
その他	695	55.5%	56	13.7%	41.8 ポイント

図2-8-1 外出を控えている理由



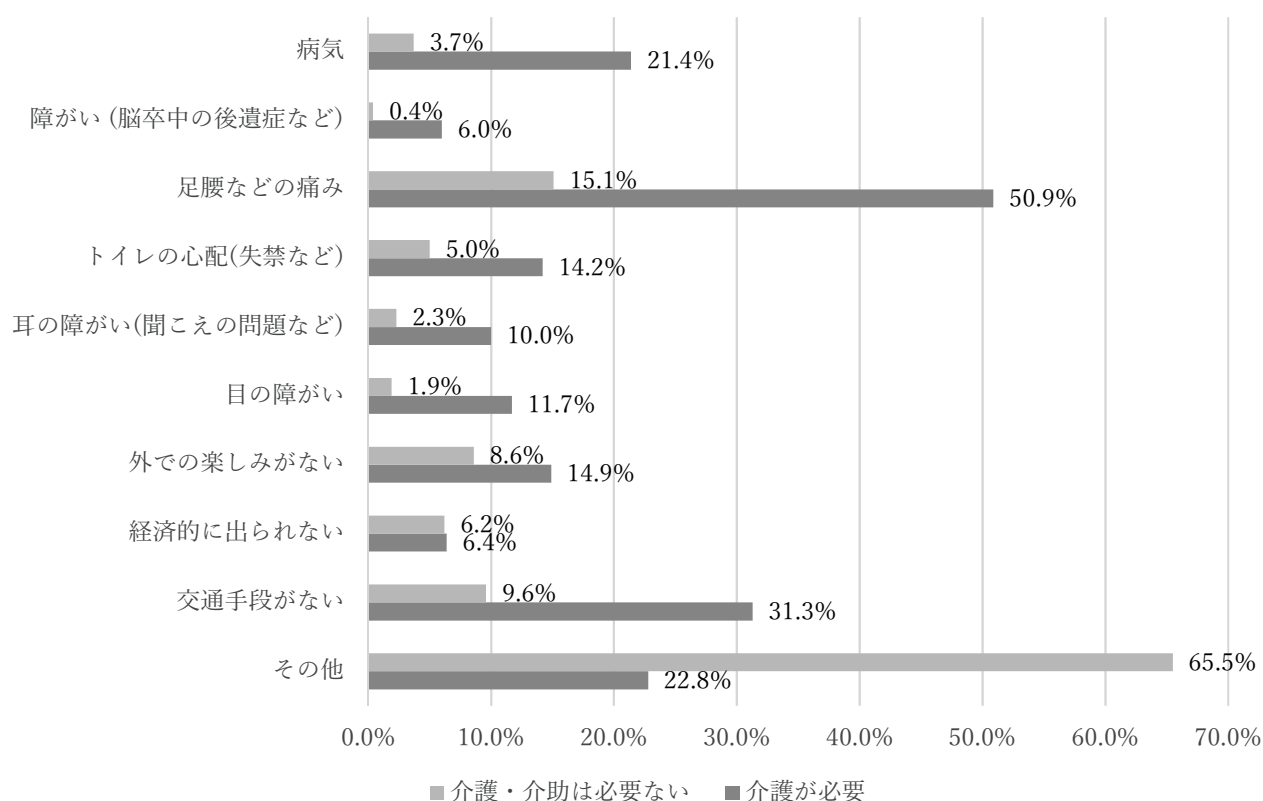
「介護の状況別、外出を控えている理由」については「介護・介助は必要である」では「足腰などの痛み」が50.9%と最も多く、「介護・介助は必要ない」では「その他」の65.5%が最も多くなっています。

「介護・介助は必要ない」ではコロナ禍の影響が大きく、「介護・介助は必要ない」では身体的な理由が外出を控える原因になっていると思われます。

表 2-8-1-1 介護の状況別、外出を控えている理由(複数選択)

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	N=952		N=281	
病気	35	3.7%	60	21.4%
障がい(脳卒中の後遺症など)	4	0.4%	17	6.0%
足腰などの痛み	144	15.1%	143	50.9%
トイレの心配(失禁など)	48	5.0%	40	14.2%
耳の障がい(聞こえの問題など)	22	2.3%	28	10.0%
目の障がい	18	1.9%	33	11.7%
外での楽しみがない	82	8.6%	42	14.9%
経済的に出られない	59	6.2%	18	6.4%
交通手段がない	91	9.6%	88	31.3%
その他	624	65.5%	64	22.8%

図 2-8-1-1介護の状況別、外出を控えている理由



問 2-9 外出する際の移動手段は何ですか

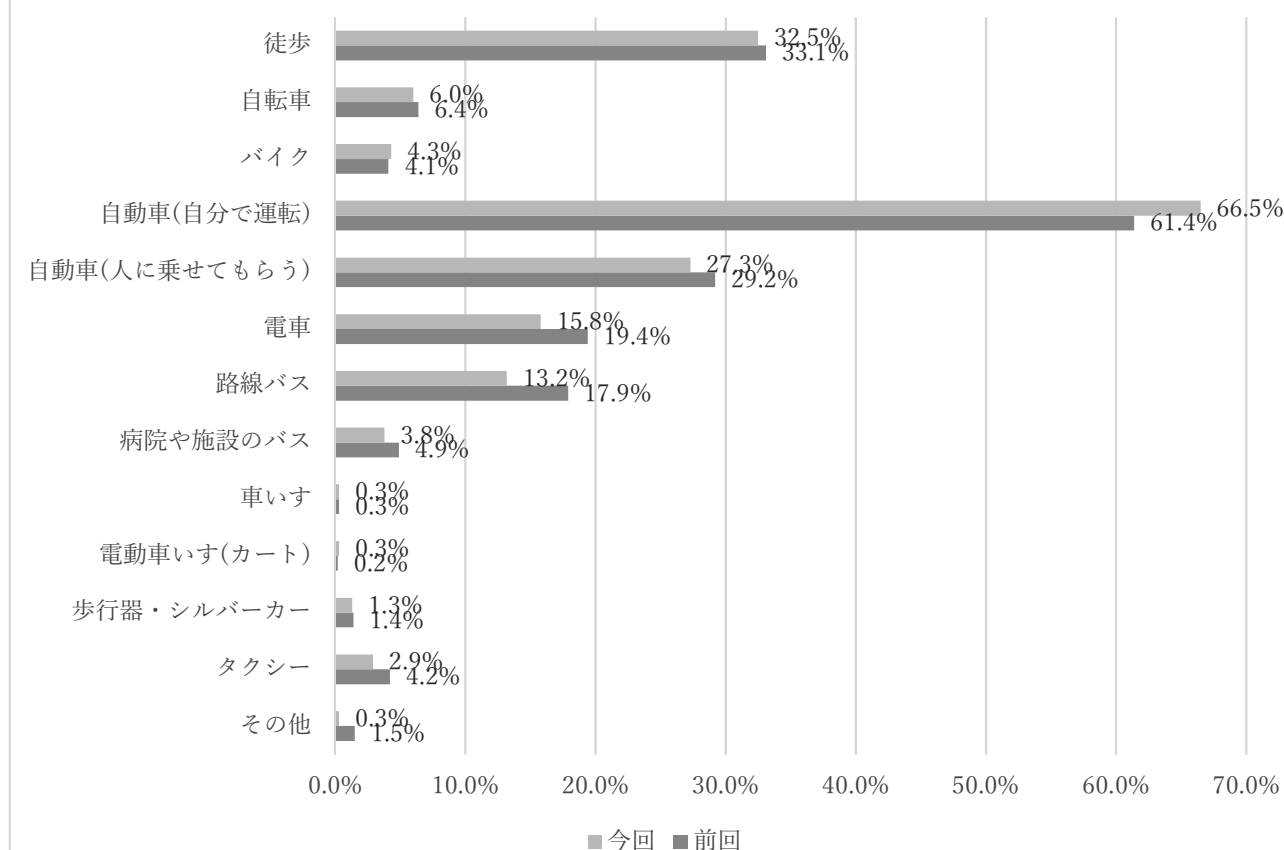
「外出する際の移動手段」では「自動車(自分で運転)」が 66.5%と最も多く、次いで「徒歩」32.5%、「自動車(人に乗せてもらう)」27.3%が多くなっています。また「電車」が 15.8%、「路線バス」が 13.2%となっており、公共交通機関の占める割合が低くなっています。

前回調査との比較では「自動車(自分で運転)」が 5.1 ポイント増えている半面、公共交通機関である「電車」が 3.6 ポイント、「路線バス」が 4.7 ポイント、それぞれ減少する結果となりました。

表 2-9 外出する際の移動手段(複数選択)

	今回(N=2620)		前回(N=2344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
徒歩	852	32.5%	777	33.1%	△0.6 ポイント
自転車	158	6.0%	150	6.4%	△0.4 ポイント
バイク	113	4.3%	95	4.1%	0.2 ポイント
自動車(自分で運転)	1,743	66.5%	1,440	61.4%	5.1 ポイント
自動車(人に乗せてもらう)	715	27.3%	685	29.2%	△1.9 ポイント
電車	413	15.8%	455	19.4%	△3.6 ポイント
路線バス	347	13.2%	420	17.9%	△4.7 ポイント
病院や施設のバス	100	3.8%	114	4.9%	△1.1 ポイント
車いす	8	0.3%	6	0.3%	0.0 ポイント
電動車いす(カート)	7	0.3%	4	0.2%	0.1 ポイント
歩行器・シルバーカー	33	1.3%	33	1.4%	△0.1 ポイント
タクシー	76	2.9%	98	4.2%	△1.3 ポイント
その他	9	0.3%	36	1.5%	△1.2 ポイント

図2-9 外出する際の移動手段



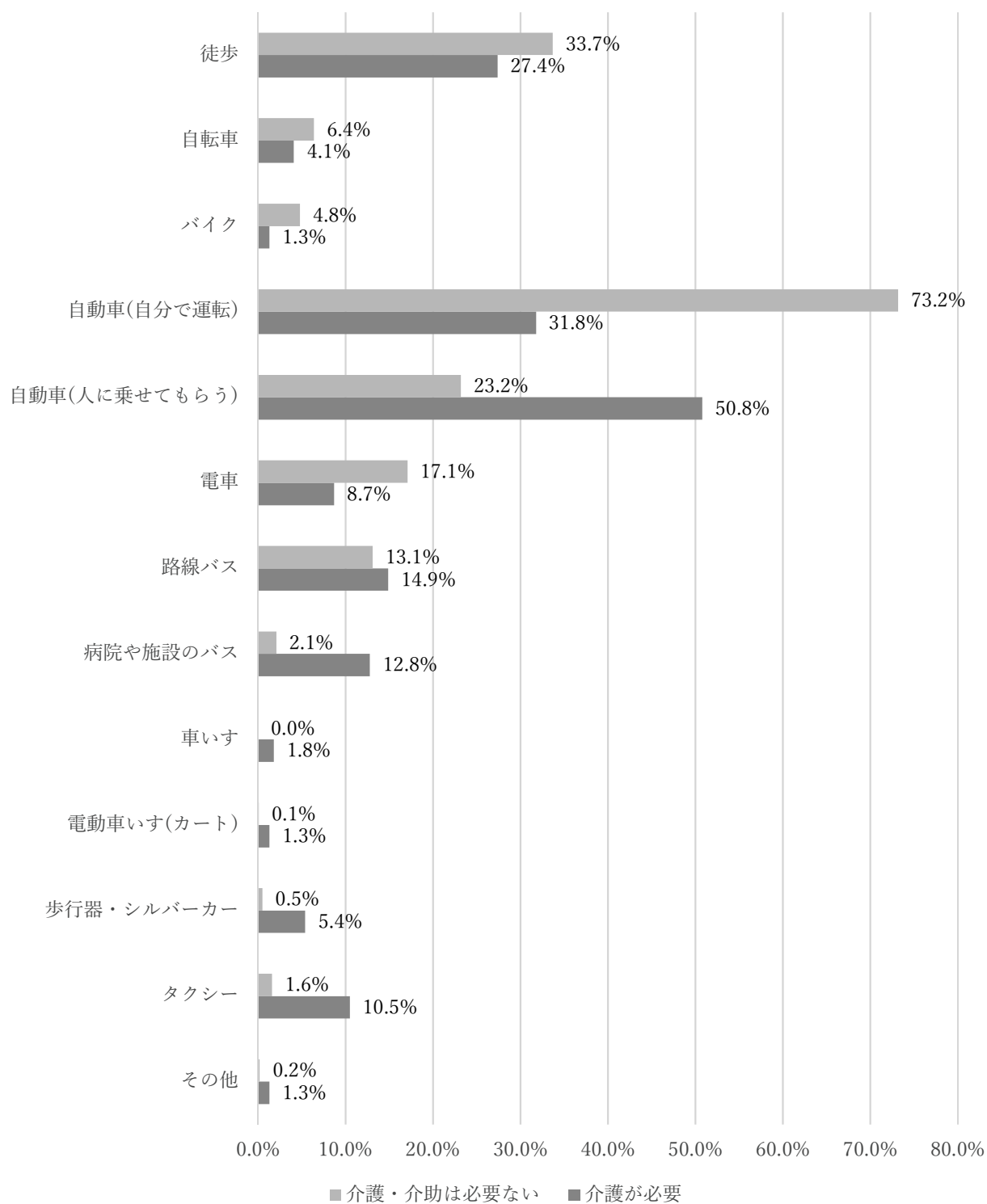
「介護の状況別、外出する際の移動手段」については、「介護・介助は必要ない」では「自動車(自分で運転)」が73.2%、「介護・介助は必要である」では「自動車(人に乗せてもらう)」が50.8%と、もっとも多くなっています。いずれの場合も自分で運転する、しないに関わらず「自動車」が主な移動手段になっています。

「徒歩」は「介護・介助は必要ない」で33.7%、「介護・介助は必要である」で27.4%でした。

表 2-9-1 介護の状況別、外出する際の移動手段(複数選択)

	介護・介助は必要ない N=2190		介護・介助は必要である N=390	
徒歩	737	33.7%	107	27.4%
自転車	140	6.4%	16	4.1%
バイク	106	4.8%	5	1.3%
自動車(自分で運転)	1,602	73.2%	124	31.8%
自動車(人に乗せてもらう)	508	23.2%	198	50.8%
電車	375	17.1%	34	8.7%
路線バス	286	13.1%	58	14.9%
病院や施設のバス	46	2.1%	50	12.8%
車いす	1	0.0%	7	1.8%
電動車いす(カート)	2	0.1%	5	1.3%
歩行器・シルバーカー	12	0.5%	21	5.4%
タクシー	35	1.6%	41	10.5%
その他	4	0.2%	5	1.3%

図2-9-1介護の状況別、外出する際の移動手段



問3 食べることについて

問 3-1 身長・体重

10cm 刻みで身長を見ると、「150cm 以上 160cm 未満」が 34.8%と最も多く、平均身長は 158.4 cm でした。

「男性」では「160cm 以上 170cm 未満」が 55.5%と最も多く、平均身長は 165.4cm でした。

「女性」では「150cm 以上 160cm 未満」が 53.7%と最も多く、平均身長は 151.9cm でした。

表 3-1-1 男女別、身長

	全体		男性		女性	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
150cm 未満	442	16.9%	12	1.0%	430	31.1%
150cm 以上 160cm 未満	911	34.8%	169	13.7%	742	53.7%
160cm 以上 170cm 未満	817	31.2%	687	55.5%	130	9.4%
170cm 以上	344	13.1%	335	27.1%	9	0.7%
無回答	106	4.0%	35	2.8%	71	5.1%
計	2,620	100.0%	1,238	100.0%	1,382	100.0%
平均身長(cm)	158.4		165.4		151.9	

10Kg 刻みで体重を見ると、「50Kg 以上 60Kg 未満」が 33.0%と最も多く、平均体重は 57.9Kg でした。

「男性」では「60Kg 以上 70Kg 未満」が 37.9%と最も多く、平均体重は 63.9Kg でした。

「女性」では「50Kg 以上 60Kg 未満」が 38.4%と最も多く、平均体重は 52.3Kg でした。

表 3-1-2 男女別、体重

	全体		男性		女性	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
40Kg 未満	54	2.1%	3	0.2%	51	3.7%
40Kg 以上 50Kg 未満	520	19.8%	55	4.4%	465	33.6%
50Kg 以上 60Kg 未満	865	33.0%	335	27.1%	530	38.4%
60Kg 以上 70Kg 未満	677	25.8%	469	37.9%	208	15.1%
70Kg 以上 80Kg 未満	292	11.1%	246	19.9%	46	3.3%
80Kg 以上	103	3.9%	90	7.3%	13	0.9%
無回答	109	4.2%	40	3.2%	69	5.0%
計	2,620	100.0%	1,238	100.0%	1,382	100.0%
平均体重(Kg)	57.9		63.9		52.3	

肥満度を表す体格指数 BMI (Body Mass Index)を計算し、日本肥満学会の基準に合わせて集計してみると、下記の表のようになりました。

$$\text{《計算式》 BMI} = \text{体重(Kg)} \div \text{身長}^2 \text{ (m)}$$

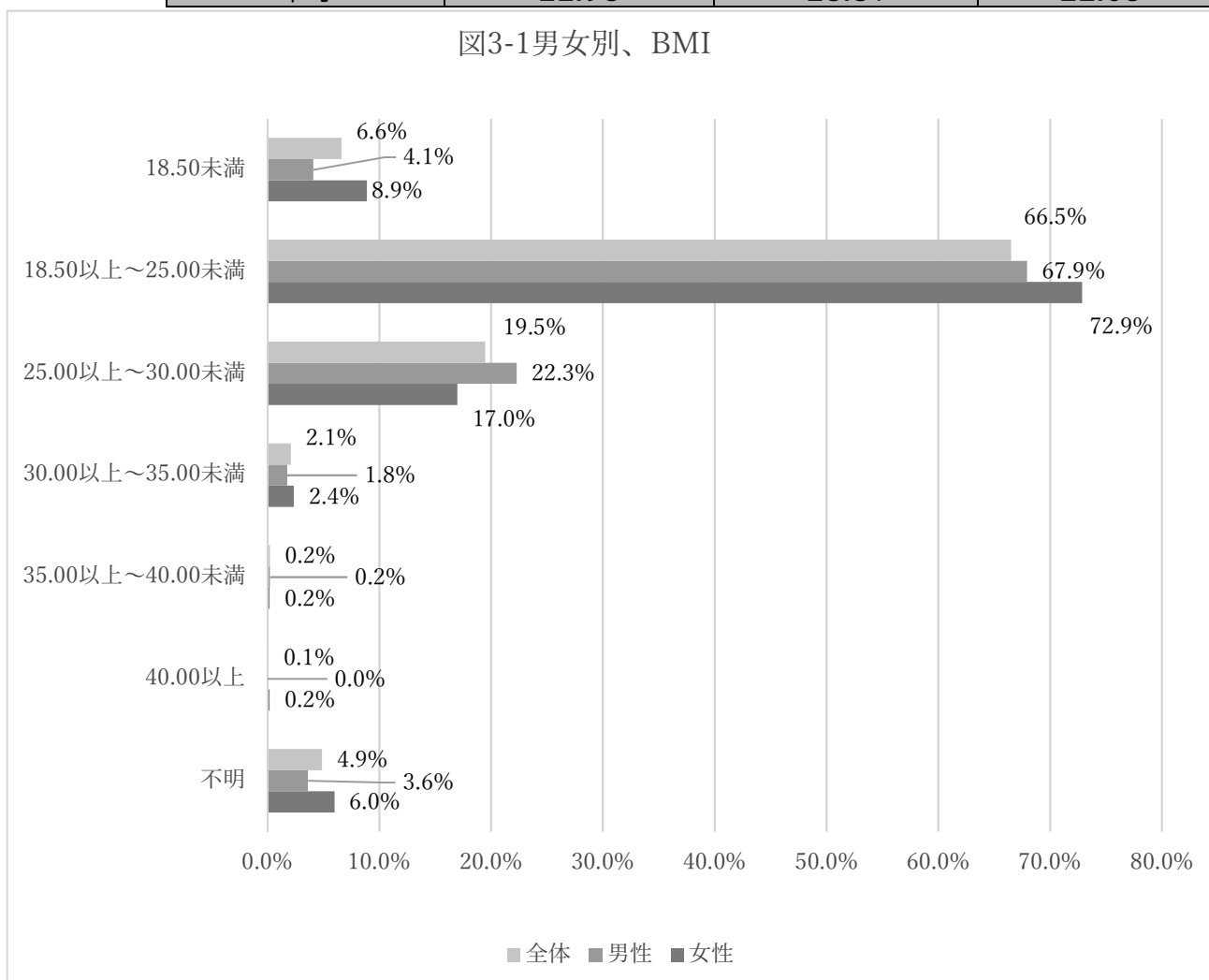
「標準体重」が 66.5%と最も多く、「低体重（痩せ）」は 6.6%、「肥満(1)」が 19.5%でした。肥満全体は 21.9%になっています。女性に比べ男性の方の肥満傾向が見られます。

平均値は 22.98(男性 23.31、女性 22.68)で、「普通体重」に収まっています。

表 3-1-3 男女別、BMI

		全体		男性		女性	
		該当数	構成比	該当数	構成比	該当数	構成比
低体重	18.50 未満	174	6.6%	51	4.1%	123	8.9%
普通体重	18.50～25.00 未満	1,743	66.5%	841	67.9%	902	72.9%
肥満(1 度)	25.00～30.00 未満	511	19.5%	276	22.3%	235	17.0%
肥満(2 度)	30.00～35.00 未満	55	2.1%	22	1.8%	33	2.4%
肥満(3 度)	35.00～40.00 未満	6	0.2%	3	0.2%	3	0.2%
肥満(4 度)	40.00 以上	3	0.1%	0	0.0%	3	0.2%
	不明	128	4.9%	45	3.6%	83	6.0%
	計	2,620	100.0%	1,238	100.0%	1,382	100.0%
	平均	22.98		23.31		22.68	

図3-1男女別、BMI



「BMI で見た普通体重の内訳」を見ると、「20.50～23.00 未満」45.5%に集中していました。

男女の比較では「男性」は肥満傾向、「女性」はやせ傾向が見られます。

表 3-1-4 男女別、BMI で見た普通体重の内訳

	全体		男性		女性	
	該当数	構成比	該当数	構成比	該当数	構成比
18.50～20.50 未満	366	21.0%	134	15.9%	232	25.7%
20.50～23.00 未満	793	45.5%	383	45.5%	410	45.5%
23.00～25.00 未満	584	33.5%	324	38.5%	260	28.8%
普通体重 計	1,743	100.0%	841	100.0%	902	100.0%

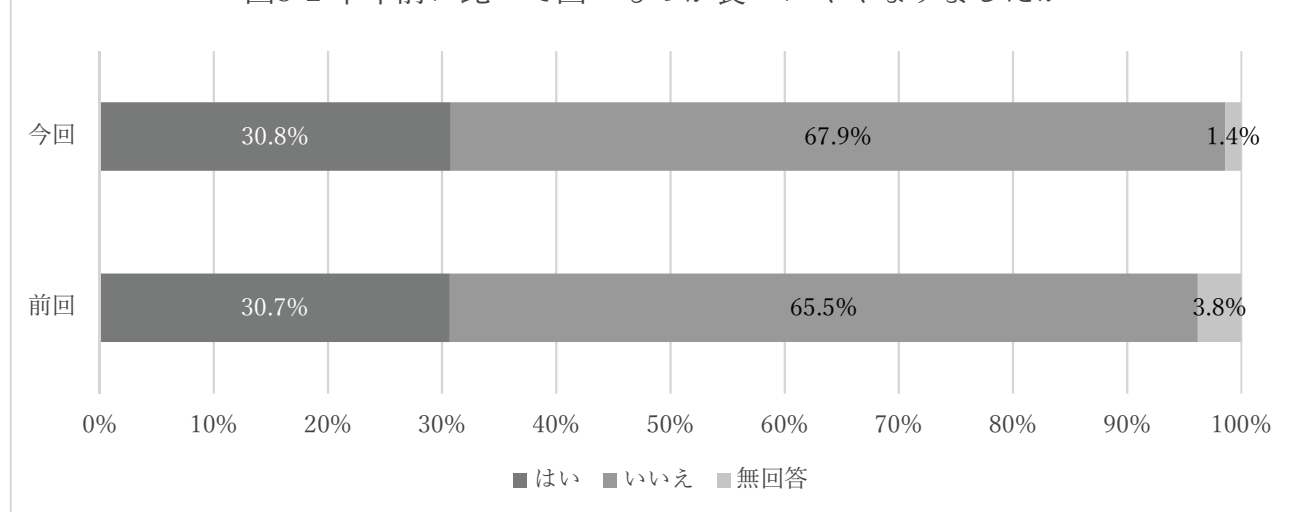
問 3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」と回答した人 30.8%は、前回調査とほぼ同じ結果になっています。

表 3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
はい	806	30.8%	720	30.7%	0.1 ポイント
いいえ	1,778	67.9%	1,536	65.5%	2.4 ポイント
無回答	36	1.4%	88	3.8%	△2.4 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

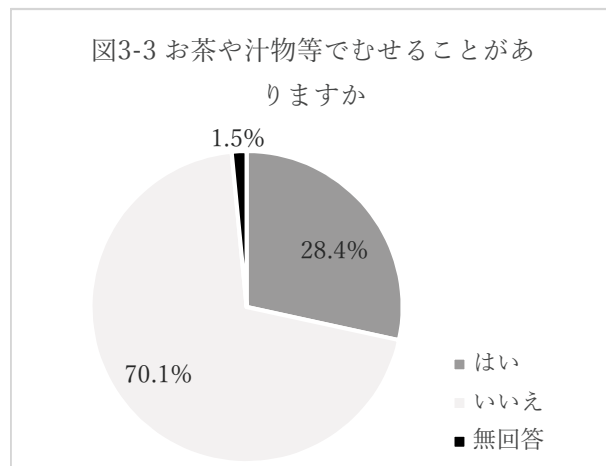


問 3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか

「お茶や汁物等でむせることがある」と回答した人は28.4%でした。

表 3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか

	回答数	構成比
はい	744	28.4%
いいえ	1,836	70.1%
無回答	40	1.5%
計	2,620	100.0%

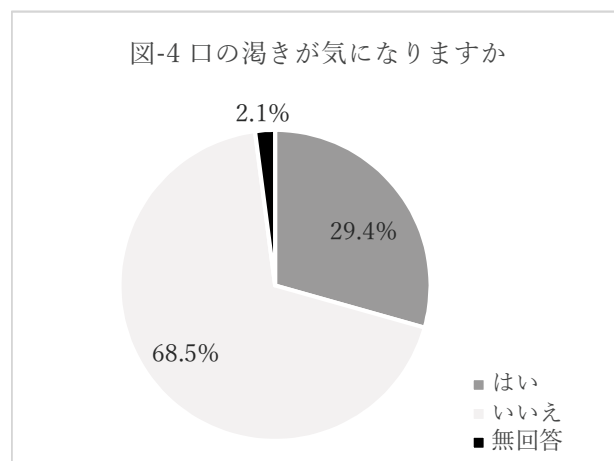


問 3-4 口の渇きが気になりますか

「口の渇きが気になる」と回答した人は29.4%でした。

表 3-4 口の渇きが気になりますか

	回答数	構成比
はい	770	29.4%
いいえ	1,796	68.5%
無回答	54	2.1%
計	2,620	100.0%

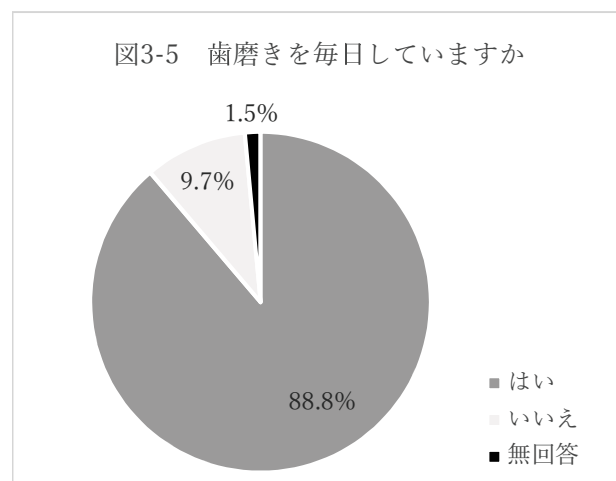


問 3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

「歯磨きを毎日している」と回答した人は88.8%でした。

問 3-5 歯磨きを毎日していますか

	回答数	構成比
はい	2,326	88.8%
いいえ	255	9.7%
無回答	39	1.5%
計	2,620	100.0%



問 3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

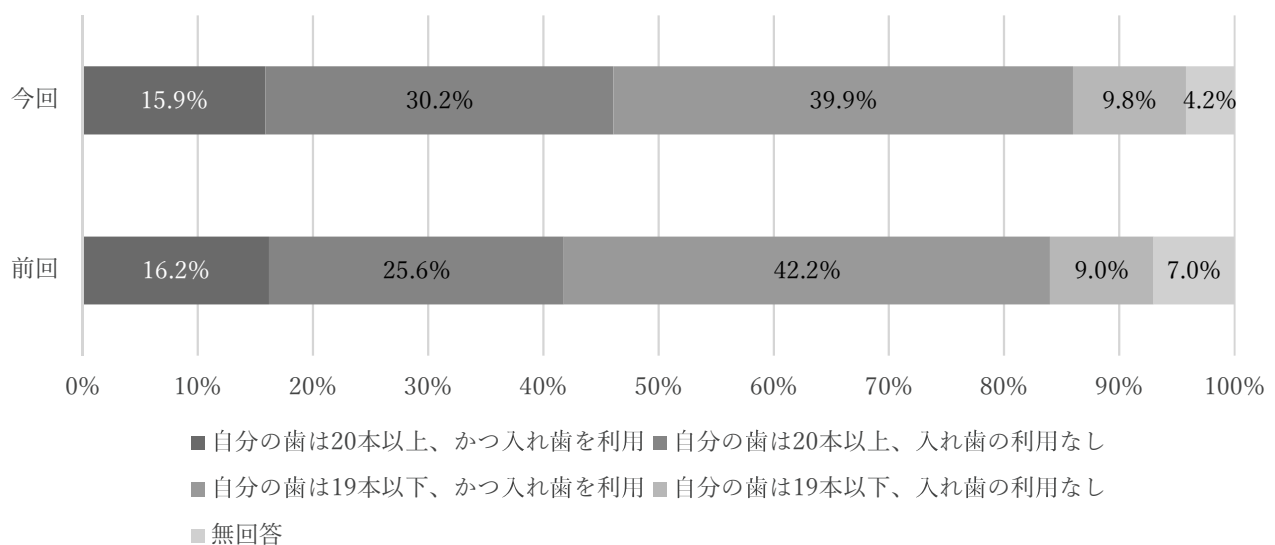
「歯の状態歯の数と入れ歯の利用状況」では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 39.9%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 30.2%でした。入れ歯を利用している人は合わせて、55.8%となっています。

前回調査との比較では「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 4.6 ポイント増加しています。

表 3-6 歯の数と入れ歯の利用状況

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	417	15.9%	380	16.2%	△0.3 ポイント
自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	791	30.2%	600	25.6%	4.6 ポイント
自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	1,045	39.9%	990	42.2%	△2.3 ポイント
自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	256	9.8%	211	9.0%	0.8 ポイント
無回答	111	4.2%	163	7.0%	△2.8 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
入れ歯を利用している(再掲)	1,462	55.8%	1,370	58.4%	△2.6 ポイント

図3-6 歯の数と入れ歯の利用状況



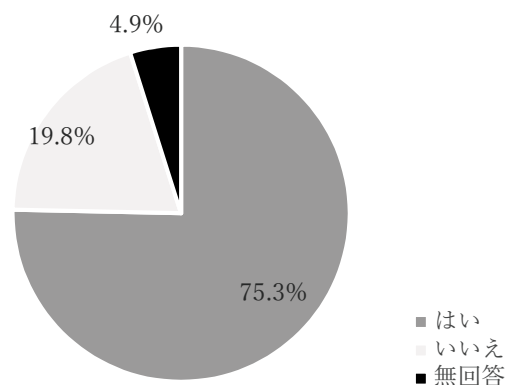
問 3-6-1 噛み合わせは良いですか。

「噛み合わせ良い」と回答した人は 75.3%でした。

表 3-6-1 噛み合わせは良いですか

	回答数	構成比
はい	1,974	75.3%
いいえ	518	19.8%
無回答	128	4.9%
計	2,620	100.0%

図3-6-1 噛み合わせは良いですか。



問 3-6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

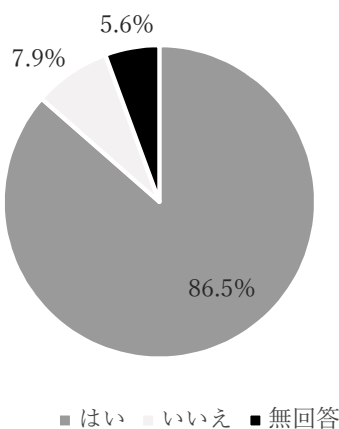
入れ歯を利用している人のうち、「毎日入れ歯の手入れをしている」と回答した人は 86.5%でした。

前回調査との比較では「はい」と回答した人は 7.2 ポイント増えています。

表 3-6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
はい	1,264	86.5%	1,086	79.3%	7.2 ポイント
いいえ	116	7.9%	97	7.1%	0.8 ポイント
無回答	82	5.6%	187	13.6%	△8.0 ポイント
計	1,462	100.0%	1,370	100.0%	—

図3-6-2 入れ歯の手入れをしていますか



「入れ歯の利用状況別、噛み合わせの状態」を見ると、「噛み合わせが良い」と回答している人は「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の 86.3%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の 87.5%でした。反対に、「噛み合わせが悪い」と回答している人が多いのは「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の 42.6%でした。

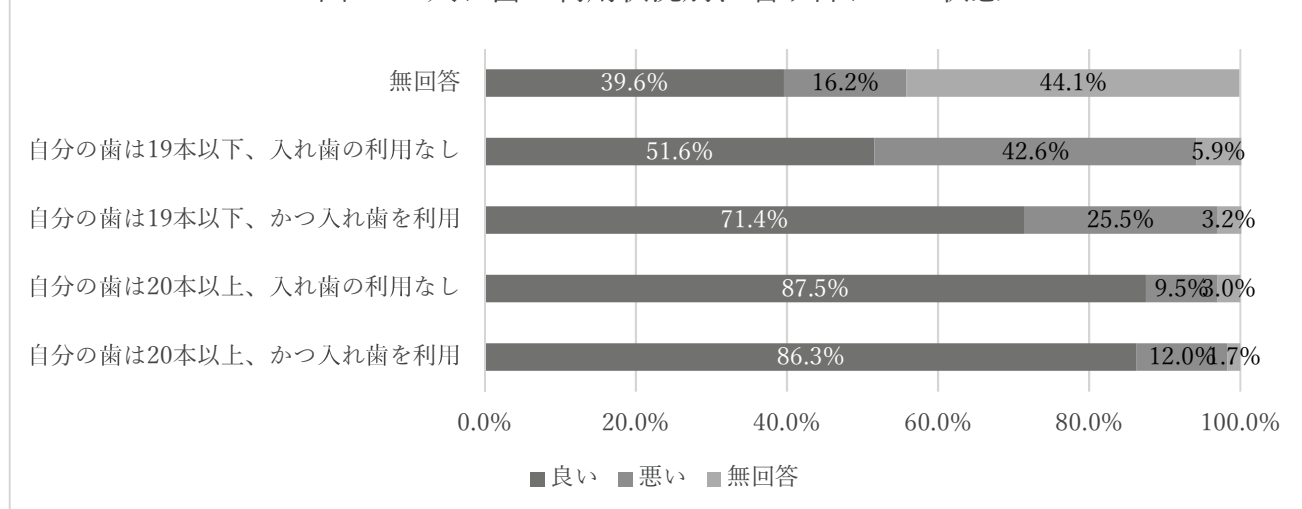
入れ歯のある、なしに関わらず、自分の歯が多く残っている人の噛み合わせが良く、自分の歯が少なくなれば入れ歯を利用している人の方が噛み合わせが良い傾向にあると思われます。

表 3-6-3 入れ歯の利用状況別、噛み合わせの状態

	噛み合わせの状態			
	良い	悪い	無回答	計
自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	360	50	7	417
自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	692	75	24	791
自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	746	266	33	1,045
自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	132	109	15	256
無回答	44	18	49	111
計	1,974	518	128	2,620
入れ歯を利用している(再掲)	1,106	316	40	1,462
入れ歯を利用していない(再掲)	824	184	39	1,047

	噛み合わせの状態			
	良い	悪い	無回答	N
自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	86.3%	12.0%	1.7%	N=417
自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	87.5%	9.5%	3.0%	N=791
自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	71.4%	25.5%	3.2%	N=1045
自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	51.6%	42.6%	5.9%	N=256
無回答	39.6%	16.2%	44.1%	N=111
計	75.3%	19.8%	4.9%	N=2620
入れ歯を利用している(再掲)	75.6%	21.6%	2.7%	N=1462
入れ歯を利用していない(再掲)	78.7%	17.6%	3.7%	N=1047

図3-6-3入れ歯の利用状況別、噛み合わせの状態



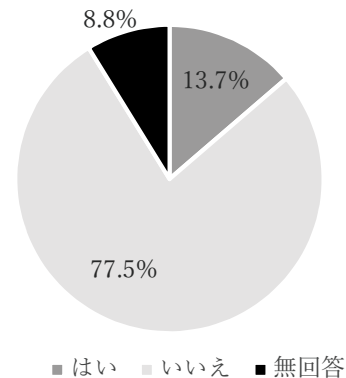
問 3-7 この6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。

「この6か月間で2～3kg 以上の体重減少した」と回答した人は13.7%でした。

表 3-7 この6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか

	回答数	構成比
はい	358	13.7%
いいえ	2,031	77.5%
無回答	231	8.8%
計	2,620	100.0%

図3-7この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか



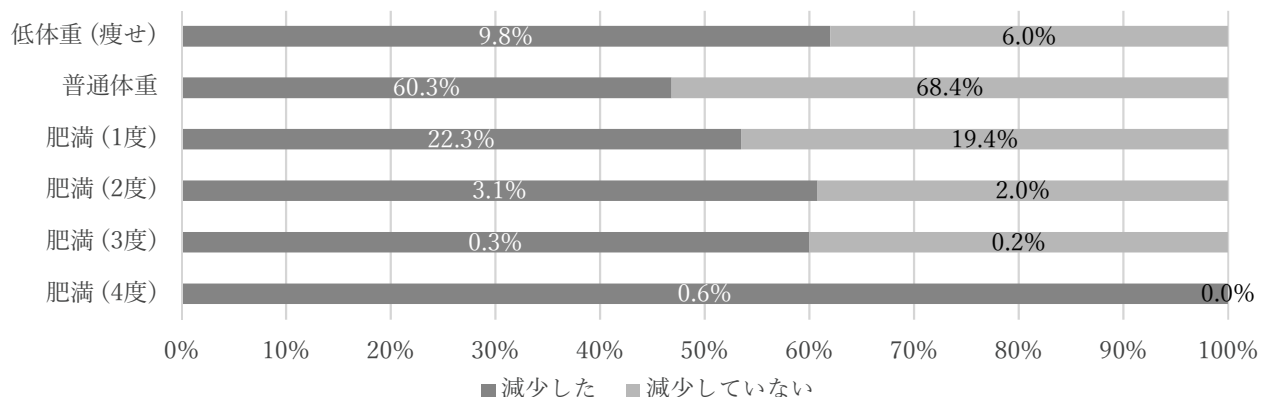
「体重減少の有無別、BMI」を見ると、「体重が減少した人」の「低体重」は9.8%と、「減少していない人」より3.8ポイント多く、「普通体重」では「減少した人」は60.3%で、「減少していない人」の68.4%に比べ8.1ポイント少なくなっています。

この6か月間で2～3kg 以上の体重減少した人は「低体重」の傾向を示しています。

表 3-7-1 体重減少の有無別、BMI

		減少した		減少していない		増減 (① - ②)
		該当数	構成比①	該当数	構成比②	
低体重 (痩せ)	18.50 未満	35	9.8%	122	6.0%	3.8 ポイント
普通体重	18.50 以上～20.50 未満	42	11.7%	290	14.3%	△2.5 ポイント
	20.50 以上～23.00 未満	95	26.5%	639	31.5%	△4.9 ポイント
	23.00 以上～25.00 未満	79	22.1%	461	22.7%	△0.6 ポイント
	小計(再掲)	216	60.3%	1,390	68.4%	△8.1 ポイント
肥満 (1度)	25.00 以上～30.00 未満	80	22.3%	393	19.4%	3.0 ポイント
肥満 (2度)	30.00 以上～35.00 未満	11	3.1%	40	2.0%	1.1 ポイント
肥満 (3度)	35.00 以上～40.00 未満	1	0.3%	4	0.2%	0.1 ポイント
肥満 (4度)	40.00 以上	2	0.6%	1	0.0%	0.5 ポイント
不明		13	3.6%	81	4.0%	△0.4 ポイント
計		358	100.0%	2,031	100.0%	—
平均		23.32		22.95		0.37

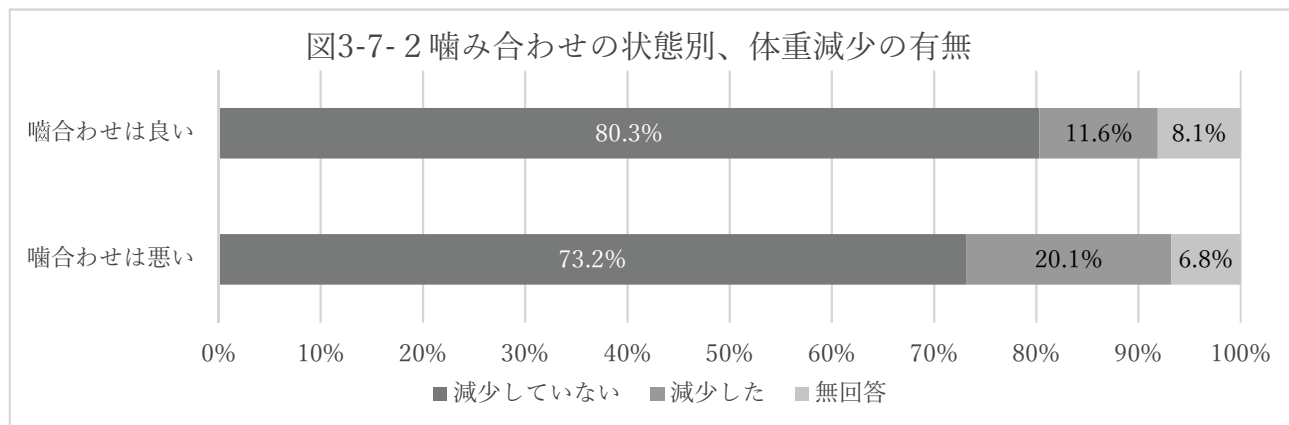
図3-7-1体重減少の有無別、BMI



「噛み合わせの状態別、体重減少の有無」を見ると、「減少した人」は「噛み合わせは良い」では11.6%、「噛み合わせは悪い」では20.1%でした。「噛み合わせは悪い人」の方が8.5ポイント、「減少した人」が多くなっています。

表 3-7-2 噛み合わせの状態別、体重減少の有無

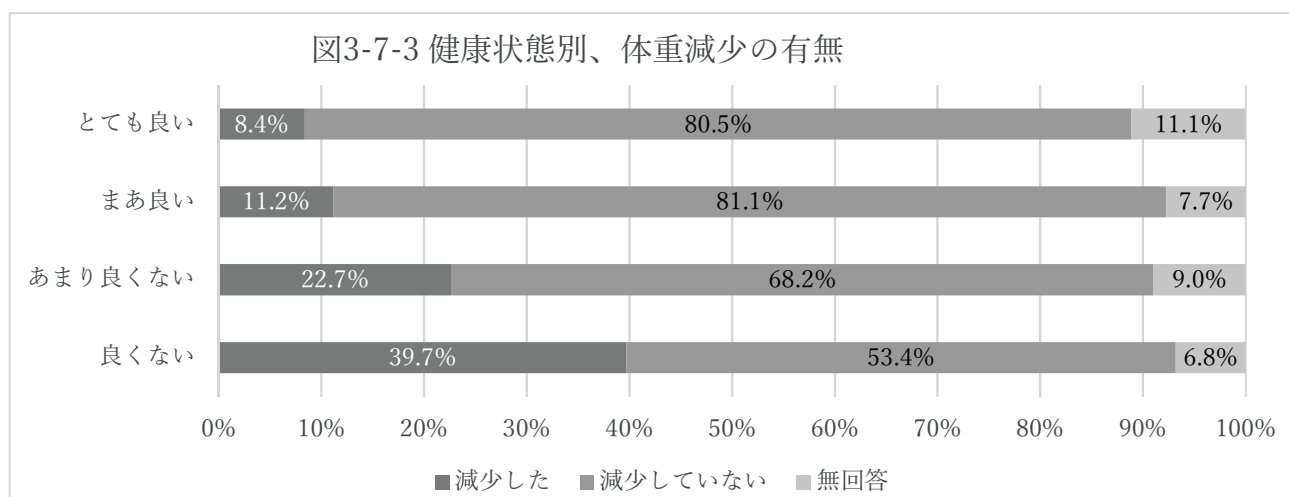
	噛み合わせは良い①		噛み合わせは悪い②		比較(①-②)
減少した	229	11.6%	104	20.1%	△8.5 ポイント
減少していない	1,585	80.3%	379	73.2%	7.1 ポイント
無回答	160	8.1%	35	6.8%	1.3 ポイント
計	1,974	100.0%	518	100.0%	—



「健康状態別、体重減少の有無」を見ると、「減少した人」は「とても良い」が8.4%、「まあ良い」が11.2%、「あまり良くない」が22.7%、「良くない」が39.7%と、健康状態が悪くなっていくに従って、「減少した人」の割合が高くなっています。

表 3-7-3 健康状態別、体重減少の有無

	健康状態							
	とても良い		まあ良い		あまり良くない		良くない	
減少した	25	8.4%	193	11.2%	101	22.7%	29	39.7%
減少していない	240	80.5%	1,396	81.1%	303	68.2%	39	53.4%
無回答	33	11.1%	133	7.7%	40	9.0%	5	6.8%
計	298	100.0%	1,722	100.0%	444	100.0%	73	100.0%



問 3-8 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

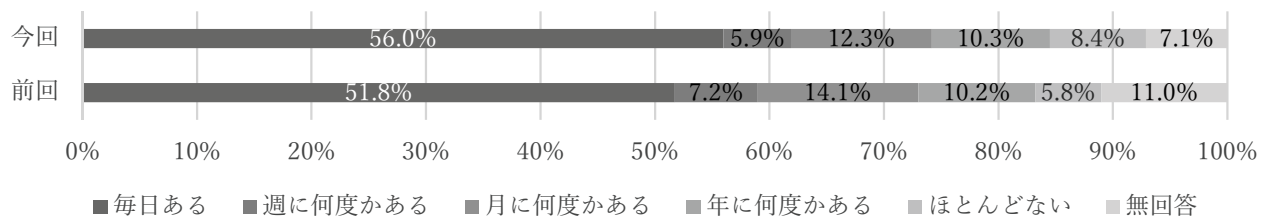
「どなたかと食事をとにもする機会がありますか」の質問に、「毎日ある」と回答した人は 56.0%と半数を超えており、「ほとんどない」と回答した人は 8.4%でした。

前回調査との比較では「毎日ある」が 4.2 ポイント増え、「ほとんどない」も 2.6 ポイント増えています。

表 3-8 誰かと食事をとにもする機会の頻度

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
毎日ある	1,468	56.0%	1,215	51.8%	4.2 ポイント
週に何度かある	154	5.9%	168	7.2%	△1.3 ポイント
月に何度かある	321	12.3%	331	14.1%	△1.8 ポイント
年に何度かある	270	10.3%	238	10.2%	0.1 ポイント
ほとんどない	221	8.4%	135	5.8%	2.6 ポイント
無回答	186	7.1%	257	11.0%	△3.9 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図3-8誰かと食事をとにもする機会の頻度



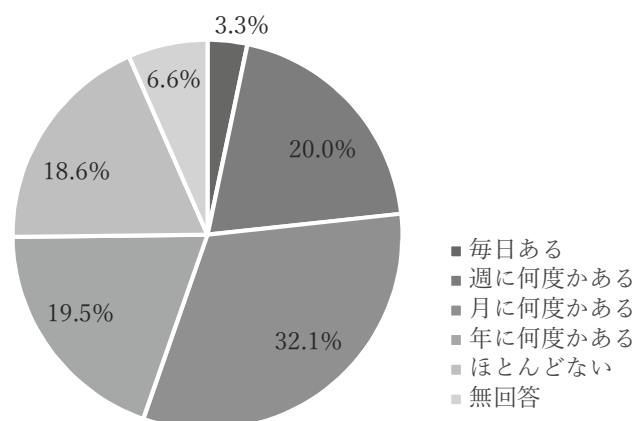
「誰かと食事をとにもする機会の頻度」を《ひとり暮らし》で見ると、誰かと食事を共にする機会が「月に何度かある」が 32.1%もっとも多く、次いで「週に何度かある」が 20.0%という結果になりました。「毎日ある」は 3.3%と、少なくなっています。

反対に「ほとんどない」は 18.6%となり、「年に何度かある」の 19.5%と合わせた 38.1%の人はほぼ一人で食事を済ませていると言えます。

表 3-8-1 誰かと食事をとにもする機会の頻度《ひとり暮らし》

	回答数	構成比
毎日ある	12	3.3%
週に何度かある	73	20.0%
月に何度かある	117	32.1%
年に何度かある	71	19.5%
ほとんどない	68	18.6%
無回答	24	6.6%
計	365	100.0%

図3-8-1誰かと食事をとにもする機会の頻度
《ひとり暮らし》



問4 毎日の生活について

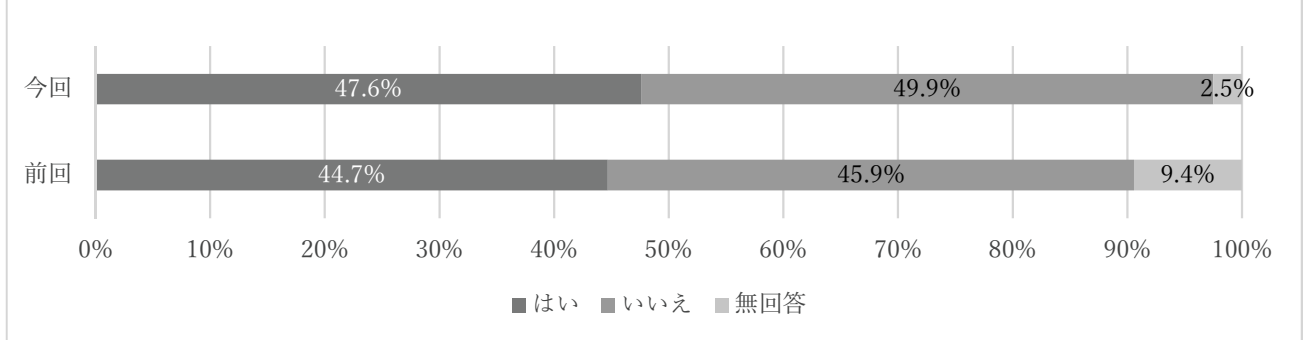
問 4-1 物忘れが多いと感じますか

「物忘れが多いと感じますか」の質問では「はい」が47.6%と、「いいえ」の49.9%よりわずかに少ない結果でした。前回調査でも同様の結果になっています。

表 4-1 物忘れが多いと感じますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
はい	1,248	47.6%	1,047	44.7%	2.9 ポイント
いいえ	1,307	49.9%	1,076	45.9%	4.0 ポイント
無回答	65	2.5%	221	9.4%	△6.9 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図4-1物忘れが多いと感じますか

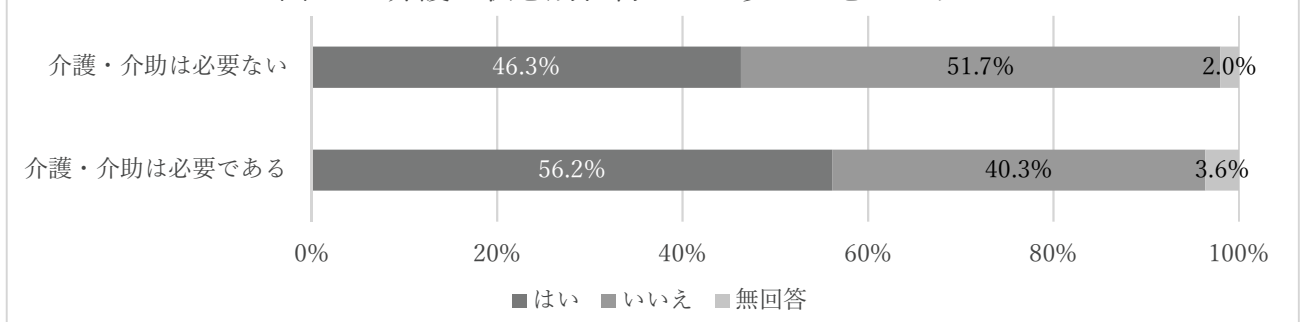


「介護の状態別、物忘れが多いと感じますか」については、「介護・介助は必要ない」では「はい」が46.3%、「介護・介助は必要である」では「はい」が56.2%となっています。

表 4-1-1 介護の状態別、物忘れが多いと感じますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,013	46.3%	219	56.2%
いいえ	1,133	51.7%	157	40.3%
無回答	44	2.0%	14	3.6%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図4-1-1介護の状態別、物忘れが多いと感じますか

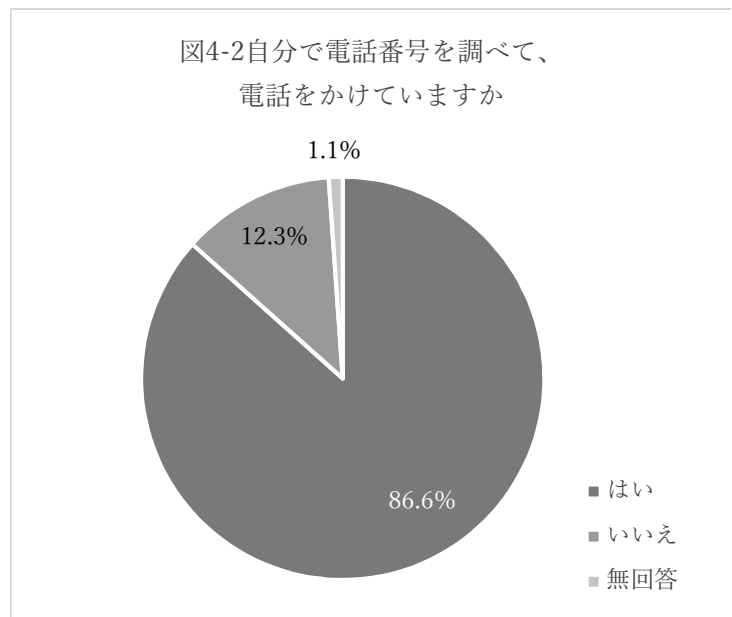


問 4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」の質問に「はい」と回答した人は86.6%でした。

表 4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけていますか

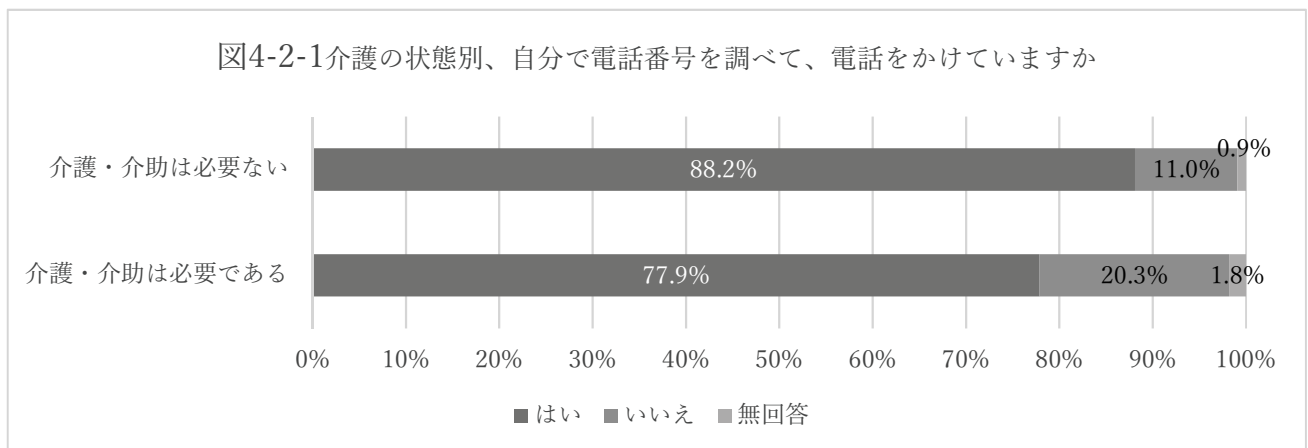
	回答数	構成比
はい	2,268	86.6%
いいえ	322	12.3%
無回答	30	1.1%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、自分で電話番号を調べて、電話をかけていますか」を見ると、介護の状態にかかわらず「はい」が多くなっていますが、「介護・介助は必要ない」では「はい」が88.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」では「はい」が81.7%、「現在、何らかの介護を受けている」では「はい」が73.1%と、介護の必要度が高まるに従って「はい」が漸減しています。

表 4-2-1 介護の状態別、自分で電話番号を調べて、電話をかけていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,931	88.2%	304	77.9%
いいえ	240	11.0%	79	20.3%
無回答	19	0.9%	7	1.8%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

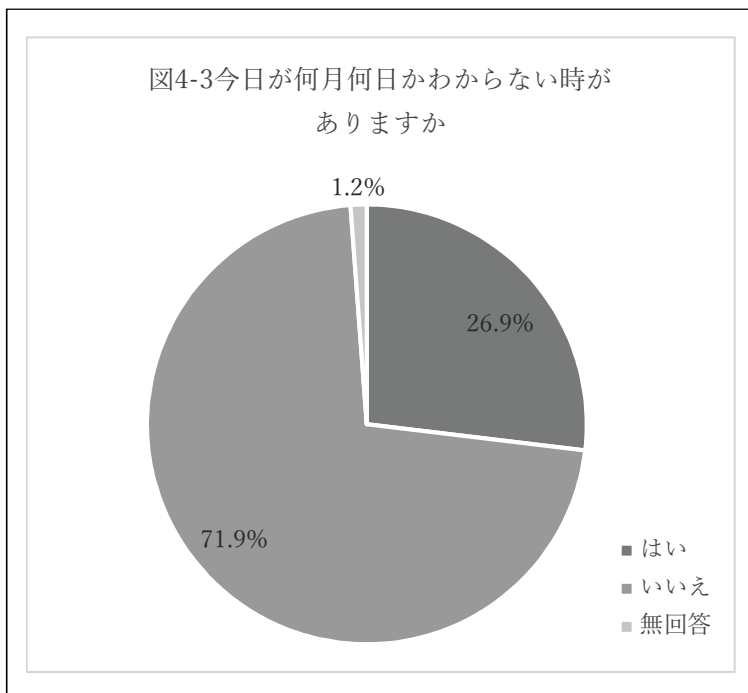


問 4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか

「今日が何月何日かわからない時がありますか」の質問に「はい」と回答した人は 26.9%でした。

表 4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか

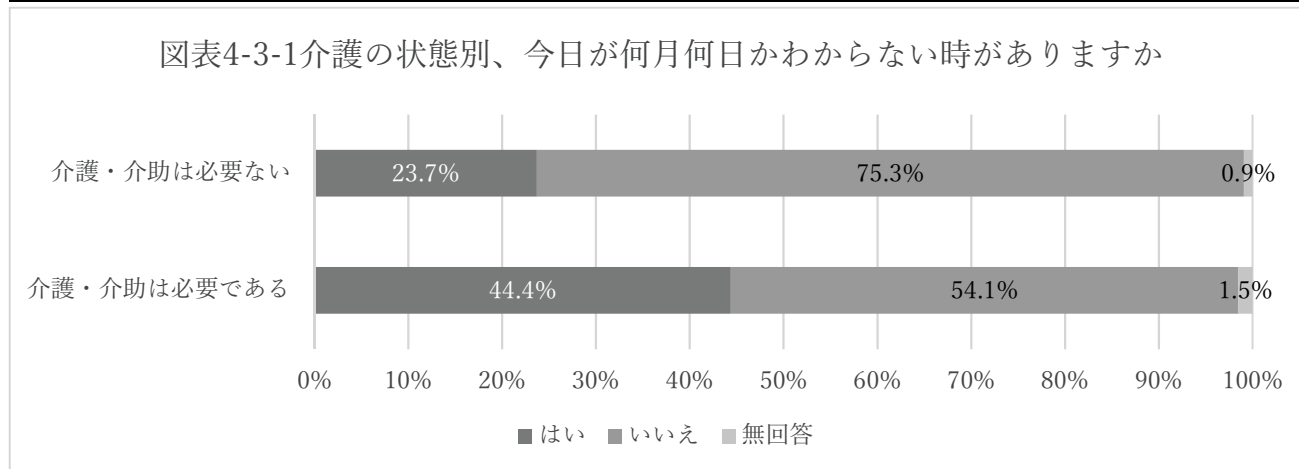
	回答数	構成比
はい	706	26.9%
いいえ	1,883	71.9%
無回答	31	1.2%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、今日が何月何日かわからない時がありますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「いいえ」が75.3%、「介護・介助は必要である」では「はい」が54.1%と回答しています。

表 4-3-1 介護の状態別、今日が何月何日かわからない時がありますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	520	23.7%	173	44.4%
いいえ	1,650	75.3%	211	54.1%
無回答	20	0.9%	6	1.5%
計	2,190	100.0%	390	100.0%



問 4-4 バスや電車を使って 1 人で外出していますか

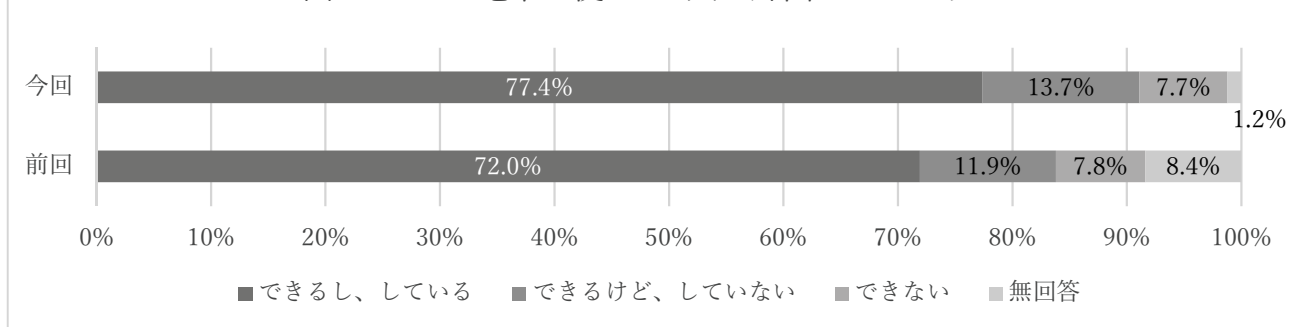
「バスや電車を使って 1 人で外出していますか」については、「できるし、している」が 77.4%、「できるけど、していない」が 13.7%でした。

前回調査でも、ほぼ同様の傾向を示していました。

表 4-4 バスや電車を使って 1 人で外出していますか(自家用車でも可)

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
できるし、している	2,028	77.4%	1,687	72.0%	5.4 ポイント
できるけど、していない	358	13.7%	279	11.9%	1.8 ポイント
できない	202	7.7%	182	7.8%	△0.1 ポイント
無回答	32	1.2%	196	8.4%	△7.2 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図4-4バスや電車を使って1人で外出していますか



「介護の状態別、バスや電車を使って 1 人で外出していますか」を見ると、「できるし、している」は「介護・介助は必要ない」では 84.6%を占め、「介護・介助は必要である」では 39.2%となっています。

反対に「できない」は「介護・介助は必要である」が 35.6%、「介護・介助は必要ない」が 2.6%となっています。

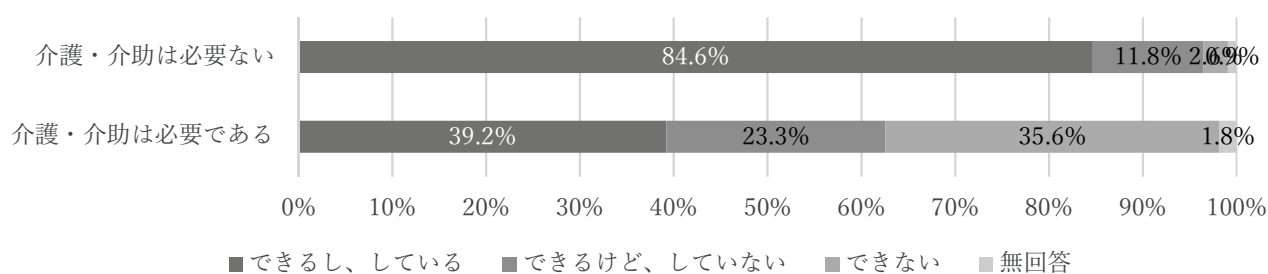
「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」が 11.8%、「介護・介助は必要である」が 23.3%となっています。

バスや電車を使っでの移動は高齢者の社会参加にとって重要な手段であり、一定数を占める「できるけど、していない」を「している」ことに変えていくことが、フレイルの進行を予防し、介護予防を進めていく上での重要課題となります。

表 4-4-1 介護の状態別、バスや電車を使って 1 人で外出していますか(自家用車でも可)

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,853	84.6%	153	39.2%
できるけど、していない	259	11.8%	91	23.3%
できない	58	2.6%	139	35.6%
無回答	20	0.9%	7	1.8%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図4-4-1介護の状態別、バスや電車を使って1人で外出していますか



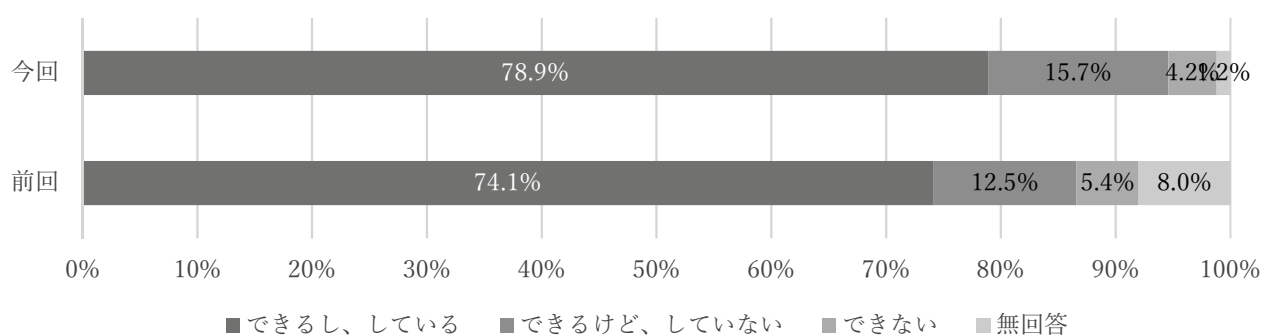
問 4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「自分で食品・日用品の買物をしていますか」については、「できるし、している」が 78.9%、「できるけど、していない」は 15.7%でした。前回調査でも、ほぼ同様の傾向を示していました。

表 4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
できるし、している	2,068	78.9%	1,738	74.1%	4.8 ポイント
できるけど、していない	411	15.7%	293	12.5%	3.2 ポイント
できない	110	4.2%	126	5.4%	△1.2 ポイント
無回答	31	1.2%	187	8.0%	△6.8 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図4-5自分で食品・日用品の買物をしていますか

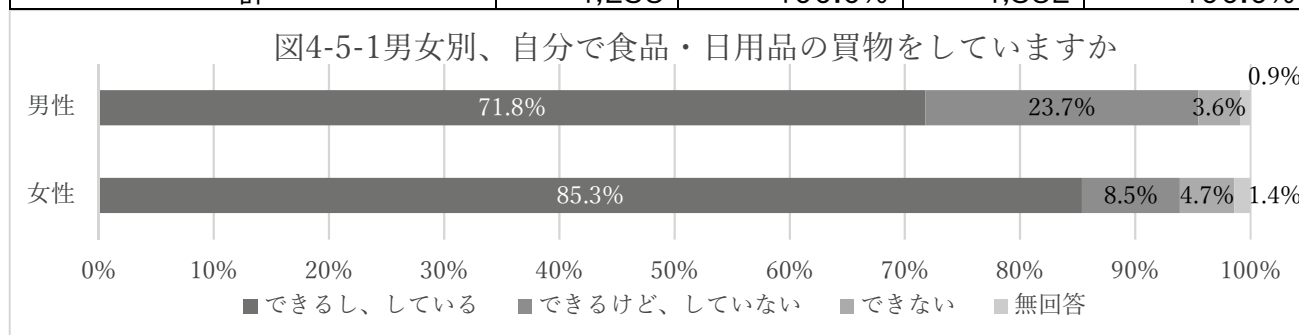


「男女別、自分で食品・日用品の買物をしていますか」を見ると、「できるけど、していない」の差が大きく、「男性」は23.7%、「女性」は8.5%になっています。

生活習慣の違いによるところが大きいと考えられますが、「男性」の「できるけど、していない」を「していること」に変えていくことが、フレイルの進行予防や男性がひとり暮らしになった時の生活維持にとって重要な課題になっています。

表 4-5-1 男女別、自分で食品・日用品の買物をしていますか

	男性		女性	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	889	71.8%	1,179	85.3%
できるけど、していない	293	23.7%	118	8.5%
できない	45	3.6%	65	4.7%
無回答	11	0.9%	20	1.4%
計	1,238	100.0%	1,382	100.0%



「介護の状態別、自分で食品・日用品の買物をしていますか」については、「できるし、している」では「介護・介助は必要ない」が83.6%を占め、「介護・介助は必要である」は53.3%になっています。

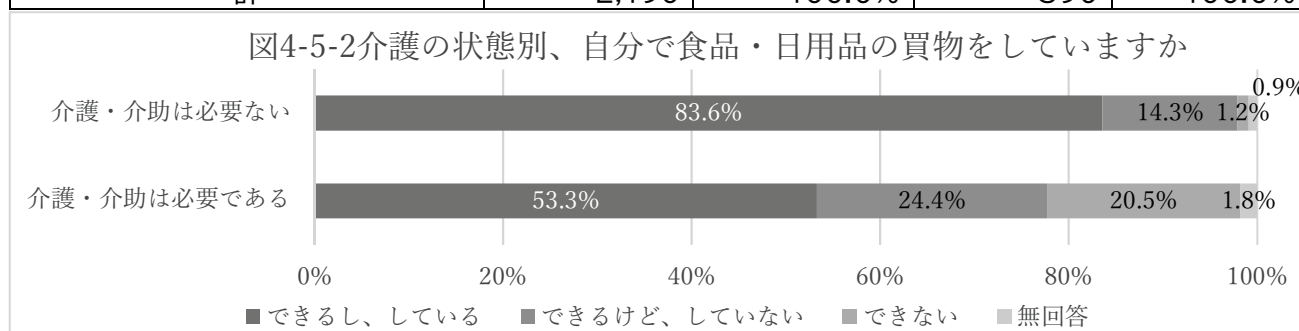
「できない」では「介護・介助は必要である」が24.4%、「介護・介助は必要ない」が1.2%となっています。

「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」と回答している人では14.3%、「介護・介助は必要である」では24.4%になっています。

食品・日用品の買物は生活習慣に関わる問題ですが、「できるけど、していない」を「していく」に変えていくことが、フレイルの進行を予防し、介護予防を進めていく上での重要課題となります。

表 4-5-2 介護の状態別、自分で食品・日用品の買物をしていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,831	83.6%	208	53.3%
できるけど、していない	313	14.3%	95	24.4%
できない	27	1.2%	80	20.5%
無回答	19	0.9%	7	1.8%
計	2,190	100.0%	390	100.0%



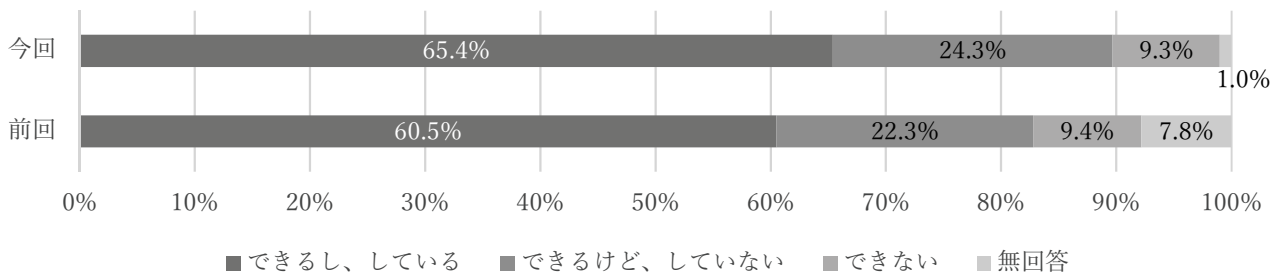
問 4-6 自分で食事の用意をしていますか

「自分で食事の用意をしていますか」については、「できるし、している」が 65.4%、「できるけど、していない」は 24.3%でした。前回調査でも、ほぼ同様の傾向を示していました。

表 4-6 自分で食事の用意をしていますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
できるし、している	1,714	65.4%	1,417	60.5%	4.9 ポイント
できるけど、していない	637	24.3%	522	22.3%	2.0 ポイント
できない	243	9.3%	221	9.4%	△0.1 ポイント
無回答	26	1.0%	184	7.8%	△6.8 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図4-6自分で食事の用意をしていますか



「男女別、自分で食事の用意をしていますか」を見ると、違いが顕著に表れています。

「できるし、している」では「女性」が 89.5%に対し、「男性」は 38.5%に過ぎませんでした。

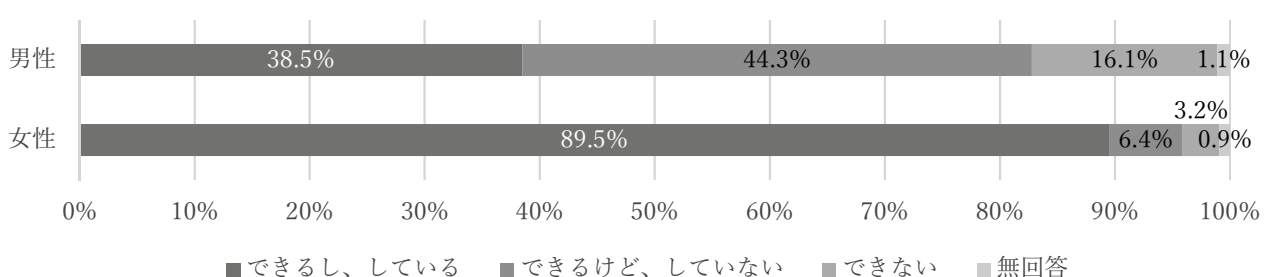
反対に「できるけど、していない」では、「男性」が 44.3%に対し、「女性」は 6.4%になっています。

生活習慣の違いによるところが大きいと考えられますが、「男性」の「できるけど、していない」を「していること」に変えていくことが、フレイルの進行予防やひとり暮らしになった時の生活維持にとっても重要な課題になっています。

表 4-6-1 男女別、自分で食事の用意をしていますか

	男性		女性	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	477	38.5%	1,237	89.5%
できるけど、していない	549	44.3%	88	6.4%
できない	199	16.1%	44	3.2%
無回答	13	1.1%	13	0.9%
計	1,238	100.0%	1,382	100.0%

図4-6-1男女別、自分で食事の用意をしていますか



「介護の状態別、自分で食事の用意をしていますか」を見ると、「できるし、している」では「介護・介助は必要ない」が67.7%、「介護・介助は必要である」は53.1%になっています。

反対に「できない」では「介護・介助は必要である」が21.3%、「介護・介助は必要ない」が7.1%となっています。

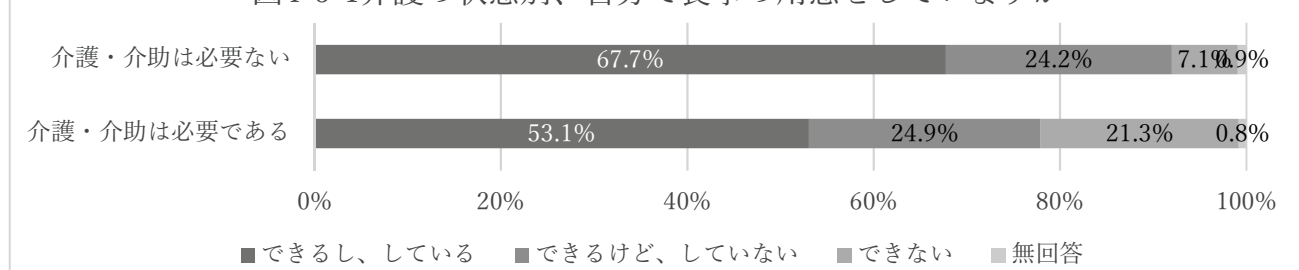
「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」と回答している人では24.2%、「介護・介助は必要である」では24.9%になっています。

食事の用意は生活習慣にも関わる問題ですが、「できるけど、していない」を「していく」ことに変えていくことが、フレイルの進行を予防し、介護予防を進めていく上での重要課題となります。

表 4-6-1 介護の状態別、自分で食事の用意をしていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,483	67.7%	207	53.1%
できるけど、していない	531	24.2%	97	24.9%
できない	156	7.1%	83	21.3%
無回答	20	0.9%	3	0.8%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図4-6-1介護の状態別、自分で食事の用意をしていますか



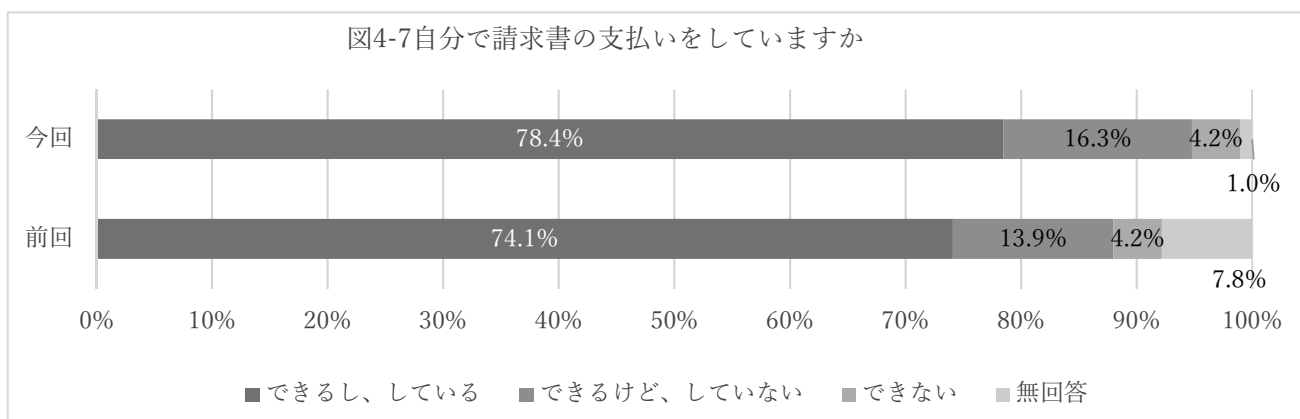
問 4-7 自分で請求書の支払いをしていますか

「自分で請求書の支払いをしていますか」については、「できるし、している」が78.4%、「できるけど、していない」は16.3%でした。

前回調査でも、ほぼ同様の傾向を示していました。

表 4-7 自分で請求書の支払いをしていますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
できるし、している	2,055	78.4%	1,736	74.1%	4.3 ポイント
できるけど、していない	428	16.3%	326	13.9%	2.4 ポイント
できない	111	4.2%	98	4.2%	0.0 ポイント
無回答	26	1.0%	184	7.8%	△6.8 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—



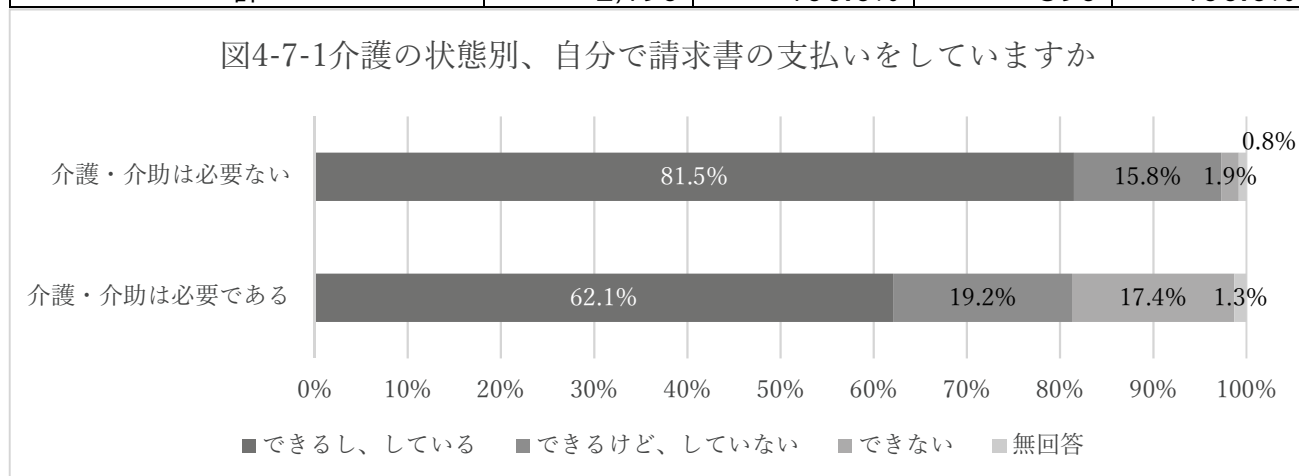
「介護の状態別、自分で請求書の支払いをしていますか」を見ると、「できるし、している」では「介護・介助は必要ない」が 81.5%、「介護・介助は必要である」は 62.1%になっています。反対に「できない」では「介護・介助は必要である」が 17.4%、「介護・介助は必要ない」が 1.9%と、ほぼ「できる」と回答しています。

「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」と回答している人では 15.8%、「介護・介助は必要である」では 19.2%になっています。

請求書の支払いは金銭管理に関わる問題ですが、「できるけど、していない」を「していく」ことに変えていくことが、認知症予防につながる課題と言えます。

表 4-7-1 介護の状態別、自分で請求書の支払いをしていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,784	81.5%	242	62.1%
できるけど、していない	347	15.8%	75	19.2%
できない	41	1.9%	68	17.4%
無回答	18	0.8%	5	1.3%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

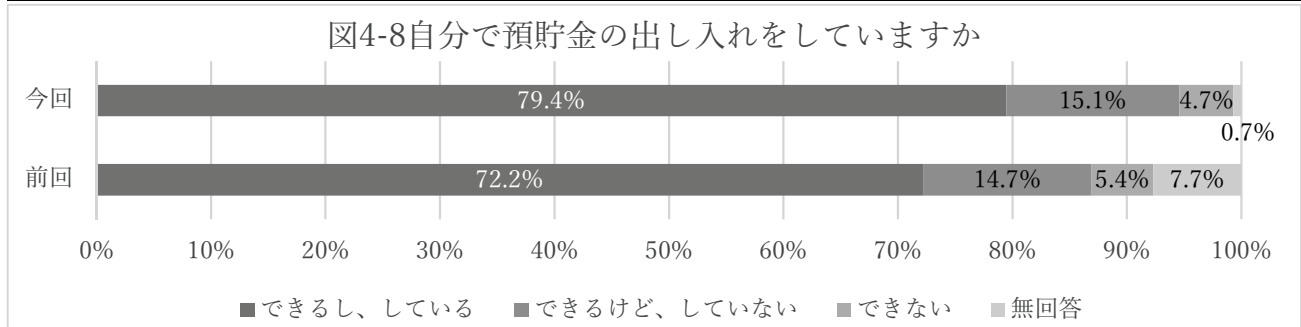


問 4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか

「自分で預貯金の出し入れをしていますか」については、「できるし、している」が 79.4%、「できるけど、していない」は 15.1%でした。前回調査でも、ほぼ同様の傾向を示しています。

表 4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
できるし、している	2,081	79.4%	1,692	72.2%	7.2 ポイント
できるけど、していない	396	15.1%	345	14.7%	0.4 ポイント
できない	124	4.7%	127	5.4%	△0.7 ポイント
無回答	19	0.7%	180	7.7%	△7.0 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—



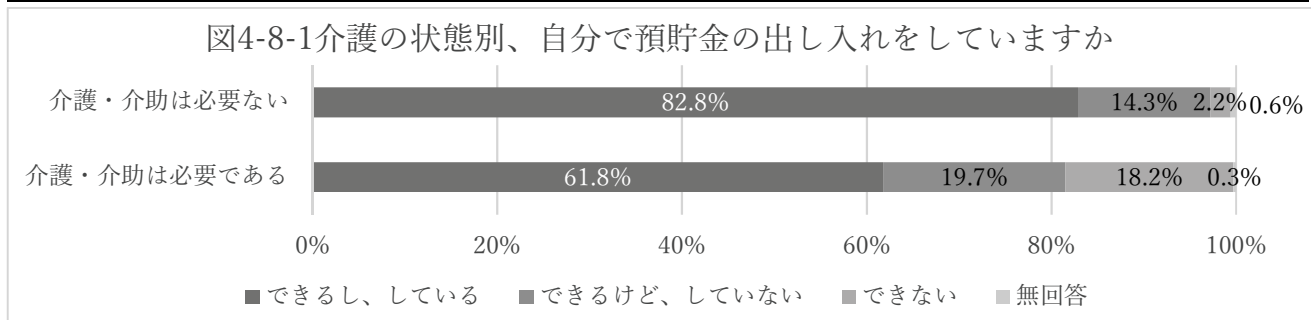
「介護の状態別、自分で預貯金の出し入れをしていますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「できるし、している」が 82.8%、「介護・介助は必要である」でも「できるし、している」が 61.8%と多くなっています。

「できるけど、していない」に着目すると、「介護・介助は必要ない」と回答している人では 14.3%、「介護・介助は必要である」では 19.7%になっています。

預貯金の出し入れは金銭管理に関わる問題ですが、「できるけど、していない」を「していく」ことに変えていくことが、認知症予防につながる課題と言えます。

表 4-8-1 介護の状態別、自分で預貯金の出し入れをしていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
できるし、している	1,813	82.8%	241	61.8%
できるけど、していない	314	14.3%	77	19.7%
できない	49	2.2%	71	18.2%
無回答	14	0.6%	1	0.3%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

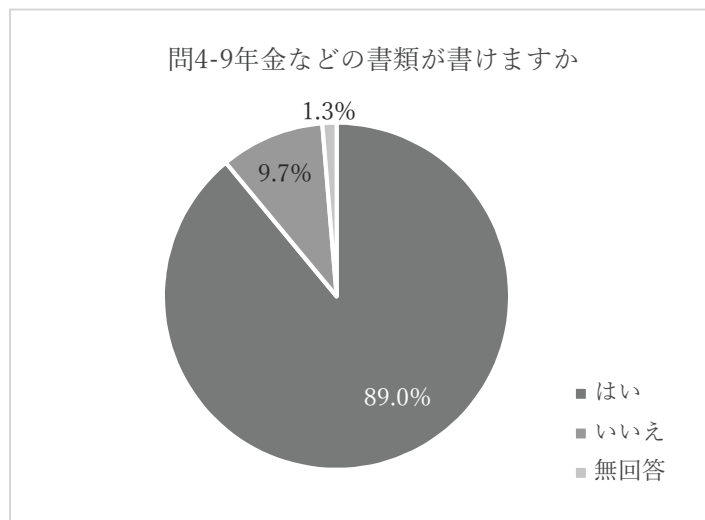


問 4-9 年金などの書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか

「年金などの書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか」については、「はい」と回答した人は 89.0%でした。

表 4-9 年金などの書類が書けますか

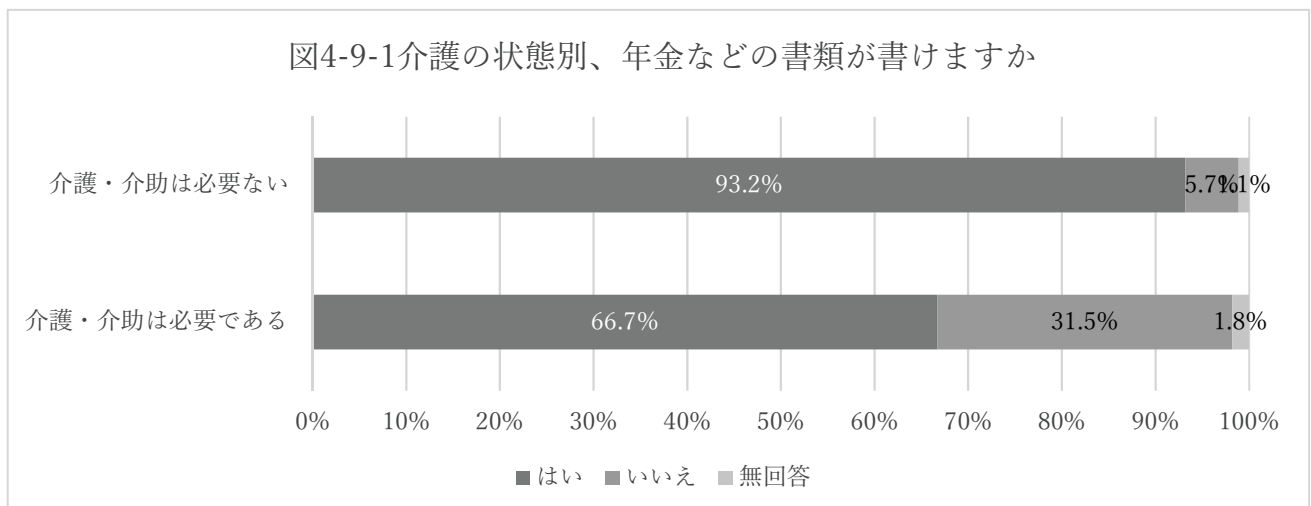
	回答数	構成比
はい	2,332	89.0%
いいえ	253	9.7%
無回答	35	1.3%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、年金などの書類が書けますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「はい」が 93.2%、「介護・介助は必要である」では「はい」が 66.7%になっています。

表 4-9-1 介護の状態別、年金などの書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	2,042	93.2%	260	66.7%
いいえ	124	5.7%	123	31.5%
無回答	24	1.1%	7	1.8%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

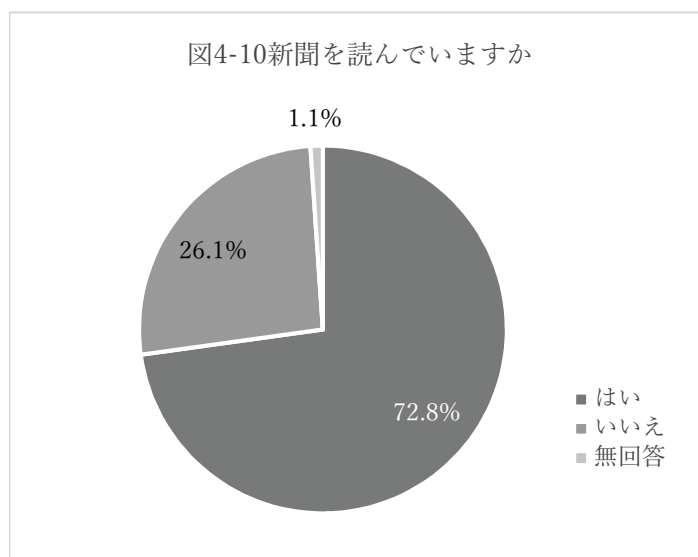


問 4-10 新聞を読んでいますか

「新聞を読んでいますか」については、「はい」と回答した人は 72.8%でした。

表 4-10 新聞を読んでいますか

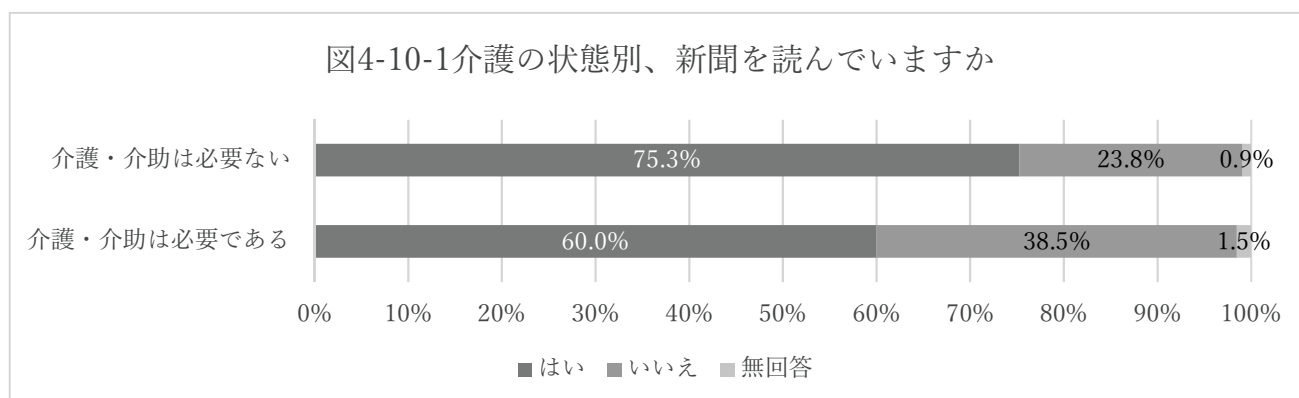
	回答数	構成比
はい	1,908	72.8%
いいえ	684	26.1%
無回答	28	1.1%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、新聞を読んでいますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「はい」が75.3%、介護・介助は必要である」では「はい」が60.0%になっています。

表 4-10-1 介護の状態別、新聞を読んでいますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,650	75.3%	234	60.0%
いいえ	521	23.8%	150	38.5%
無回答	19	0.9%	6	1.5%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

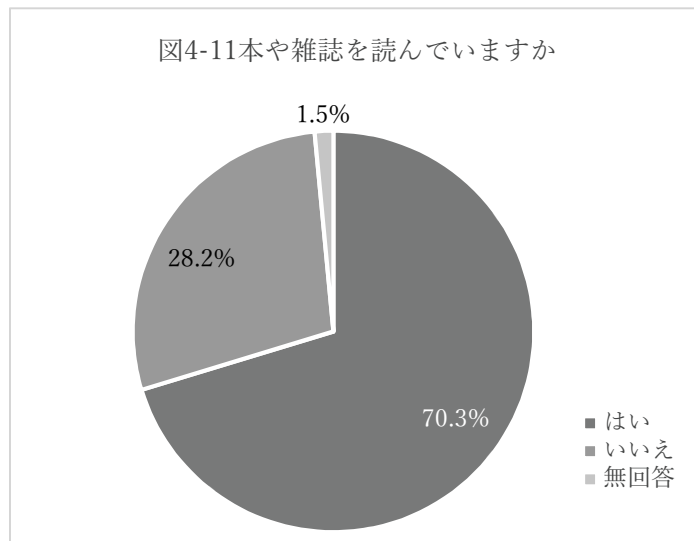


問 4-11 本や雑誌を読んでいますか

「本や雑誌を読んでいますか」については、「はい」と回答した人は 70.3%でした。

表 4-11 本や雑誌を読んでいますか

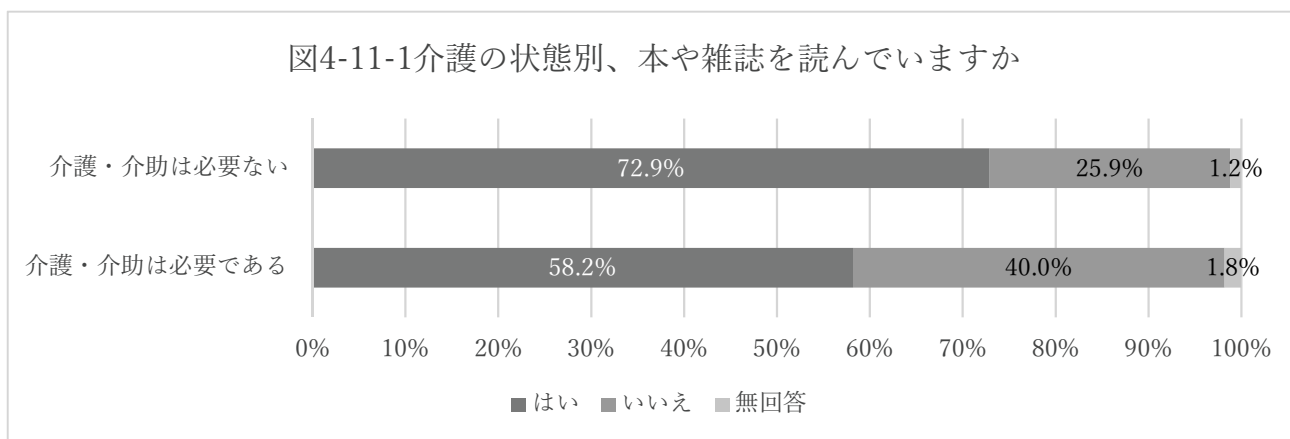
	回答数	構成比
はい	1,843	70.3%
いいえ	739	28.2%
無回答	38	1.5%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、本や雑誌を読んでいますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「はい」が 72.9%ですが、「介護・介助は必要である」では「はい」が 58.2%になっています。

表 4-11-1 介護の状態別、本や雑誌を読んでいますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,596	72.9%	227	58.2%
いいえ	568	25.9%	156	40.0%
無回答	26	1.2%	7	1.8%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

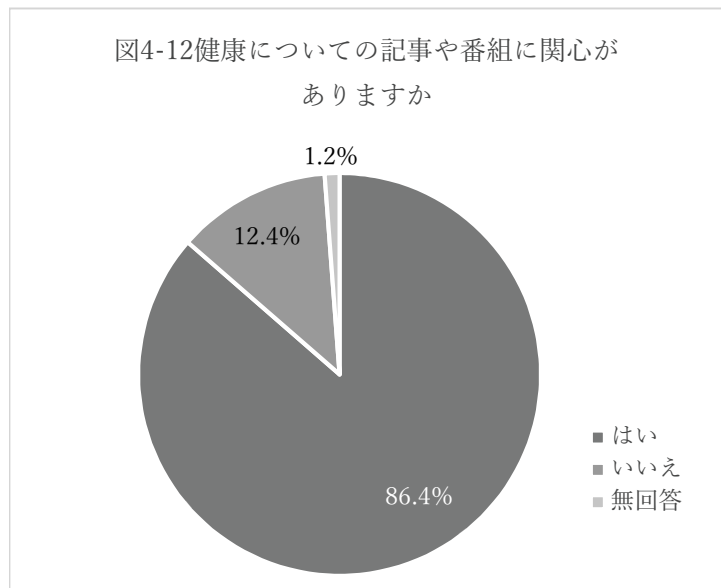


問 4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか

「健康についての記事や番組に関心がありますか」については、「はい」と回答した人は86.4%でした。

表 4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか

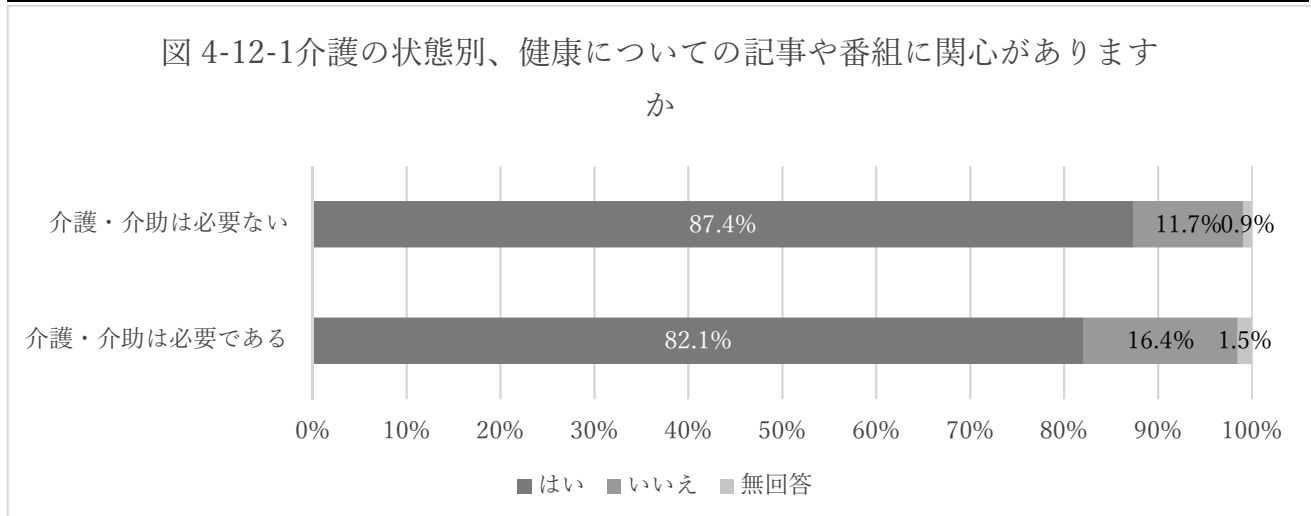
	回答数	構成比
はい	2,263	86.4%
いいえ	326	12.4%
無回答	31	1.2%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、健康についての記事や番組に関心がありますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「できるし、している」が87.4%、「82.1%」でも「できるし、している」が77.8%と多くなっています。介護の状態に関係なく、健康についての関心の高さが伺えます。

表 4-12-1 介護の状態別、健康についての記事や番組に関心がありますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,913	87.4%	320	82.1%
いいえ	257	11.7%	64	16.4%
無回答	20	0.9%	6	1.5%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

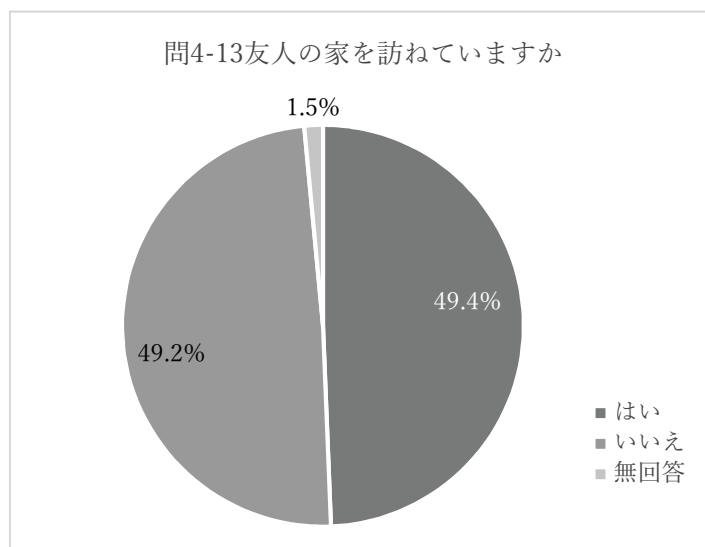


問 4-13 友人の家を訪ねていますか

「友人の家を訪ねていますか」については、「はい」と回答した人は 49.4%でした。

表 4-13 友人の家を訪ねていますか

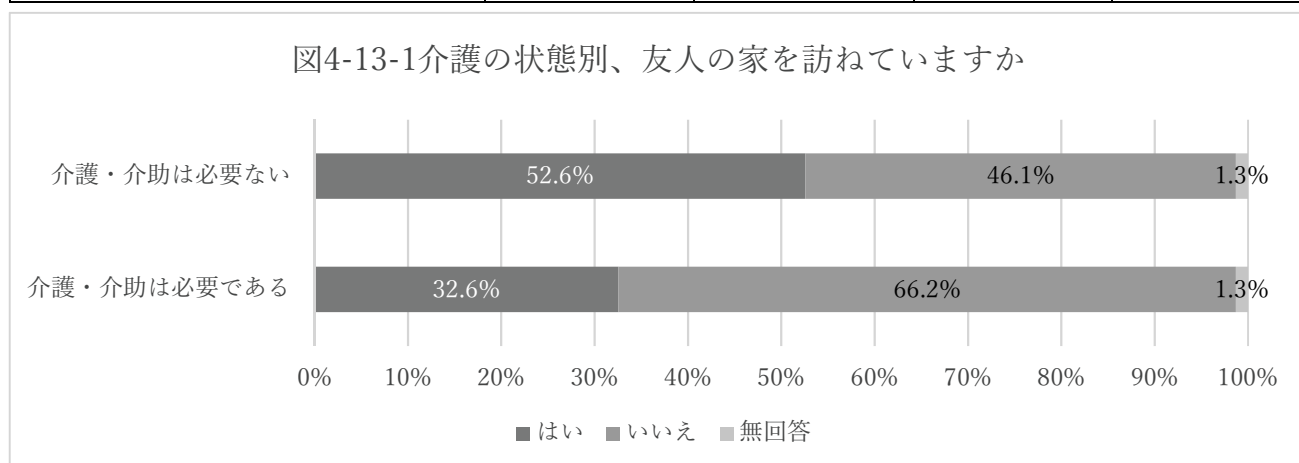
	回答数	構成比
はい	1,293	49.4%
いいえ	1,288	49.2%
無回答	39	1.5%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、友人の家を訪ねていますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「はい」が 52.6%と多く、「介護・介助は必要である」では反対に「いいえ」が 66.2%と多くなっています。

表 4-13-1 介護の状態別、友人の家を訪ねていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,152	52.6%	127	32.6%
いいえ	1,010	46.1%	258	66.2%
無回答	28	1.3%	5	1.3%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

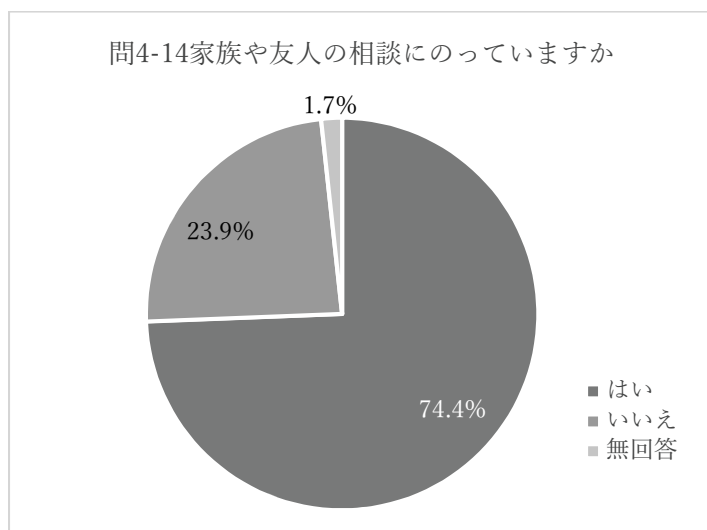


問 4-14 家族や友人の相談にのっていますか

「家族や友人の相談にのっていますか」については、「はい」と回答した人は 74.4%でした。

表 4-14 家族や友人の相談にのっていますか

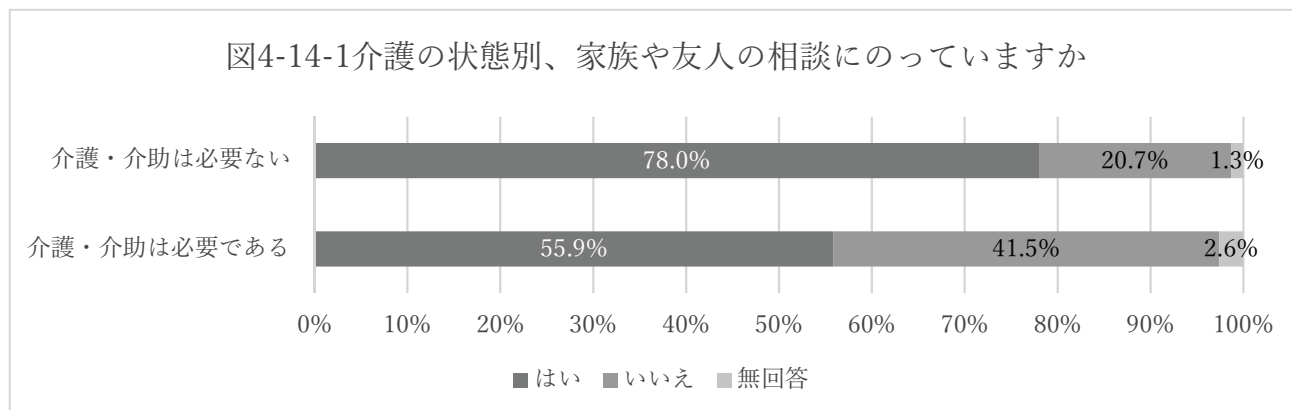
	回答数	構成比
はい	1,949	74.4%
いいえ	626	23.9%
無回答	45	1.7%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、家族や友人の相談にのっていますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「はい」が 78.0%なのに対し、「介護・介助は必要である」では「はい」は 55.9%になっています。

表 4-14-1 介護の状態別、家族や友人の相談にのっていますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,709	78.0%	218	55.9%
いいえ	453	20.7%	162	41.5%
無回答	28	1.3%	10	2.6%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

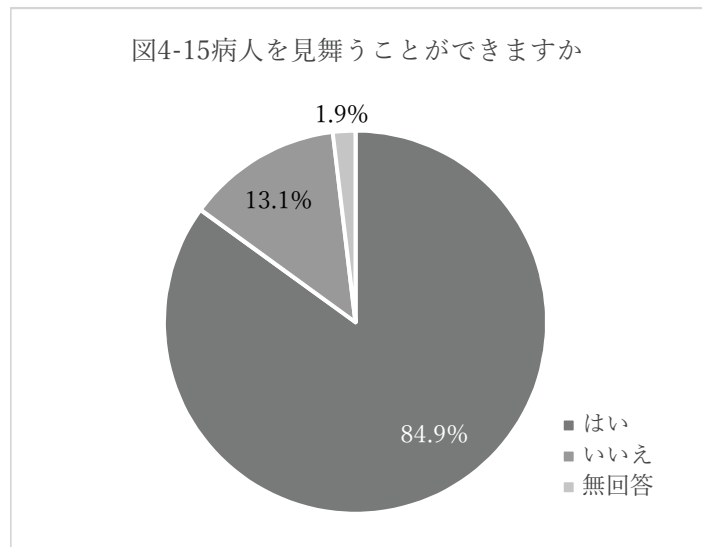


問 4-15 病人を見舞うことができますか

「病人を見舞うことができますか」については、
「はい」と回答した人は 84.9%でした。

表 4-15 病人を見舞うことができますか

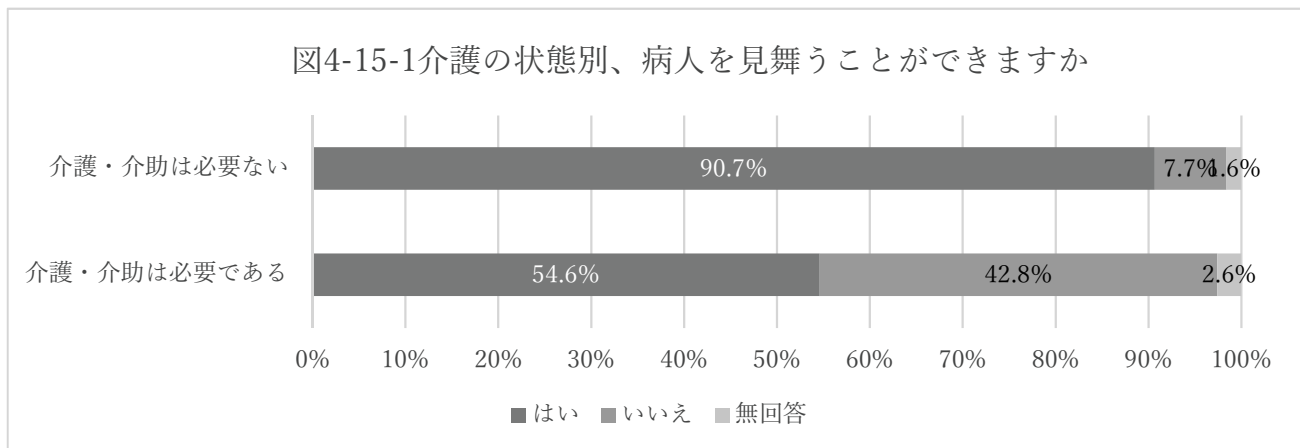
	回答数	構成比
はい	2,225	84.9%
いいえ	344	13.1%
無回答	51	1.9%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、病人を見舞うことができますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「はい」が 90.7%であるのに対し、「介護・介助は必要である」では「はい」は 54.6%になっています。

表 4-15-1 介護の状態別、病人を見舞うことができますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,986	90.7%	213	54.6%
いいえ	169	7.7%	167	42.8%
無回答	35	1.6%	10	2.6%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

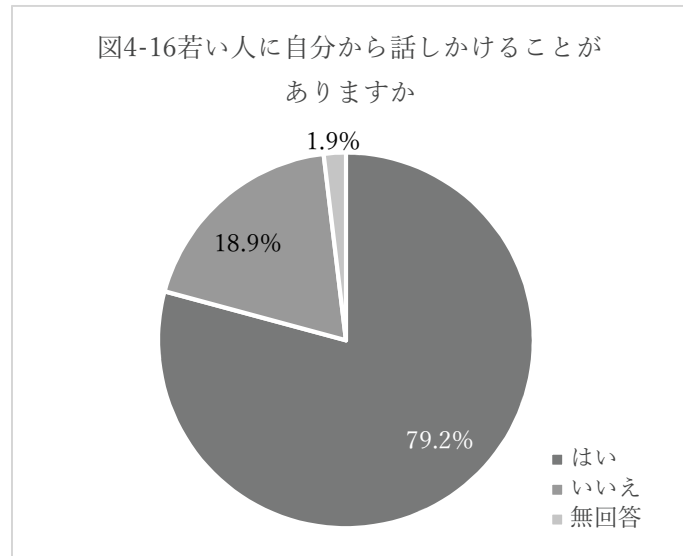


問 4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか

「若い人に自分から話しかけることがありますか」については、「はい」と回答した人は79.2%でした。

表 4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか

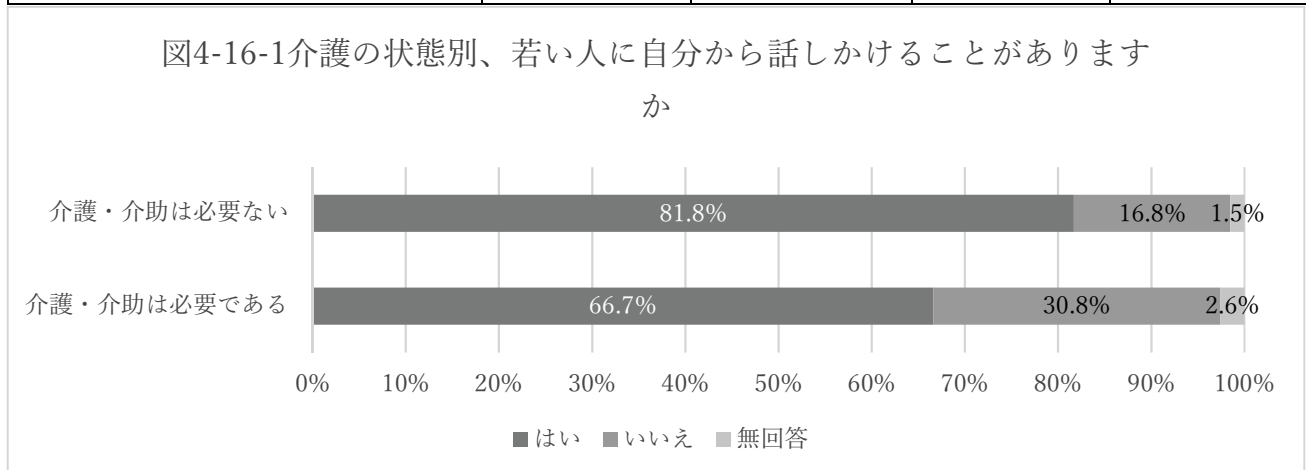
	回答数	構成比
はい	2,075	79.2%
いいえ	495	18.9%
無回答	50	1.9%
計	2,620	100.0%



「介護の状態別、若い人に自分から話しかけることがありますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「はい」が81.8%であるのに対し、「介護・介助は必要である」では「はい」が66.7%となっています。

表 4-16-1 介護の状態別、若い人に自分から話しかけることがありますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
はい	1,791	81.8%	260	66.7%
いいえ	367	16.8%	120	30.8%
無回答	32	1.5%	10	2.6%
計	2,190	100.0%	390	100.0%



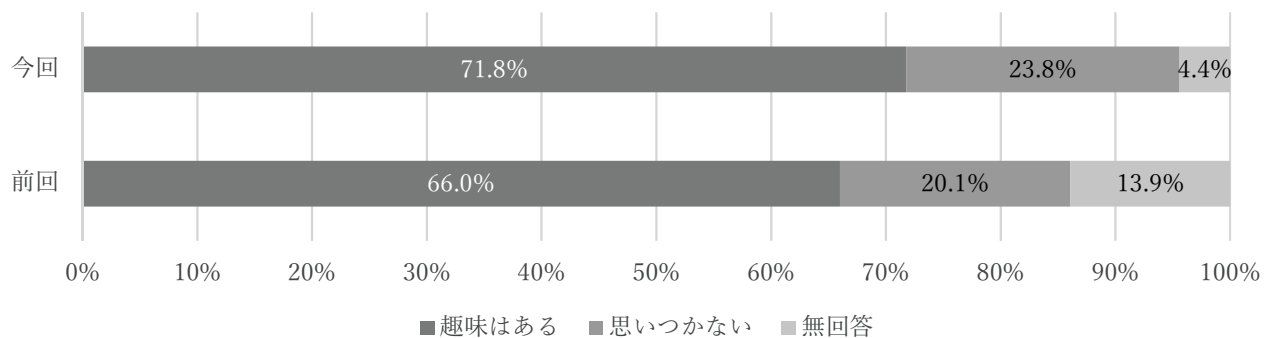
問 4-17 趣味はありますか

「趣味はある」と回答した人は 71.8%であり、「思いつかない」は 23.8%となっています。

表 4-17 趣味はありますか

	今回		前回		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
趣味はある	1,881	71.8%	1,547	66.0%	5.8 ポイント
思いつかない	624	23.8%	471	20.1%	3.7 ポイント
無回答	115	4.4%	326	13.9%	△9.5 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図4-17趣味はありますか

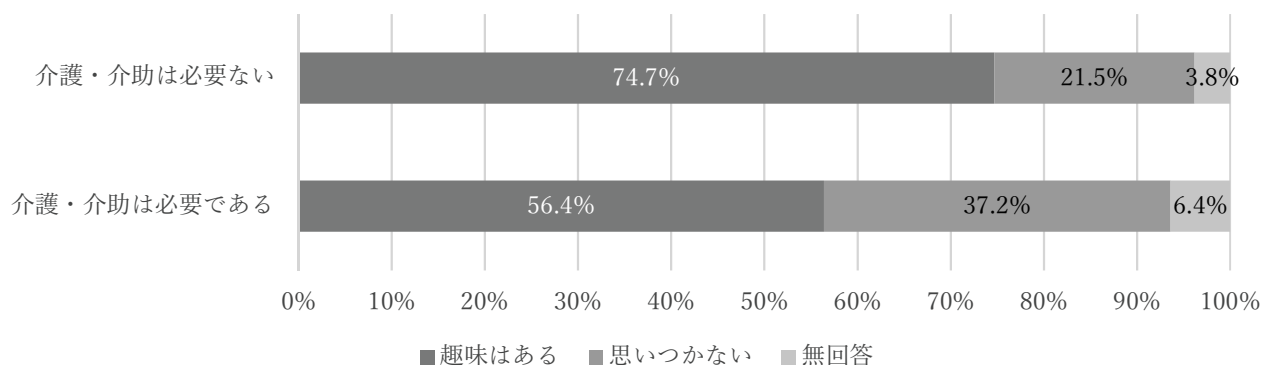


「介護の状態別、趣味はありますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「趣味はある」が 74.7%であるのに対し、「介護・介助は必要である」では「趣味はある」は 56.4%になっています。

表 4-17-1 介護の状態別、趣味はありますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
趣味はある	1,636	74.7%	220	56.4%
思いつかない	471	21.5%	145	37.2%
無回答	83	3.8%	25	6.4%
計	2,190	100.0%	390	100.0%

図4-17-1介護の状態別、趣味はありますか



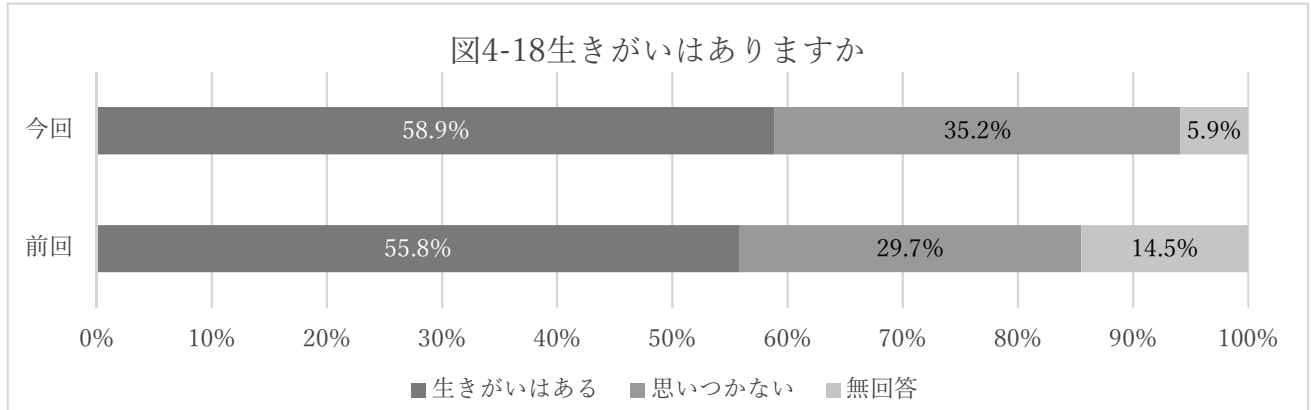
問 4-18 生きがいがありますか

「生きがいはある」と回答した人は 58.9%であり、「思いつかない」は 35.2%となっています。

「自由記述」では子や孫の成長、家族とのふれあい、仕事や社会貢献などが生きがいとして多く見られました。

表 4-18 生きがいがありますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
生きがいはある	1,543	58.9%	1,308	55.8%	3.1 ポイント
思いつかない	922	35.2%	695	29.7%	5.5 ポイント
無回答	155	5.9%	341	14.5%	△8.6 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—



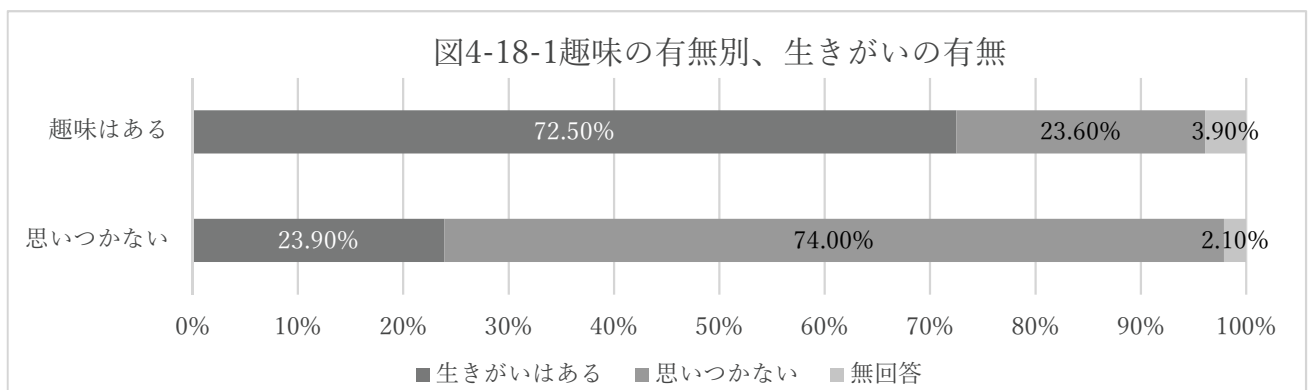
「趣味の有無別、生きがいの有無」を見ると、「趣味はある」と回答した 1,881 人のうち、「生きがいはある」と回答した人は 72.5%でした。

逆に、趣味が「思いつかない」と回答した 624 人のうち、生きがいが「思いつかない」と回答した人は 74.0%でした。

このことから、趣味の有無と生きがいの有無には相関関係があるという結果になりました。

表 4-18-1 趣味の有無別、生きがいの有無

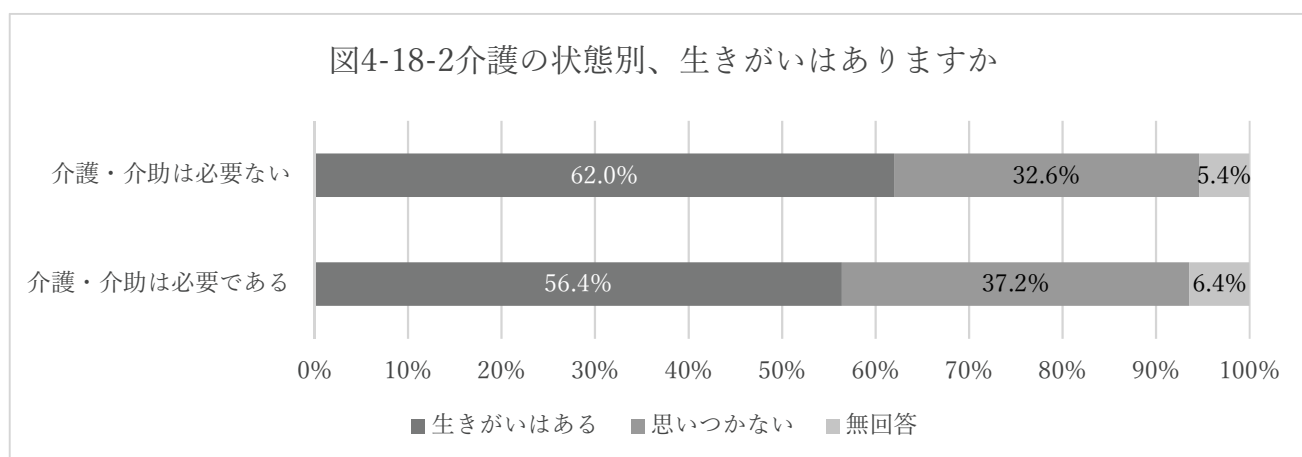
	趣味はある		思いつかない	
	回答数	構成比	回答数	構成比
生きがいはある	1,364	72.5%	149	23.9%
思いつかない	443	23.6%	462	74.0%
無回答	74	3.9%	13	2.1%
計	1,881	100.0%	624	100.0%



「介護の状態別、生きがいがありますか」を見ると、「介護・介助は必要ない」では「生きがいはある」が 62.0%であるのに対し、「介護・介助は必要である」では「生きがいはある」は 48.5%になっています。

表 4-18-2 介護の状態別、生きがいがありますか

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
生きがいはある	1,358	62.0%	220	56.4%
思いつかない	713	32.6%	145	37.2%
無回答	119	5.4%	25	6.4%
計	2,190	100.0%	390	100.0%



問5 地域での活動について

問 5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

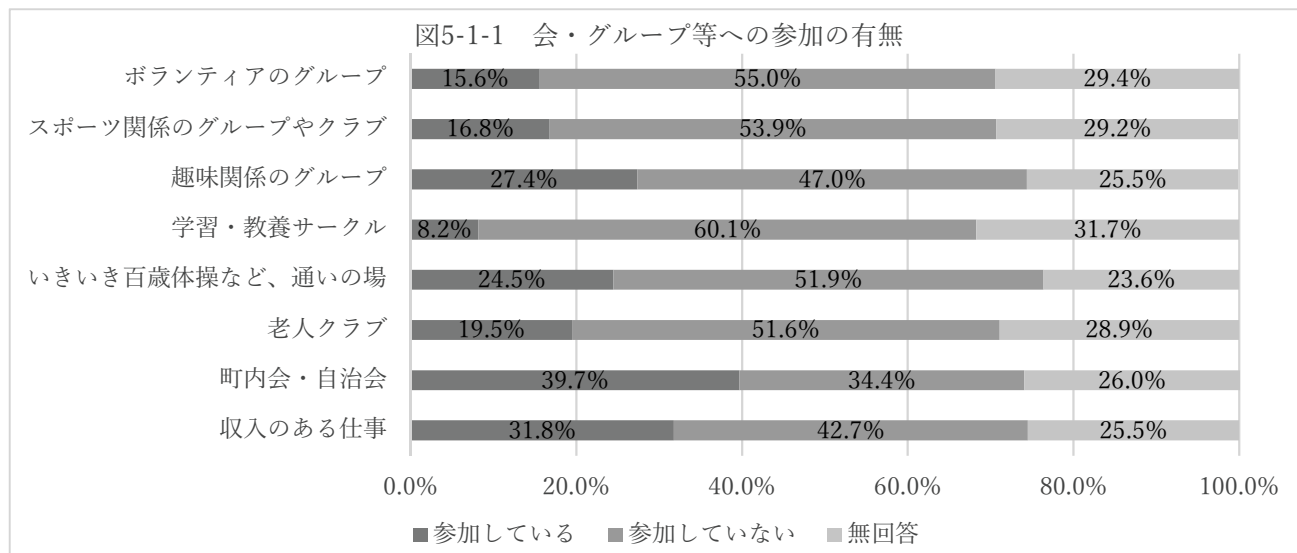
「会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか」については、いずれも「参加していない」が「参加している」を上回っていますが、「参加している」が多い順で列記すると、「町内会・自治会」が 39.7%、「収入のある仕事」が 31.8%、「趣味関係のグループ」が 27.4%、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」が 24.5%で、20%を上回っています。

表 5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

	参加している						無回答	参加していない	計
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	小計			
ボランティアのグループ	30	39	51	131	159	410	1440	770	2,620
スポーツ関係のグループやクラブ	24	51	123	124	119	441	1413	766	2,620
趣味関係のグループ	33	71	98	317	200	719	1232	669	2,620
学習・教養サークル	8	15	30	79	82	214	1575	831	2,620
いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場	66	42	358	119	58	643	1359	618	2,620
老人クラブ	11	2	16	18	464	511	1353	756	2,620
町内会・自治会	20	7	15	160	838	1,040	900	680	2,620
収入のある仕事	384	230	52	70	97	833	1120	667	2,620

表 5-1-1 会・グループ等への参加の有無(N=2,620)

	参加している	参加していない	無回答	計
ボランティアのグループ	15.6%	55.0%	29.4%	100.0%
スポーツ関係のグループやクラブ	16.8%	53.9%	29.2%	100.0%
趣味関係のグループ	27.4%	47.0%	25.5%	100.0%
学習・教養サークル	8.2%	60.1%	31.7%	100.0%
いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場	24.5%	51.9%	23.6%	100.0%
老人クラブ	19.5%	51.6%	28.9%	100.0%
町内会・自治会	39.7%	34.4%	26.0%	100.0%
収入のある仕事	31.8%	42.7%	25.5%	100.0%



前回調査でもほぼ同様の傾向を示していました。ただし、「いきいき百歳体操」については質問の仕方が今回とは異なっています。

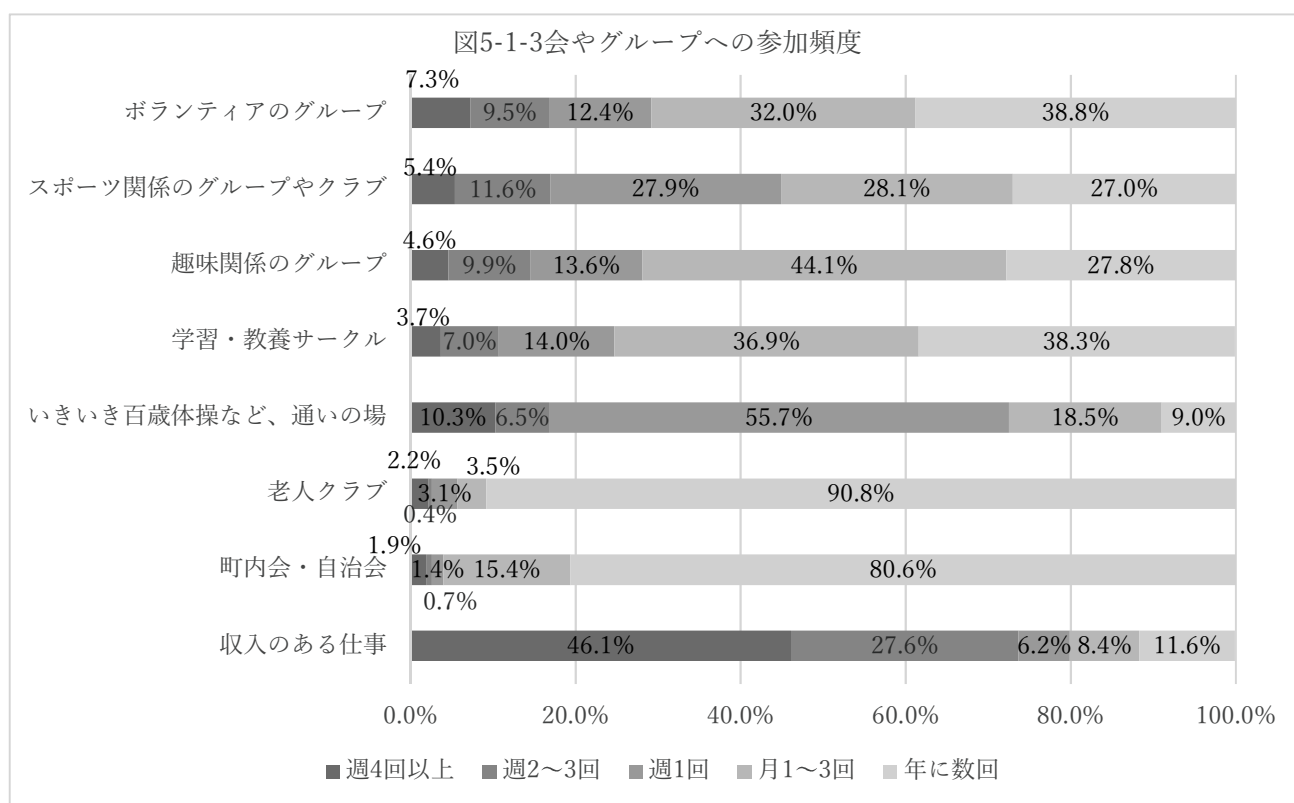
表 5-1-2 会・グループ等への参加の有無(前回調査)

	回答数				構成比			
	参加している	参加していない	無回答	計	参加している	参加していない	無回答	計
ボランティアのグループ	330	1,136	878	2,344	14.1%	48.5%	37.5%	100.0%
スポーツ関係のグループやクラブ	469	1,051	824	2,344	20.0%	44.8%	35.2%	100.0%
趣味関係のグループ	642	926	776	2,344	27.4%	39.5%	33.1%	100.0%
学習・教養サークル	196	1,185	963	2,344	8.4%	50.6%	41.1%	100.0%
あなたは「いきいき百歳体操」に参加していますか	486	1630	228	2,344	20.7%	69.5%	9.7%	100.0%
高齢者クラブ	435	1,060	849	2,344	18.6%	45.2%	36.2%	100.0%
町内会・自治会	888	697	759	2,344	37.9%	29.7%	32.4%	100.0%
収入のある仕事	615	938	791	2,344	26.2%	40.0%	33.7%	100.0%

参加の頻度でもっとも多いのは、「ボランティアのグループ」では「年に数回」が 38.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」では「月 1～3 回」が 28.1%、「趣味関係のグループ」では「月 1～3 回」が 44.1%、「学習・教養サークル」では「年に数回」が 38.3%「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」では「週 1 回」が 55.7%、「老人クラブ」はで「年に数回」が 90.8%、「町内会・自治会」はで「年に数回」が 80.6%、「収入のある仕事」はで「週 4 回以上」が 46.1%、になっています。

表 5-1-3 会やグループへの参加頻度

	週 4 回以上	週 2～3 回	週 1 回	月 1～3 回	年に数回	N
ボランティアのグループ	7.3%	9.5%	12.4%	32.0%	38.8%	N=410
スポーツ関係のグループやクラブ	5.4%	11.6%	27.9%	28.1%	27.0%	N=441
趣味関係のグループ	4.6%	9.9%	13.6%	44.1%	27.8%	N=719
学習・教養サークル	3.7%	7.0%	14.0%	36.9%	38.3%	N=214
いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場	10.3%	6.5%	55.7%	18.5%	9.0%	N=643
老人クラブ	2.2%	0.4%	3.1%	3.5%	90.8%	N=511
町内会・自治会	1.9%	0.7%	1.4%	15.4%	80.6%	N=1040
収入のある仕事	46.1%	27.6%	6.2%	8.4%	11.6%	N=833



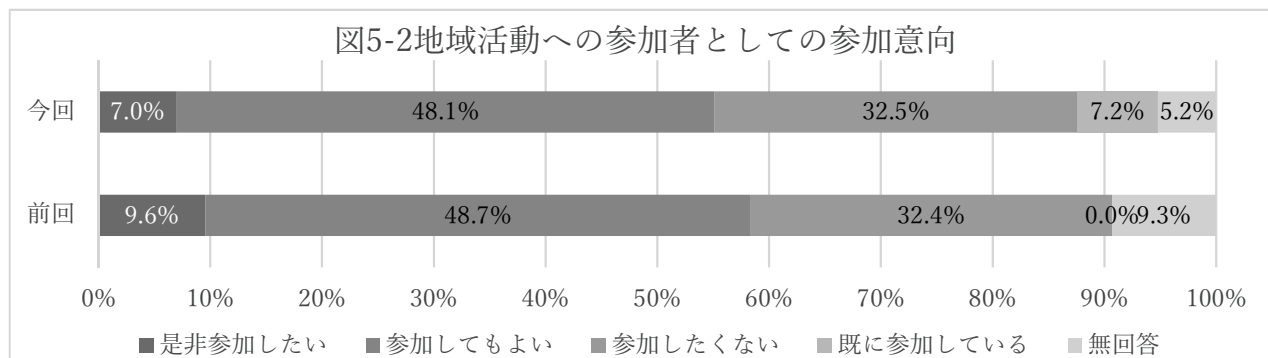
問 5-2 地域活動への参加者としての参加意向

「地域活動への参加者としての参加意向」については、「参加してもよい」が 48.1%で最も多く、「既に参加している」の 7.2%、「是非参加したい」の 7.0%を合わせると、62.3%が参加希望を持っていることになります。

前回調査では「是非参加したい」9.6%、「参加してもよい」48.7%を合わせた参加希望ありは 58.3%であり、今回は 4.0 ポイント上回っています。

問 5-2 地域活動への参加者としての参加意向

		今回		前回		増減 (①-②)
		回答数	構成比①	回答数	構成比②	
是非参加したい	(A)	184	7.0%	226	9.6%	△2.6 ポイント
参加してもよい	(B)	1,260	48.1%	1,142	48.7%	△0.6 ポイント
参加したくない		852	32.5%	759	32.4%	0.1 ポイント
既に参加している		189	7.2%	—	—	—
無回答		135	5.2%	217	9.3%	△4.1 ポイント
計		2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
参加意向あり(再掲・A+B)		1,444	32.50%	1,368	32.40%	0.1 ポイント



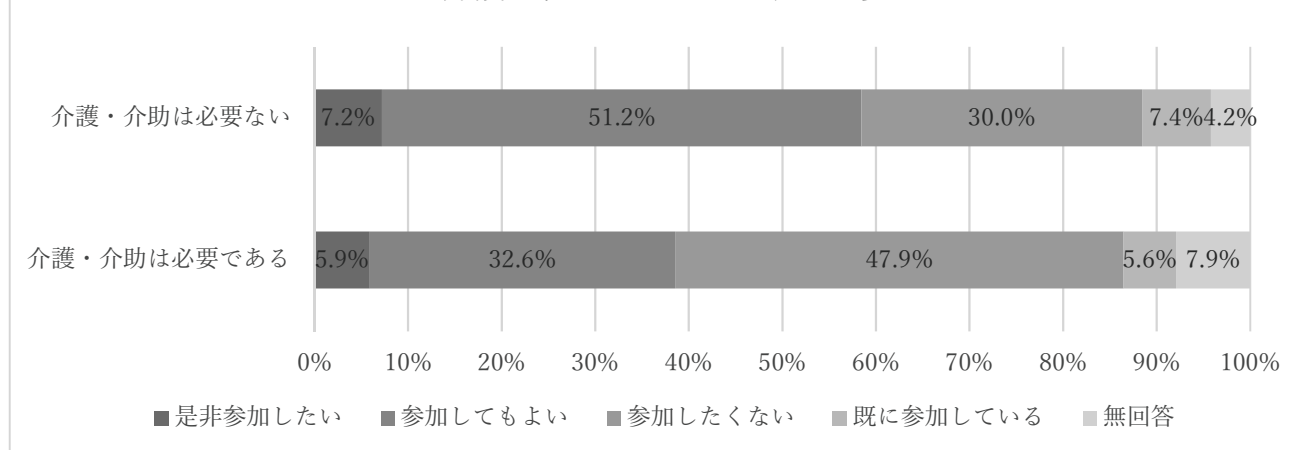
「介護の状態別、地域活動への参加意向」を見ると、「既に参加している」を除いた「参加意向あり」では「介護・介助は必要ない」が58.4%、「介護・介助は必要である」が38.5%になっています。

介護の状況が地域活動への参加意向に影響を及ぼしていると考えられ、今後、地域活動への参加支援の方策を検討していく必要があると考えられます。

表 5-2-1 介護の状態別、地域活動への参加意向

	介護・介助は必要ない		介護・介助は必要である	
	回答数	構成比	回答数	構成比
是非参加したい (A)	158	7.2%	23	5.9%
参加してもよい (B)	1,122	51.2%	127	32.6%
参加したくない	657	30.0%	187	47.9%
既に参加している	161	7.4%	22	5.6%
無回答	92	4.2%	31	7.9%
計	2,190	100.0%	390	100.0%
参加意向あり(再掲・A+B)	1,280	58.4%	150	38.5%

図5-2-1介護の状態別、地域活動への参加意向



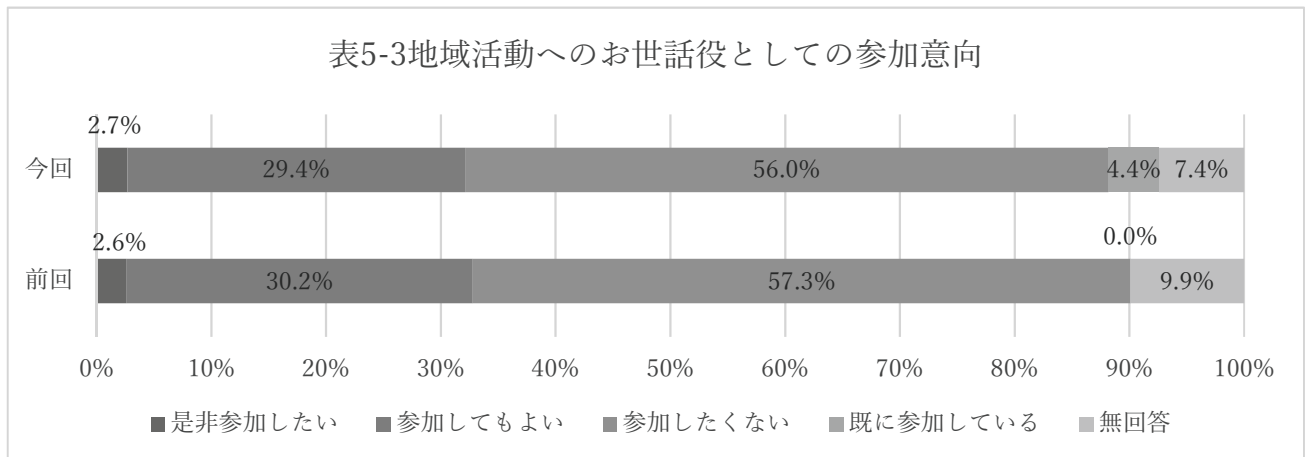
問 5-3 地域活動へのお世話役としての参加意向

「地域活動へのお世話役としての参加意向」については、「参加したくない」が 56.0%でもっとも多く、「是非参加したい」の 2.7%、「参加してもよい」の 29.4%、「既に参加している」の 4.4%を合わせると、36.5%が参加希望を持っていることになります。

前回調査では「是非参加したい」の 2.6%、「参加してもよい」の 30.2%を合わせた参加希望ありは 32.8%であり、今回は 3.7 ポイント上回っています。

表 5-3 地域活動へのお世話役としての参加意向

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
是非参加したい (A)	72	2.7%	62	2.6%	0.1 ポイント
参加してもよい (B)	770	29.4%	707	30.2%	△0.8 ポイント
参加したくない	1,468	56.0%	1,343	57.3%	△1.3 ポイント
既に参加している	116	4.4%	—	—	—
無回答	194	7.4%	232	9.9%	△2.5 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	0.1 ポイント
参加意向あり(再掲・A+B)	842	7.40%	769	9.90%	△2.5 ポイント



問6 たすけあいについて

問 6-1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか

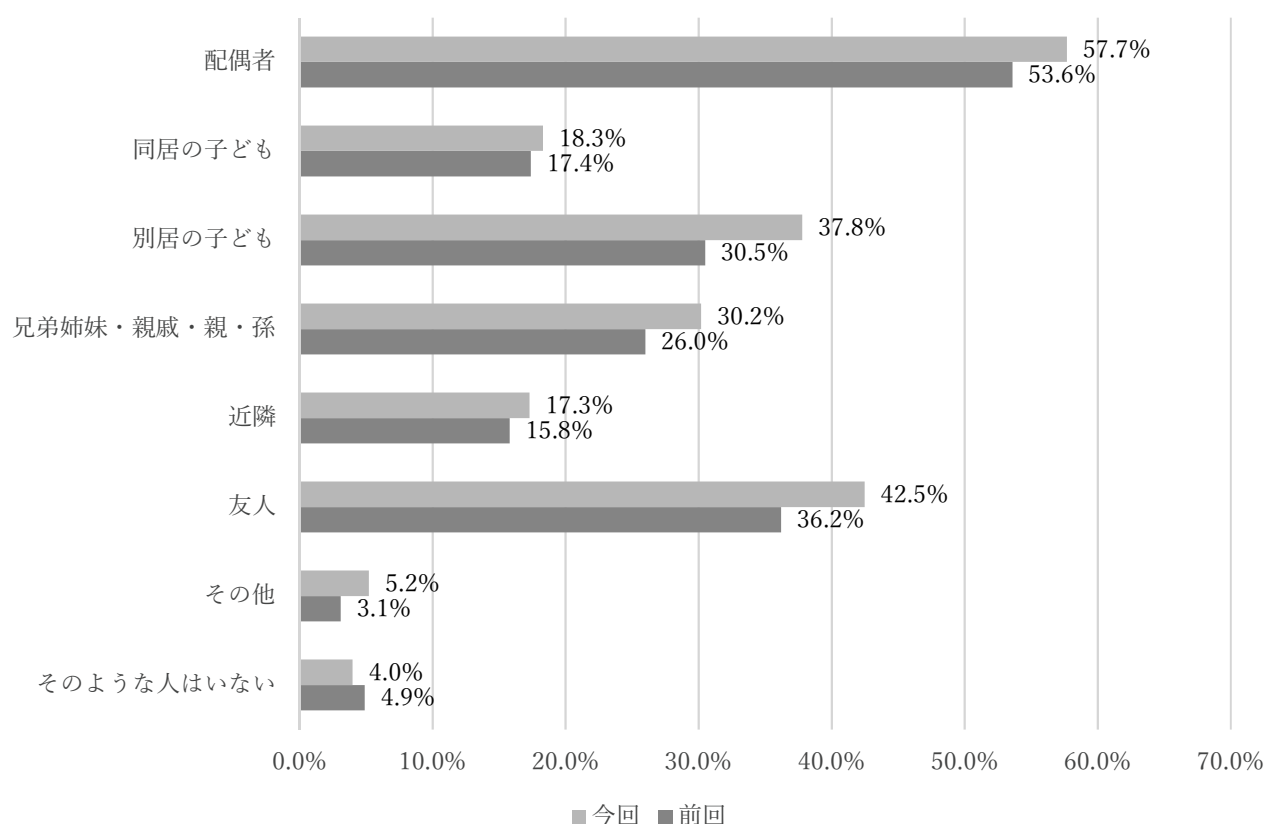
「愚痴を聞いてくれる人」は「配偶者」が 57.7%と最も多く、次いで、「友人」42.5%、「別居の子ども」37.8%、の順になっています。

前回調査でも、「配偶者」が 53.6%と最も多く、次いで、「友人」36.2%、「別居の子ども」37.6%、の順になっており、ほぼ同様の傾向を示していますが、今回の方が「別居の子ども」が 7.3 ポイント、「友人」が 6.3 ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 4.2 ポイント、「配偶者」が 4.1 ポイント多くなっています。

表 6-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか(複数選択)

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
配偶者	1,513	57.7%	1256	53.6%	4.1 ポイント
同居の子ども	480	18.3%	409	17.4%	0.9 ポイント
別居の子ども	990	37.8%	715	30.5%	7.3 ポイント
兄弟姉妹・親戚・親・孫	791	30.2%	610	26.0%	4.2 ポイント
近隣	452	17.3%	370	15.8%	1.5 ポイント
友人	1,113	42.5%	849	36.2%	6.3 ポイント
その他	137	5.2%	73	3.1%	2.1 ポイント
そのような人はいない	106	4.0%	114	4.9%	△0.9 ポイント

図6-1あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか



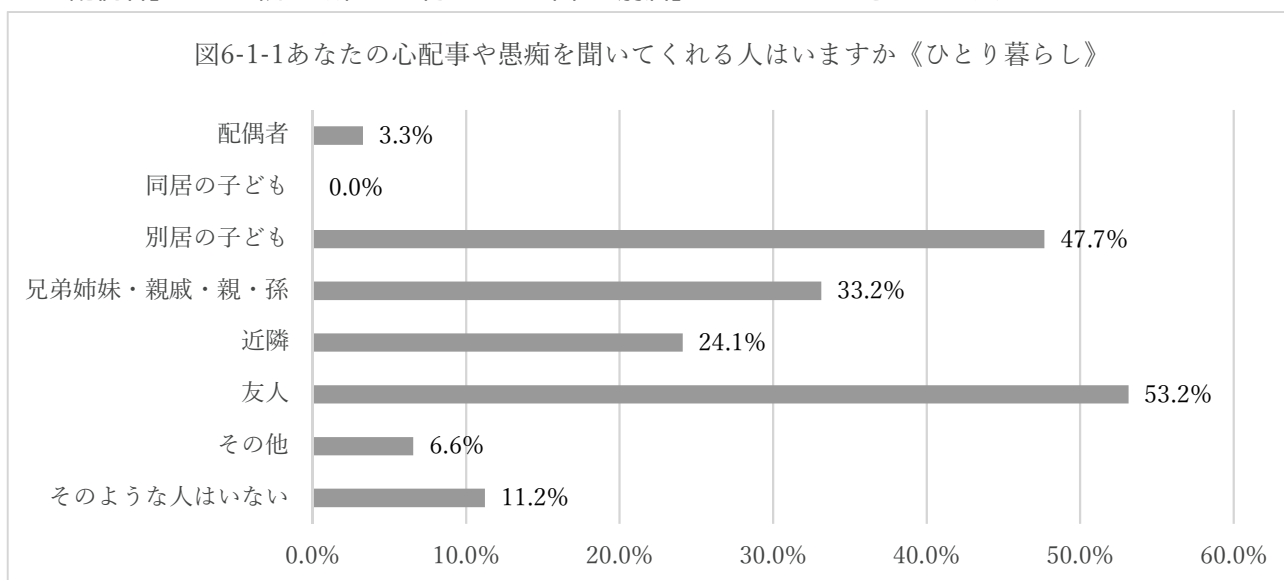
「ひとり暮らし」では、「友人」が 53.2%でもっとも多く、次いで「別居の子ども」47.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」33.2%の順になりました。「そのような人はいない」は 11.2%でした。

表 6-1-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか《ひとり暮らし》

(複数選択 N=365)

	回答数	構成比
配偶者	12	3.3%
同居の子ども	0	0.0%
別居の子ども	174	47.7%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	121	33.2%
近隣	88	24.1%
友人	194	53.2%
その他	24	6.6%
そのような人はいない	41	11.2%

※ 「配偶者」12 は入院・入所など、何らかの理由で「別居」しているものと思われます。



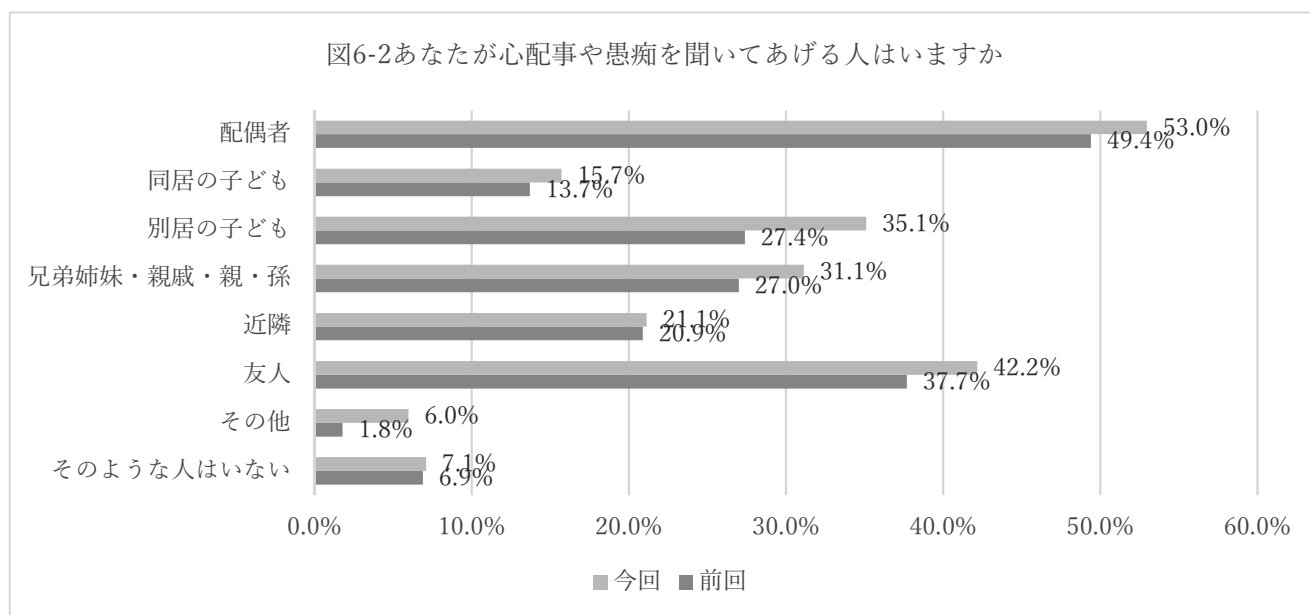
問 6-2 あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか

「愚痴を聞いてあげる人」では「配偶者」が 53.0%ともっとも多く、次いで、「友人」42.2%、「別居の子ども」35.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」31.1%の順になっています。

「前回調査」との比較では、「今回」の方が「別居の子ども」が 7.7 ポイント、「そのような人はいない」が 4.7 ポイント、「友人」が 4.5 ポイント、多くなっています。

表 6-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか(複数選択)

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
配偶者	1,388	53.0%	1158	49.4%	3.6 ポイント
同居の子ども	412	15.7%	320	13.7%	2.0 ポイント
別居の子ども	920	35.1%	642	27.4%	7.7 ポイント
兄弟姉妹・親戚・親・孫	816	31.1%	634	27.0%	4.1 ポイント
近隣	554	21.1%	491	20.9%	0.2 ポイント
友人	1,105	42.2%	884	37.7%	4.5 ポイント
その他	157	6.0%	43	1.8%	4.2 ポイント
そのような人はいない	186	7.1%	162	6.9%	0.2 ポイント

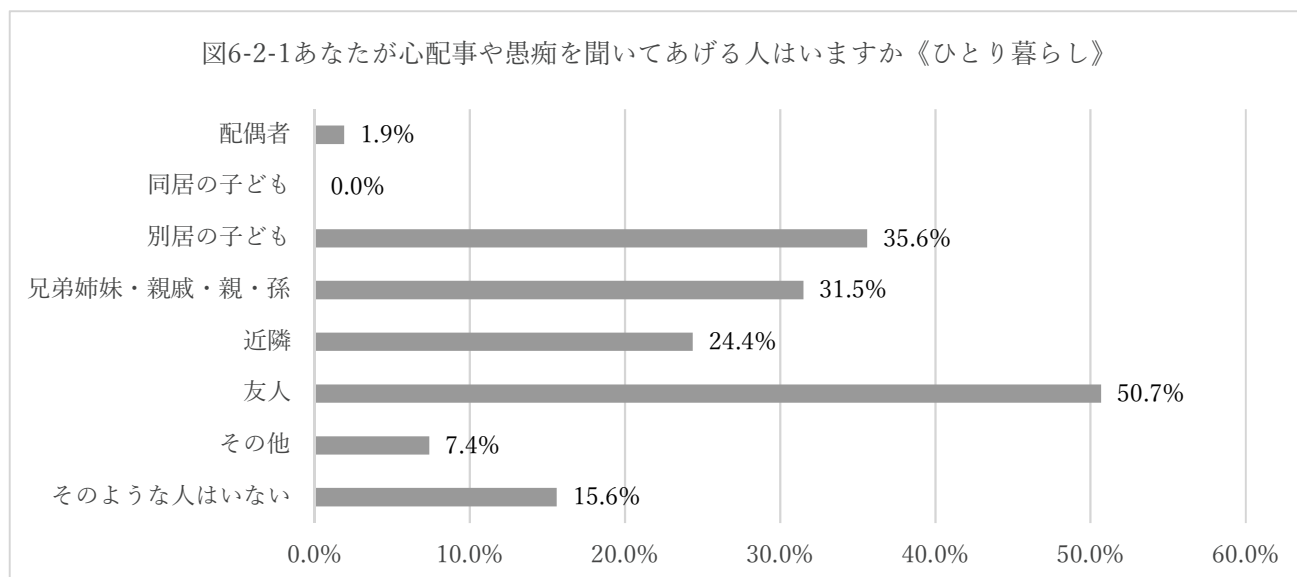


「ひとり暮らし」では「友人」が50.7%と最も多く、次いで「別居の子ども」の35.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の31.5%の順になっています。「そのような人はいない」は15.6%でした。

表 6-2-1 心配事や愚痴を聞いてあげる人はいいますか《ひとり暮らし》
(複数選択 N=365)

	回答数	構成比
配偶者	7	1.9%
同居の子ども	0	0.0%
別居の子ども	130	35.6%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	115	31.5%
近隣	89	24.4%
友人	185	50.7%
その他	27	7.4%
そのような人はいない	57	15.6%

※ 「配偶者」7 は入院・入所など、何らかの理由で「別居」しているものと思われます。



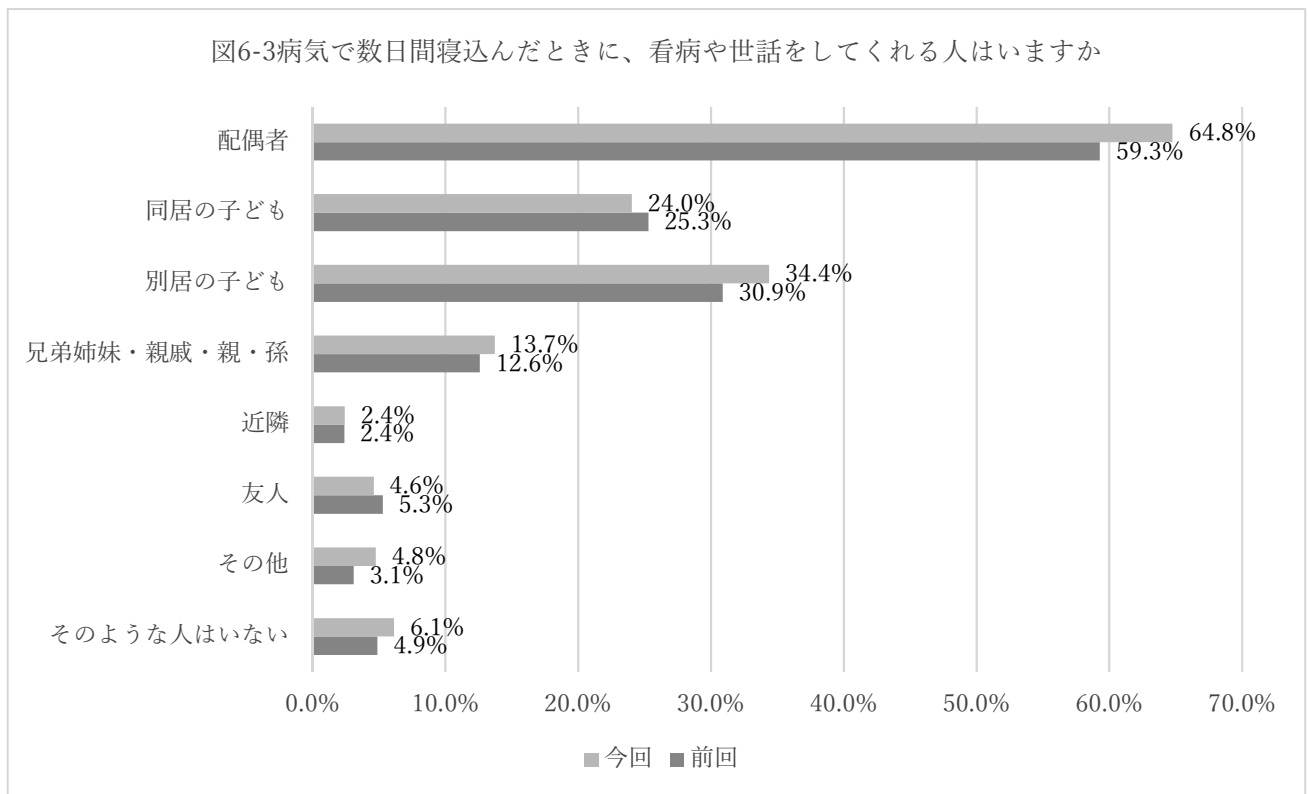
問 6-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいですか

「あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいですか」では「配偶者」が 64.7%と最も多く、次いで「別居の子ども」34.2%、「同居の子ども」24.2%の順となっています。

「前回調査」との比較では、「今回」の方が「配偶者」が 5.5 ポイント、「そのような人はいない」が 4.4 ポイント、「別居の子ども」が 3.5 ポイント、多くなっています。

表 6-3 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいですか(複数選択)

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
配偶者	1,697	64.8%	1,390	59.3%	5.5 ポイント
同居の子ども	630	24.0%	592	25.3%	△1.3 ポイント
別居の子ども	901	34.4%	724	30.9%	3.5 ポイント
兄弟姉妹・親戚・親・孫	360	13.7%	295	12.6%	1.1 ポイント
近隣	64	2.4%	57	2.4%	0.0 ポイント
友人	121	4.6%	125	5.3%	△0.7 ポイント
その他	125	4.8%	73	3.1%	1.7 ポイント
そのような人はいない	161	6.1%	115	4.9%	1.2 ポイント

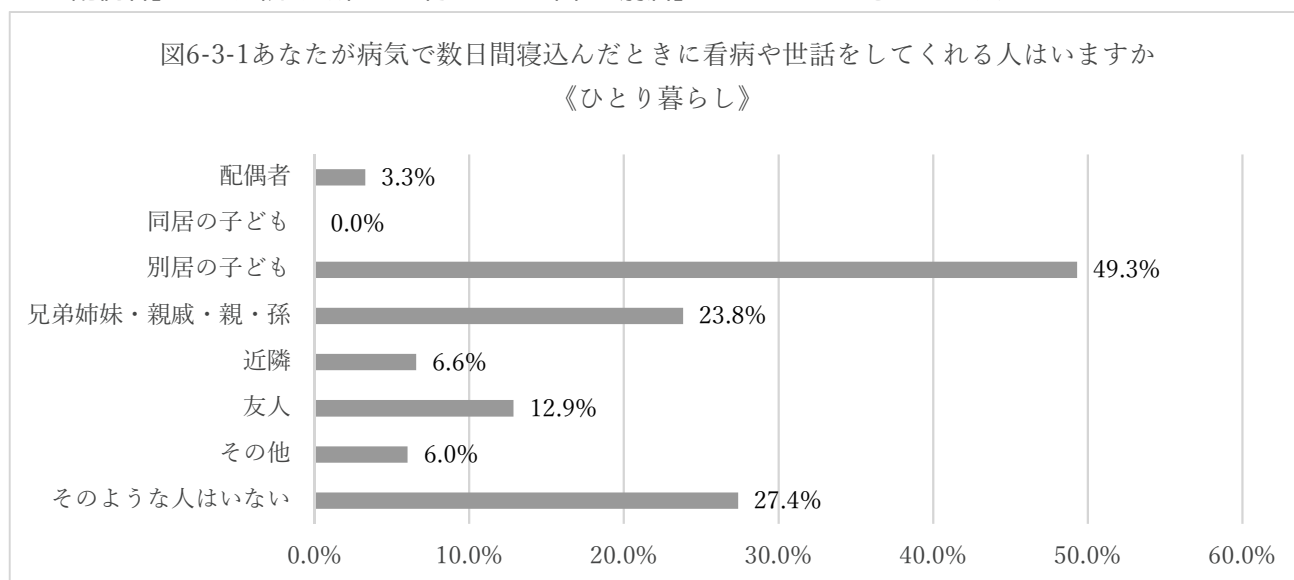


「ひとり暮らし」では「別居の子ども」がもっとも多く、次いで「別居の子ども」49.3%、「友人」12.9%の順になっています。「そのような人はいない」は 27.4%でした。

表 6-3-1 病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいですか《ひとり暮らし》
(複数選択 N=365)

	回答数	構成比
配偶者	12	3.3%
同居の子ども	0	0.0%
別居の子ども	180	49.3%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	87	23.8%
近隣	24	6.6%
友人	47	12.9%
その他	22	6.0%
そのような人はいない	100	27.4%

※ 「配偶者」12 は入院・入所など、何らかの理由で「別居」しているものと思われます。



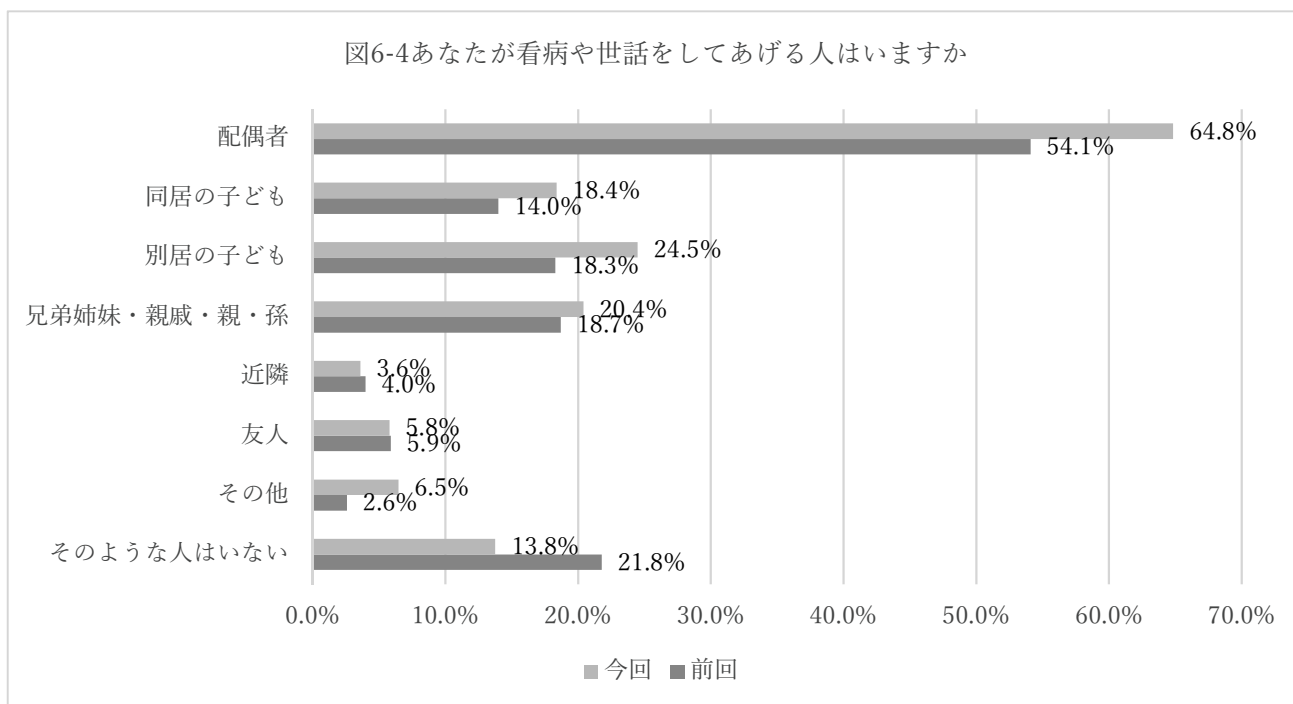
問 6-4 あなたが看病や世話をしてあげる人はいですか

「世話をしてあげる人」では「配偶者」が 64.8%と最も多く、次いで「別居の子ども」24.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」20.4%、「同居の子ども」18.5%の順となっています。また、「そのような人はいない」は 19.6%となっています。

「前回調査」との比較では、「今回」の方が「配偶者」が 10.7 ポイント、「別居の子ども」が 6.2 ポイント、「同居の子ども」が 4.4 ポイント、多くなっています。

表 6-4 看病や世話をしてあげる人はいですか(複数選択)

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
配偶者	1,699	64.85%	1,268	54.10%	10.7 ポイント
同居の子ども	482	18.40%	329	14.00%	4.4 ポイント
別居の子ども	642	24.50%	430	18.30%	6.2 ポイント
兄弟姉妹・親戚・親・孫	535	20.42%	439	18.70%	1.7 ポイント
近隣	95	3.63%	94	4.00%	△0.4 ポイント
友人	152	5.80%	138	5.90%	△0.1 ポイント
その他	170	6.49%	61	2.60%	3.9 ポイント
そのような人はいない	361	13.78%	510	21.80%	△8.0 ポイント



「ひとり暮らし」では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.7%もっとも多く、次いで「別居の子ども」24.7%、「友人」10.4%の順になっています。

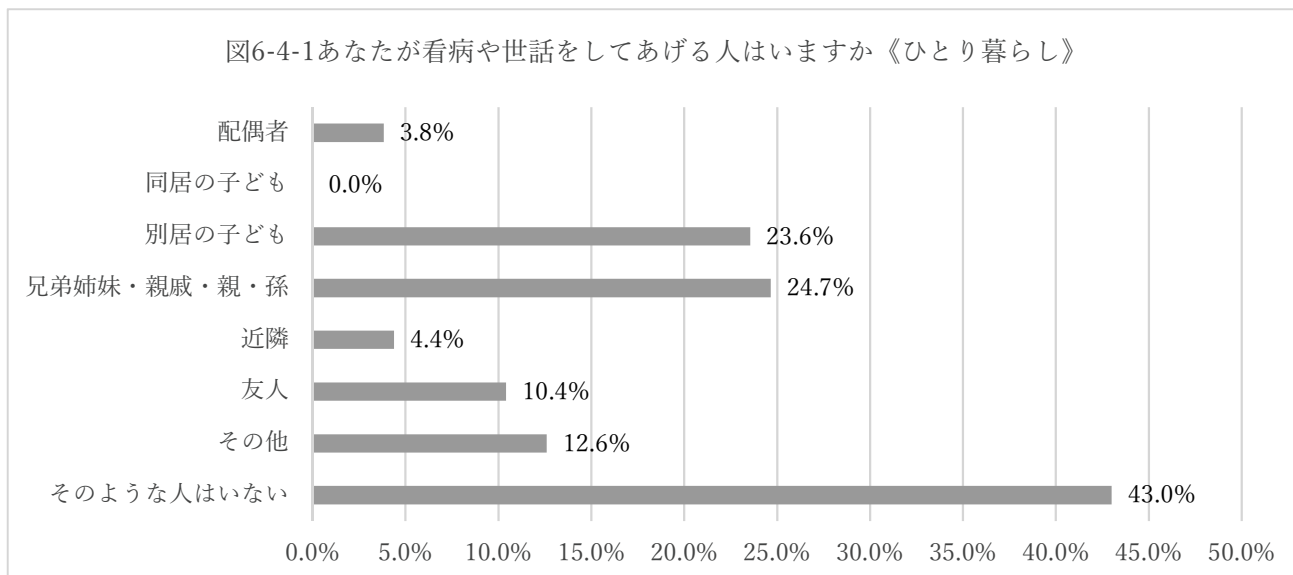
また、「そのような人はいない」は43.0%になっています。

表 6-4-1看病や世話をしてあげる人はいですか《ひとり暮らし》

(複数選択 N=365)

	回答数	構成比
配偶者	14	3.8%
同居の子ども	0	0.0%
別居の子ども	86	23.6%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	90	24.7%
近隣	16	4.4%
友人	38	10.4%
その他	46	12.6%
そのような人はいない	157	43.0%

※ 「配偶者」14 は入院・入所など、何らかの理由で「別居」しているものと思われます。



問 6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか

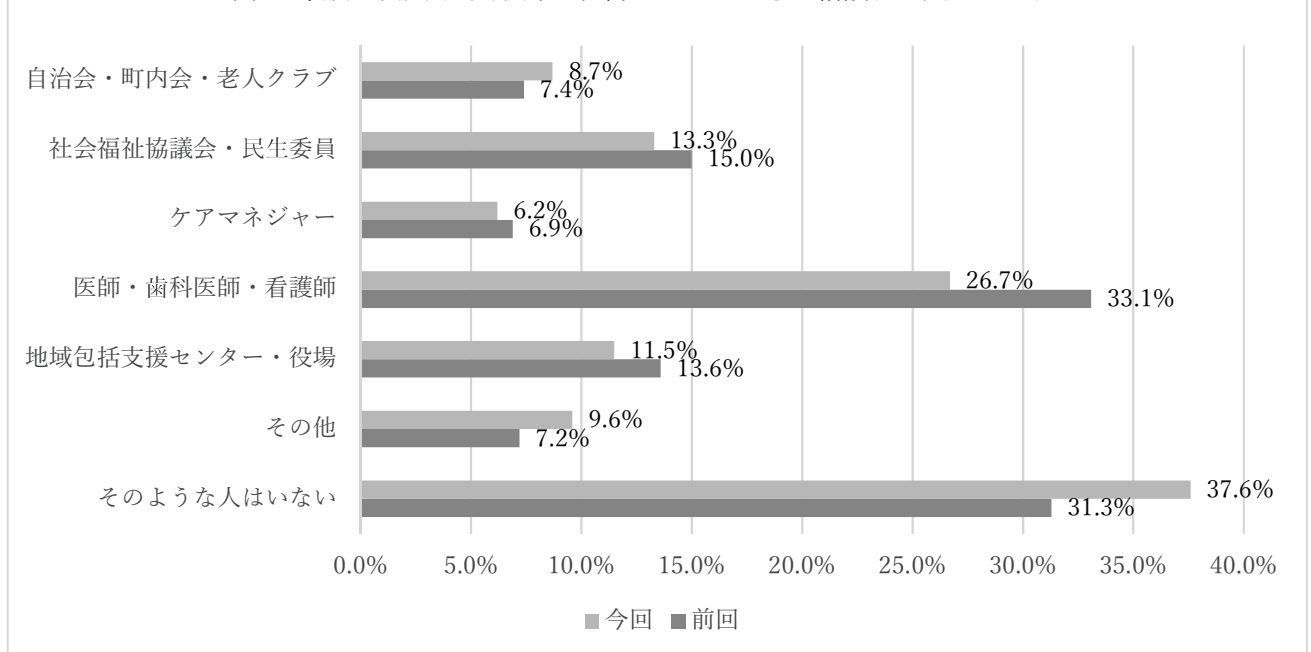
「家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人」については「そのような人はいない」が 37.6%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」26.7%、「社会福祉協議会・民生委員」13.3%、「地域包括支援センター・役場」11.5%の順となっています。

「前回調査」との比較では、「今回」の方が 6.4 ポイント少なく、「医師・歯科医師・看護師」が「そのような人はいない」が 6.3 ポイント、多くなっています。

表 6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか(複数選択)

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
自治会・町内会・老人クラブ	227	8.70%	174	7.40%	1.3 ポイント
社会福祉協議会・民生委員	348	13.3%	351	15.0%	△1.7 ポイント
ケアマネジャー	162	6.2%	161	6.9%	△0.7 ポイント
医師・歯科医師・看護師	700	26.7%	776	33.1%	△6.4 ポイント
地域包括支援センター・役場	302	11.5%	318	13.6%	△2.1 ポイント
その他	252	9.6%	169	7.2%	2.4 ポイント
そのような人はいない	984	37.6%	734	31.3%	6.3 ポイント

図6-5家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか



問 6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

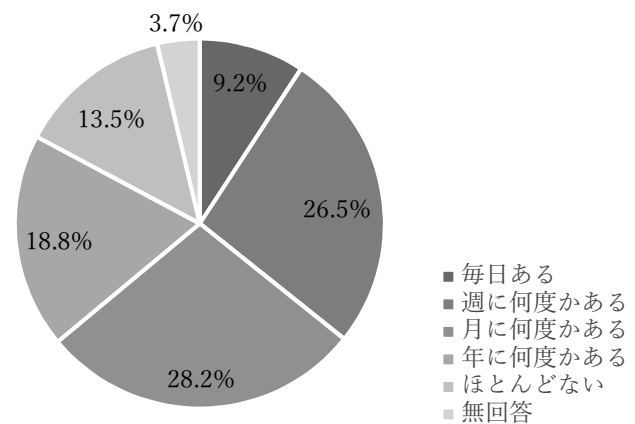
「友人・知人と会う頻度」については「月に何度かある」が 28.2%と最も多く、「週に何度かある」26.5%、「年に何度かある」18.8%の順になっています。

また、「ほとんどない」は 13.5%になっています。それに加えて、「年に何度かある」も「あまり会っていない」としてカウントすると、32.3%が友人・知人とあまり会っていないことになります。

表 6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

	回答数	構成比
毎日ある	241	9.2%
週に何度かある	695	26.5%
月に何度かある	739	28.2%
年に何度かある	493	18.8%
ほとんどない	354	13.5%
無回答	98	3.7%
計	2,620	100.0%

図6-6友人・知人と会う頻度はどれくらいですか



問 6-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

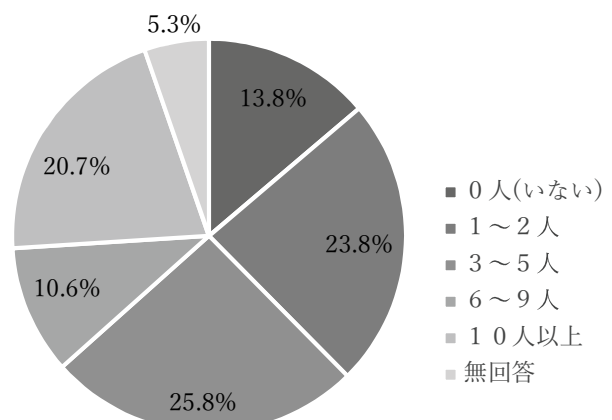
「この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか」については、「3～5人」が 25.8%と最も多く、次いで「1～2人」23.8%、「10人以上」20.7%の順となっています。

また「0人(いない)」は 13.8%となっています。

表 6-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

	回答数	構成比
0人(いない)	362	13.8%
1～2人	624	23.8%
3～5人	675	25.8%
6～9人	278	10.6%
10人以上	542	20.7%
無回答	139	5.3%
計	2,620	100.0%

問6-7この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか



問 6-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

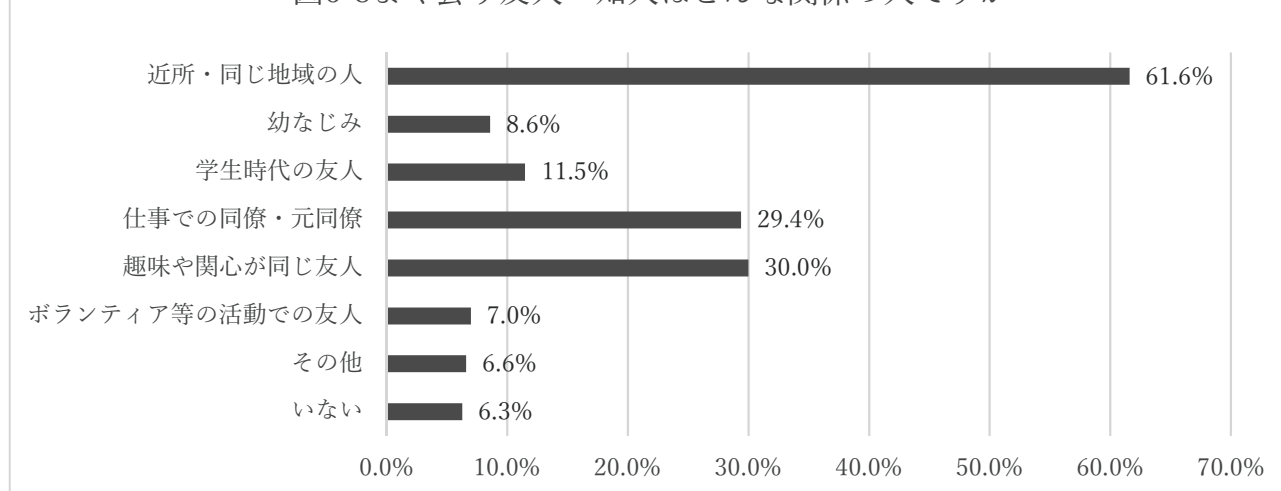
「よく会う友人・知人」については「近所・同じ地域の人」が 61.6%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」30.0%、「仕事での同僚・元同僚」29.4%の順となっています。

表 6-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

(複数選択 N=2,620)

	回答数	構成比
近所・同じ地域の人	1,615	61.6%
幼なじみ	225	8.6%
学生時代の友人	302	11.5%
仕事での同僚・元同僚	771	29.4%
趣味や関心が同じ友人	786	30.0%
ボランティア等の活動での友人	184	7.0%
その他	172	6.6%
いない	165	6.3%

図6-8よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか



問7 健康について

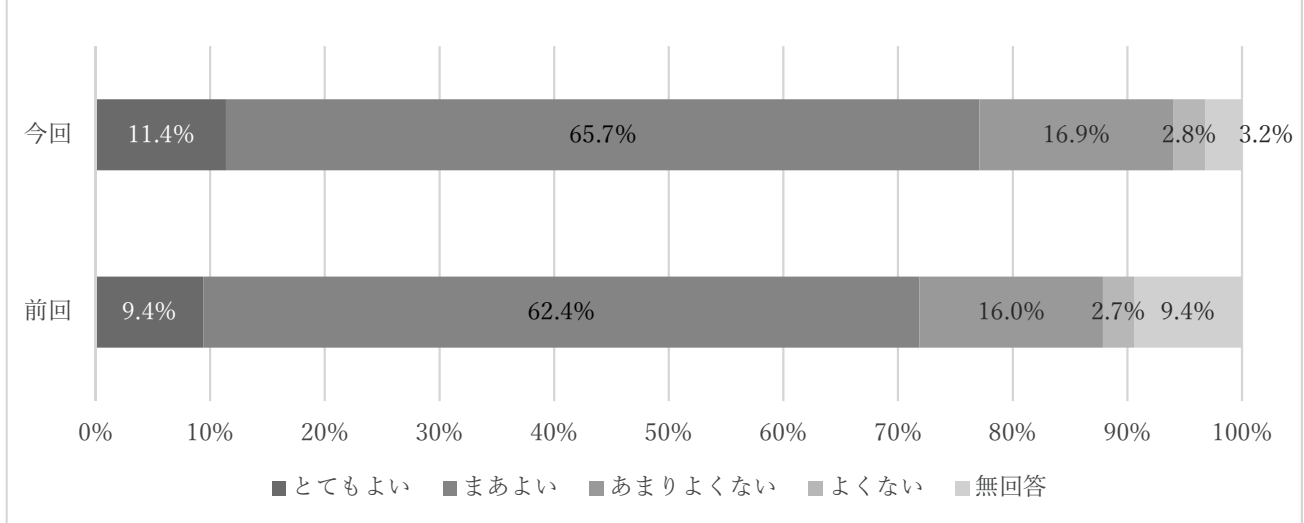
問 7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「健康状態」では「まあよい」65.7%、「とてもよい」11.4%を合わせた 77.1%が「よい」と回答しています。
前回調査でもほぼ同様の結果でした。

表 7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
とてもよい (A)	298	11.4%	221	9.4%	2.0 ポイント
まあよい (B)	1,722	65.7%	1,463	62.4%	3.3 ポイント
あまりよくない	444	16.9%	375	16.0%	0.9 ポイント
よくない	73	2.8%	64	2.7%	0.1 ポイント
無回答	83	3.2%	221	9.4%	△6.2 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
「よい」小計(再掲・A+B)	2,020	77.1%	1,684	71.8%	5.3 ポイント

図7-1現在のあなたの健康状態はいかがですか



問 7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか

「幸福度」については、0点から10点までに「8点」23.2%、「5点」18.5%と2つの山が見られ、「10点」14.7%、「7点」13.8%、「9点」10.0%と比較的高い点数をつける回答者が多くみられました。

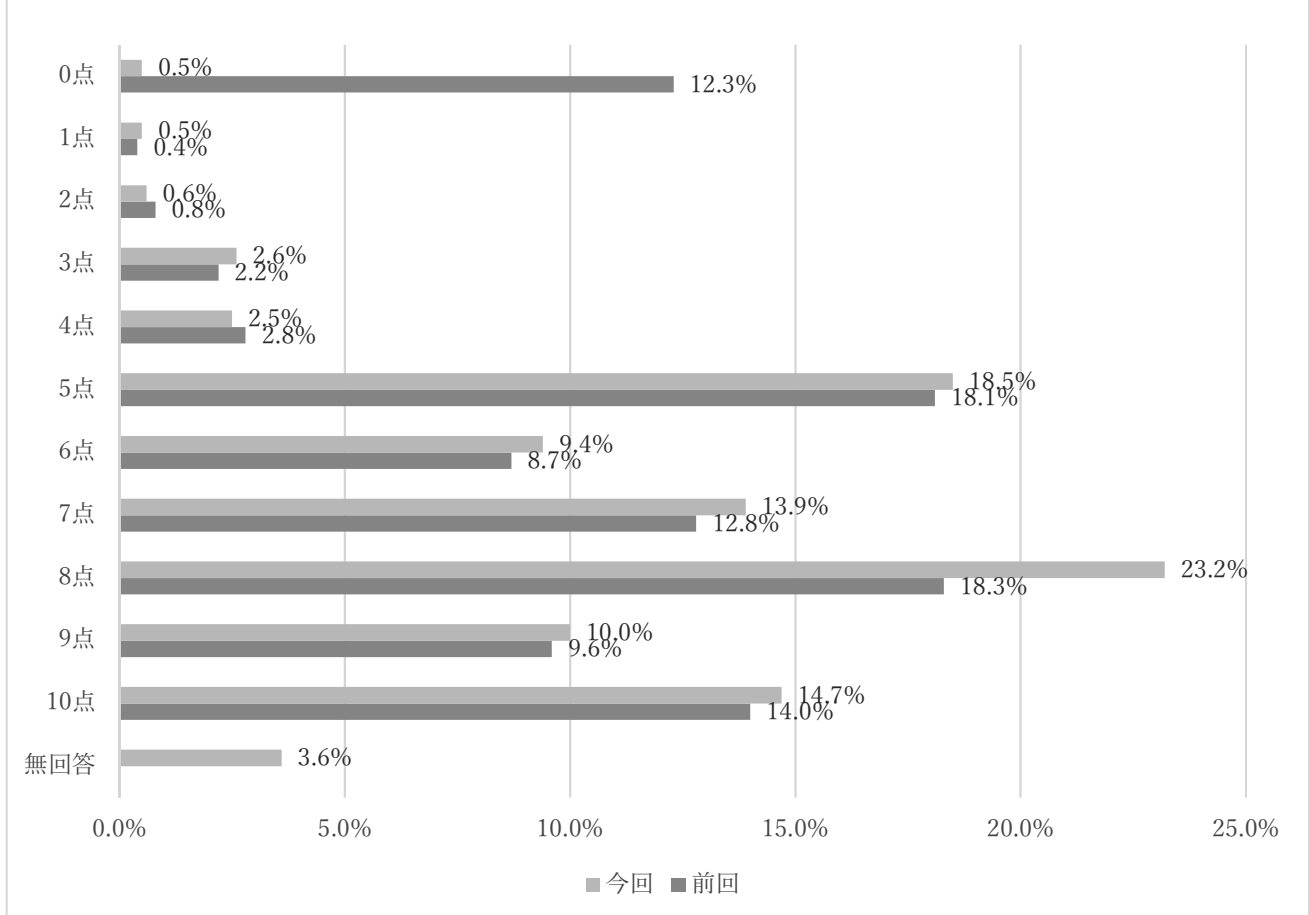
前回調査との比較では、「0点」と「無回答」に差がありすぎるので、それ以外で比較すると、ほぼ同じ傾向が見られますが、「8点」が前回より4.9ポイント増えています。

表 7-2 幸福度

		今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
		回答数	構成比①	回答数	構成比②	
不幸 ↑ ↓ 幸せ	0点	13	0.5%	289	12.3%	△11.8 ポイント
	1点	13	0.5%	9	0.4%	0.1 ポイント
	2点	17	0.6%	19	0.8%	△0.2 ポイント
	3点	67	2.6%	52	2.2%	0.4 ポイント
	4点	66	2.5%	65	2.8%	△0.3 ポイント
	5点	484	18.5%	424	18.1%	0.4 ポイント
	6点	246	9.4%	203	8.7%	0.7 ポイント
	7点	364	13.9%	300	12.8%	1.1 ポイント
	8点	608	23.2%	430	18.3%	4.9 ポイント
	9点	262	10.0%	225	9.6%	0.4 ポイント
	10点	386	14.7%	328	14.0%	0.7 ポイント
無回答		94	3.6%	—	—	—
計		2,620	100.0%	2,344	100.0%	—
平均		7.1		—		—

※ 「前回」の集計では「無回答」は「0点」に含まれていると思われます。

図7-2幸福度



「健康状態別、幸福度」を見ると、健康状態にかかわらず「5点」と「8点」に二つの山が見られますが、「健康状態が良い」では「8点」が25.8%と最も多く、「健康状態が悪い」では「5点」が27.3%と、最も多くなりました。

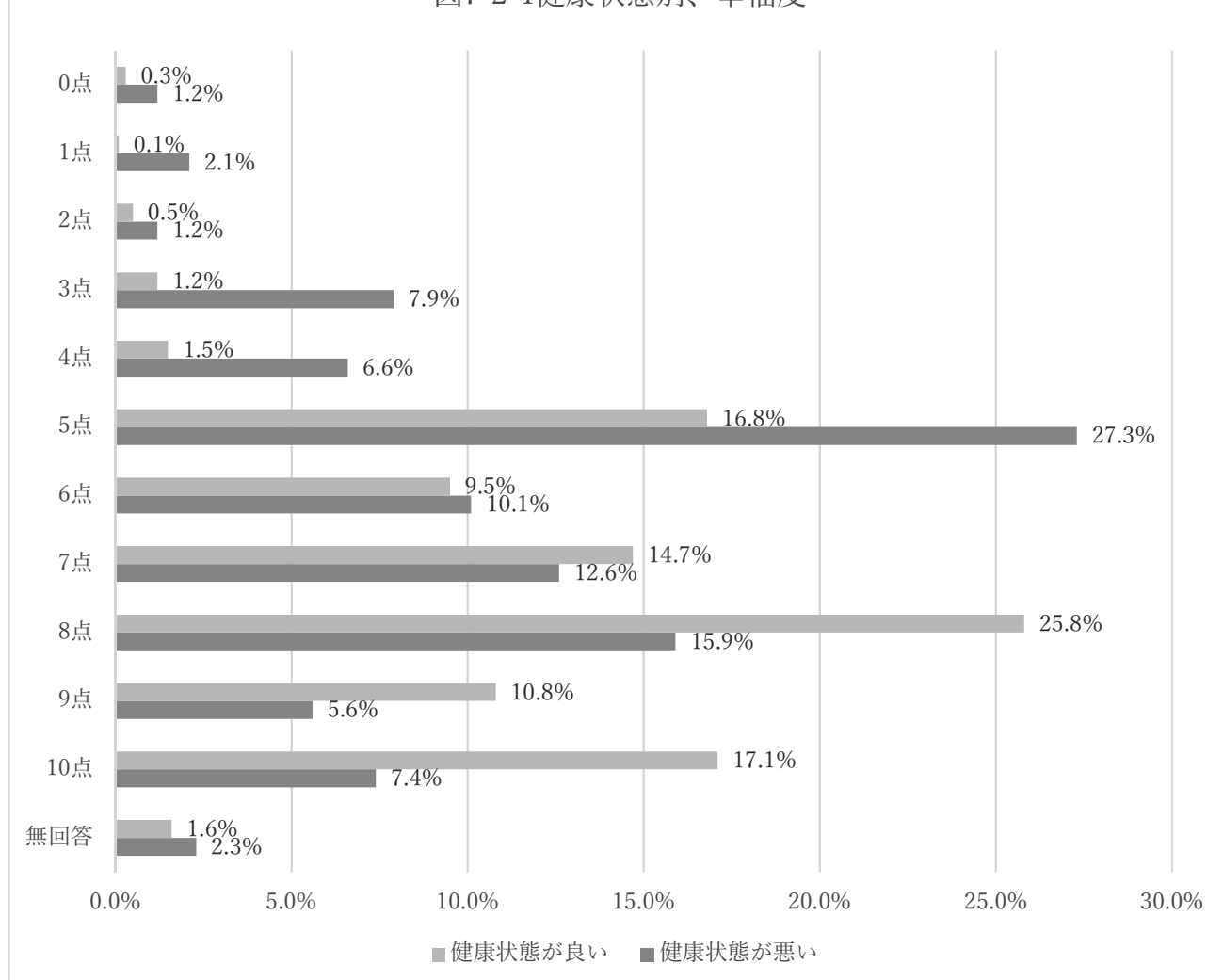
平均では「健康状態が良い」が7.41、「健康状態が悪い」が6.04でした。

以上のように、健康状態が良い方が幸せに感じる人が多いことがわかります。

表 7-2-1 健康状態別、幸福度

		健康状態が良い		健康状態が悪い	
		人数	割合	人数	割合
不幸 ↑ ↓ 幸せ	0点	7	0.3%	6	1.2%
	1点	2	0.1%	11	2.1%
	2点	10	0.5%	6	1.2%
	3点	25	1.2%	41	7.9%
	4点	30	1.5%	34	6.6%
	5点	340	16.8%	141	27.3%
	6点	192	9.5%	52	10.1%
	7点	297	14.7%	65	12.6%
	8点	522	25.8%	82	15.9%
	9点	218	10.8%	29	5.6%
	10点	345	17.1%	38	7.4%
無回答		32	1.6%	12	2.3%
計		2,020	100.0%	517	100.0%
平均		7.41		6.04	

図7-2-1健康状態別、幸福度



「趣味の有無・生きがいの有無別で幸福度」を見ると、いずれの場合も「5点」と「8点」に二つの山が見られました。「趣味あり」では「8点」が25.2%でもっとも多く、「趣味なし」では「5点」が24.8%でもっとも多くなっています。同様に、「生きがいあり」では「8点」が27.1%でもっとも多く、「生きがいなし」では5点」が27.2%でもっとも多くなっています。

平均値では「趣味あり」が7.38、「趣味なし」が6.41、「生きがいあり」が7.38、「生きがいなし」が6.41でした。以上のように、趣味があり、生きがいがある方が幸せに感じる人が多いことがわかります。

表 7-2-2 趣味の有無・生きがいの有無別、幸福度

		趣味				生きがい			
		あり		なし		あり		なし	
不幸 ↑ ↓ 幸せ	0点	5	0.3%	7	1.1%	4	0.3%	8	0.9%
	1点	5	0.3%	6	1.0%	1	0.1%	11	1.2%
	2点	7	0.4%	10	1.6%	6	0.4%	11	1.2%
	3点	28	1.5%	37	5.9%	11	0.7%	52	5.6%
	4点	36	1.9%	26	4.2%	18	1.2%	44	4.8%
	5点	314	16.7%	155	24.8%	206	13.4%	251	27.2%
	6点	175	9.3%	62	9.9%	123	8.0%	105	11.4%
	7点	274	14.6%	85	13.6%	219	14.2%	130	14.1%
	8点	474	25.2%	112	17.9%	418	27.1%	158	17.1%
	9点	192	10.2%	53	8.5%	195	12.6%	54	5.9%
無回答		51	2.7%	18	2.9%	39	2.5%	24	2.6%
計		1,881	100.0%	624	100.0%	1,543	100.0%	922	100.0%
平均		7.38		6.41		7.38		6.41	

図7-2-2① 趣味の有無別、幸福度

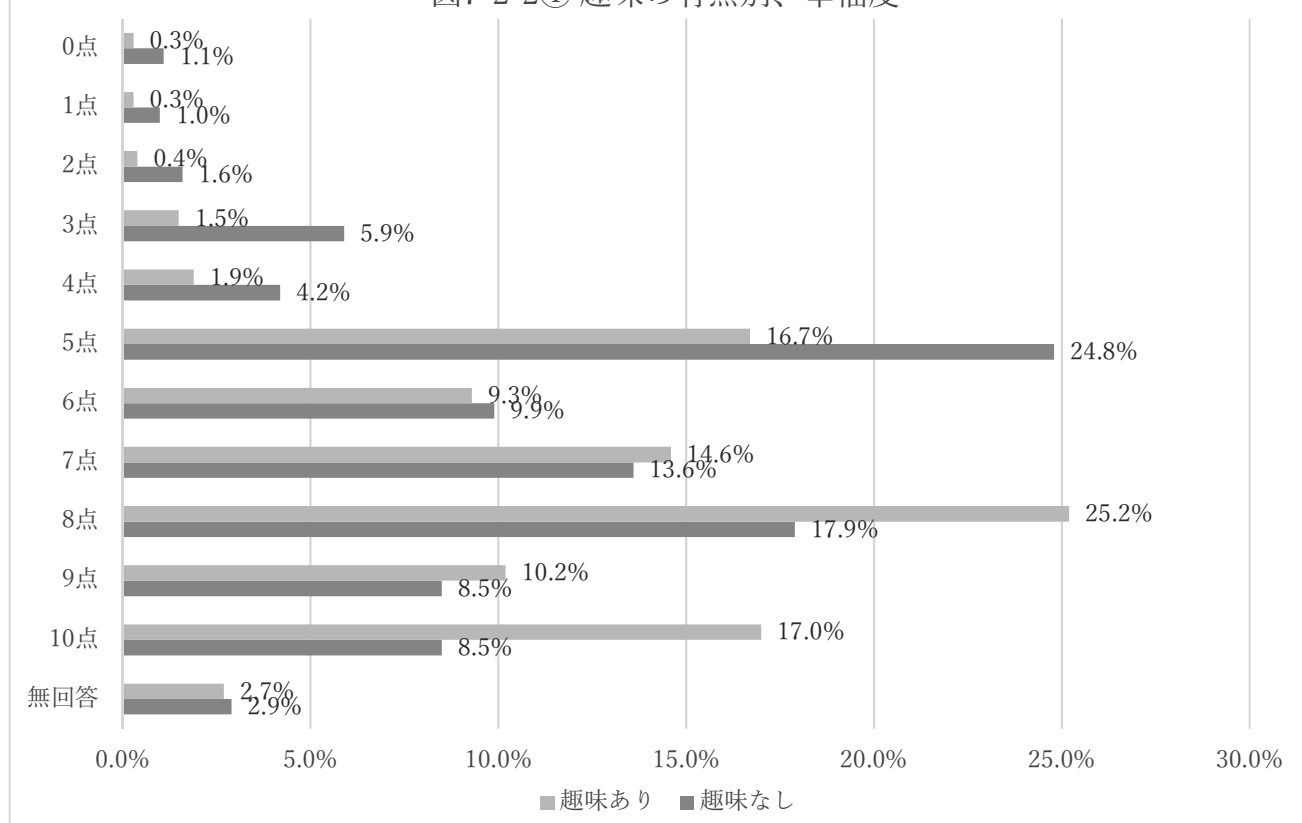
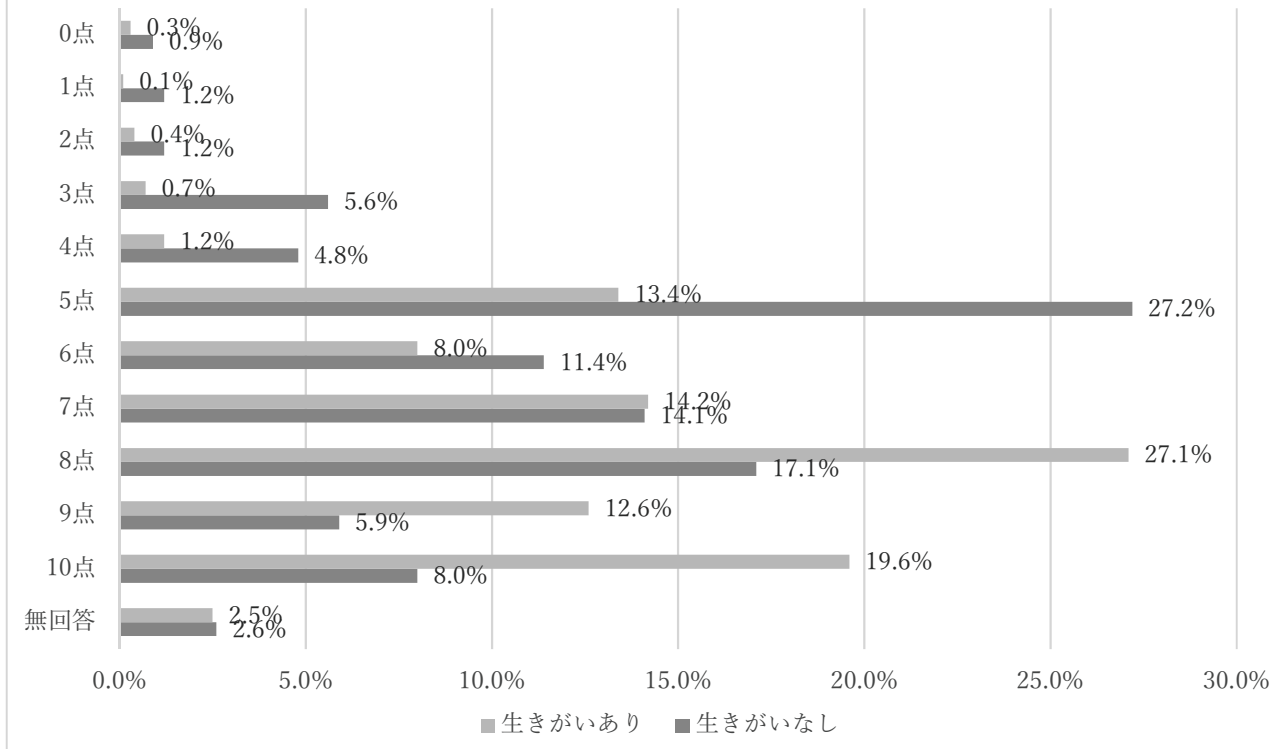


図7-2-2② 生きがいの有無別、幸福度



「地域活動への参加意向別、幸福度」を見ると、「地域活動への参加者として参加したい」では「8点」が25.5%と、もっとも多く、「地域活動への参加者として参加したくない」では「5点」が22.2%とっとも多くなっています。

「地域活動への世話役として参加したい」では「8点」が25.9%とっとも多く、「地域活動への世話役として参加したくない」でも「8点」が21.7%とっとも多くなっています。

平均値では「地域活動への参加者として参加したい」が7.37、「地域活動への参加者として参加したくない」が6.70、「地域活動への世話役として参加したい」が7.49、「地域活動への世話役として参加したくない」が6.92になっています。

表 7-2-3 地域活動への参加意向別、幸福度

		地域活動への参加者としての参加意向				地域活動への世話役としての参加意向			
		参加したい		参加したくない		参加したい		参加したくない	
不幸 ↑ ↓ 幸せ	0点	5	0.3%	8	0.9%	3	0.3%	9	0.6%
	1点	4	0.2%	9	1.1%	2	0.2%	10	0.7%
	2点	10	0.6%	7	0.8%	5	0.5%	12	0.8%
	3点	22	1.3%	42	4.9%	10	1.0%	53	3.6%
	4点	28	1.7%	34	4.0%	11	1.1%	50	3.4%
	5点	270	16.5%	189	22.2%	141	14.7%	305	20.8%
	6点	157	9.6%	82	9.6%	93	9.7%	141	9.6%
	7点	239	14.6%	111	13.0%	144	15.0%	203	13.8%
	8点	416	25.5%	170	20.0%	248	25.9%	318	21.7%
	9点	186	11.4%	68	8.0%	121	12.6%	124	8.4%
無回答		36	2.2%	24	2.8%	22	2.3%	39	2.7%
計		1,633	100.0%	852	100.0%	958	100.0%	1,468	100.0%
平均		7.37		6.70		7.49		6.92	

表7-2-3① 地域活動への参加者としての参加意向別、幸福度

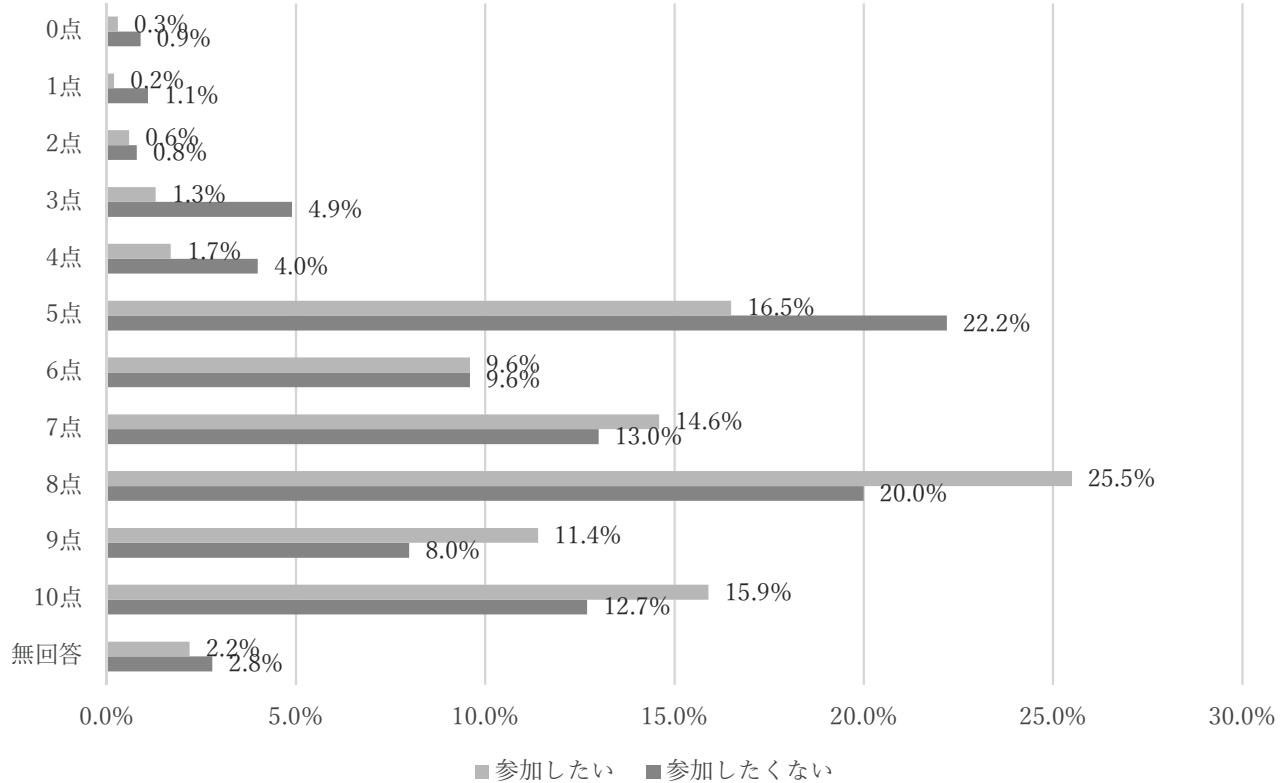
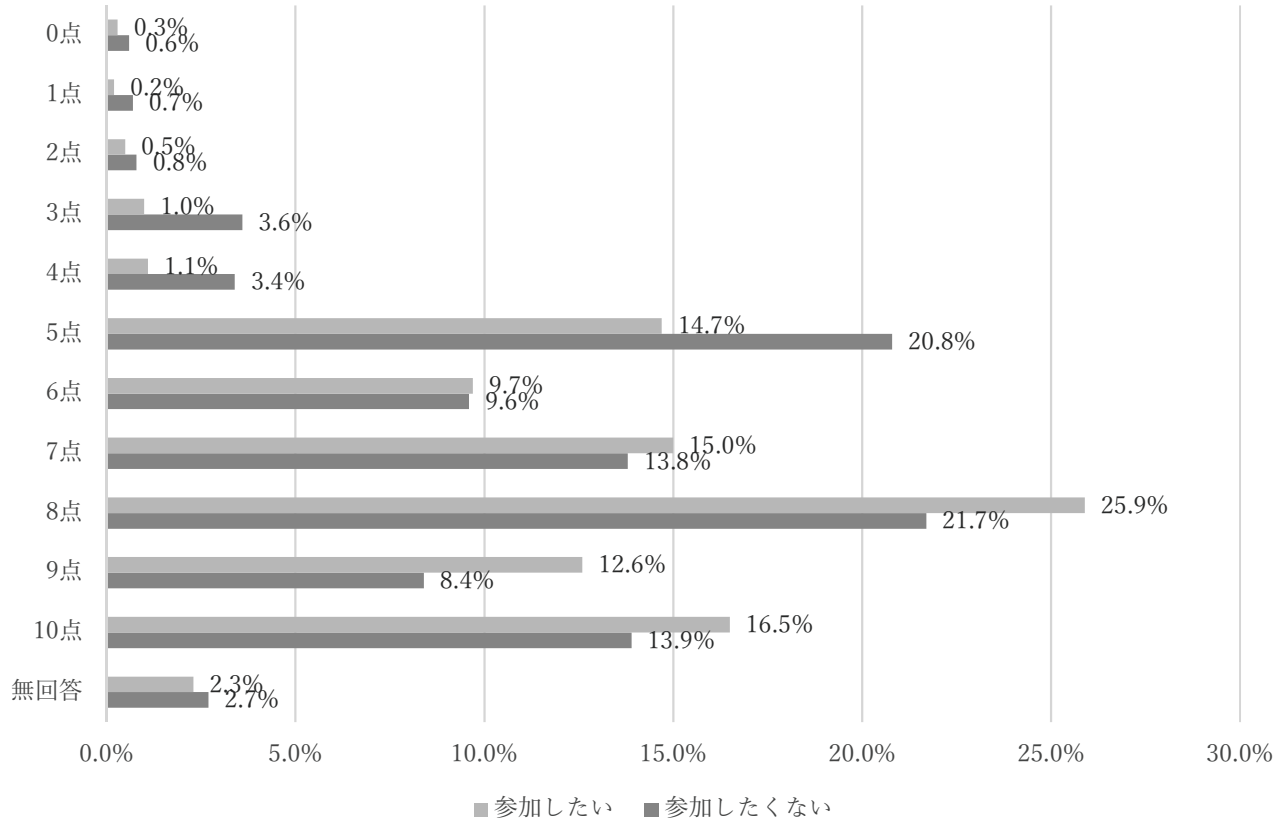


表7-2-3② 地域活動への世話役としての参加意向別、幸福度



問 7-3 この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

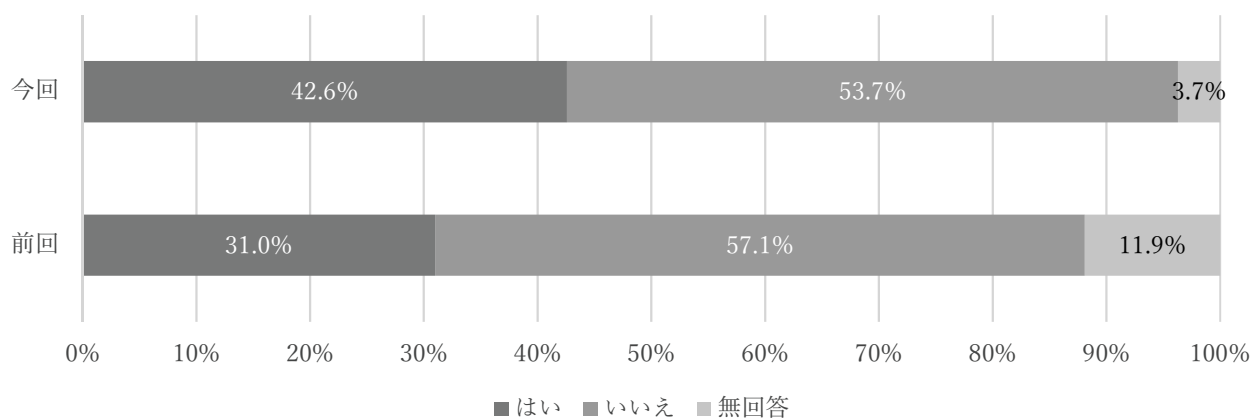
「この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」については、「いいえ」が 53.7%と、「はい」の 42.6%に比べ 11.1 ポイント上回っています。

「前回調査」との比較では「はい」と回答した人が今回は 11.6 ポイント上回っています。

表 7-3 この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
はい	1,115	42.6%	727	31.0%	11.6 ポイ
いいえ	1,407	53.7%	1,339	57.1%	△3.4 ポイ
無回答	98	3.7%	278	11.9%	△8.2 ポイ
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図7-3この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか



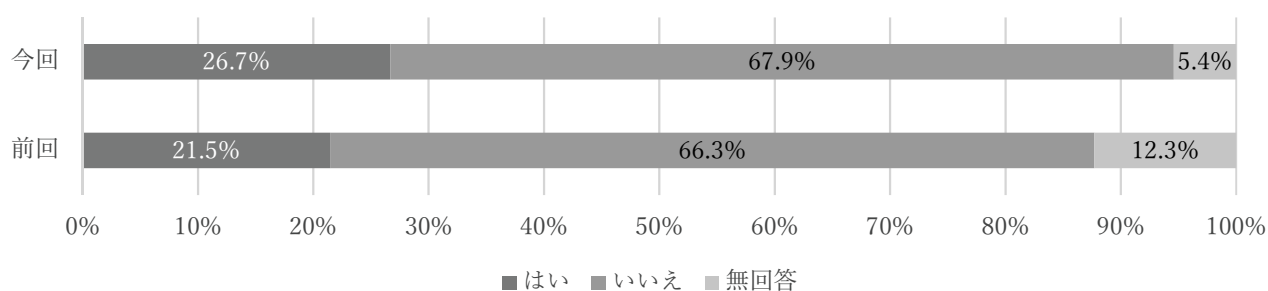
問 7-4 この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」については、「はい」と回答した人が 26.7%であり、「いいえ」と回答した人 67.9%より 41.2%ポイント下回っています。前回調査でもほぼ同様の傾向が見られます。

表 7-4 この 1 か月間、興味がわかない、心から楽しめない感じがよくありましたか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
はい	699	26.7%	503	21.5%	5.2 ポイ
いいえ	1,780	67.9%	1,553	66.3%	1.6 ポイ
無回答	141	5.4%	288	12.3%	△6.9 ポイ
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図7-4 この1か月間、興味がわからない、心から楽しめない感じがよくありましたか

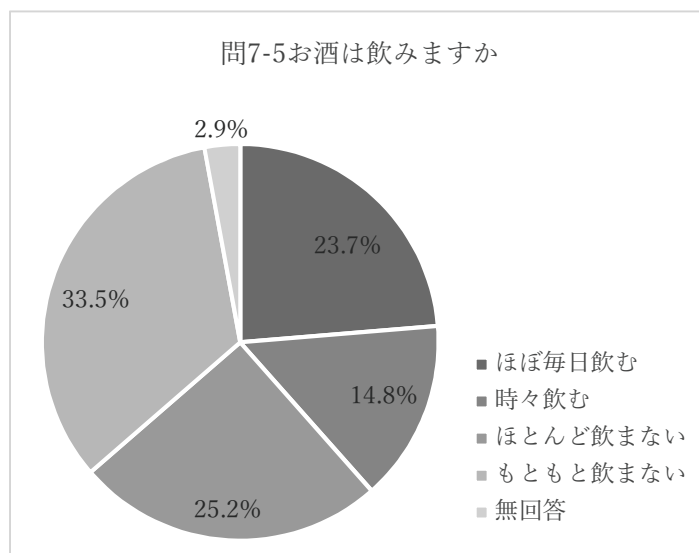


問 7-5 お酒は飲みますか

「お酒は飲みますか」については「ほぼ毎日飲む」が 23.7%、「時々飲む」の 14.8%を加えた「飲酒あり」は 38.5%となっています。

表 7-5 お酒は飲みますか

	回答数	構成比
ほぼ毎日飲む	620	23.7%
時々飲む	387	14.8%
ほとんど飲まない	659	25.2%
もともと飲まない	879	33.5%
無回答	75	2.9%
計	2,620	100.0%



問 7-6 タバコは吸っていますか

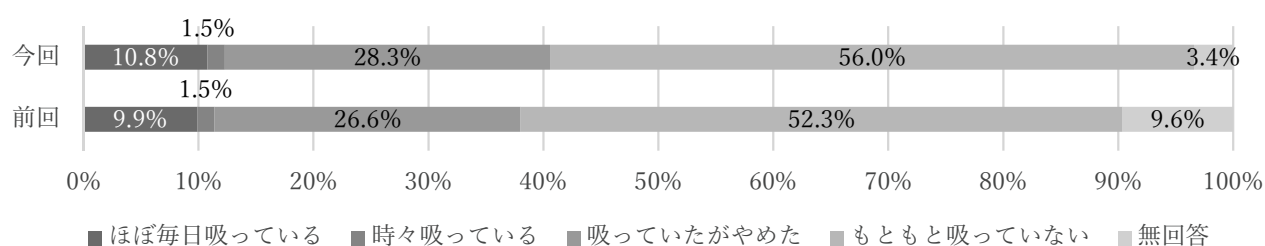
「タバコは吸っていますか」については、「ほぼ毎日吸っている」が 10.8%、「時々吸っている」1.5%を加えた「喫煙あり」は 12.3%となっています。「もともと吸っていない」が 55.9%であるのに対し、「吸っていたがやめた」が 28.4%であり、健康志向の高まりが感じられます。

前回調査でもほぼ同様の傾向が見られました。

表 7-6 タバコは吸っていますか

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
ほぼ毎日吸っている	283	10.8%	232	9.9%	0.9 ポイント
時々吸っている	40	1.5%	36	1.5%	0.0 ポイント
吸っていたがやめた	742	28.3%	624	26.6%	1.7 ポイント
もともと吸っていない	1,467	56.0%	1,227	52.3%	3.7 ポイント
無回答	88	3.4%	225	9.6%	△6.2 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図7-6タバコは吸っていますか



問 7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか

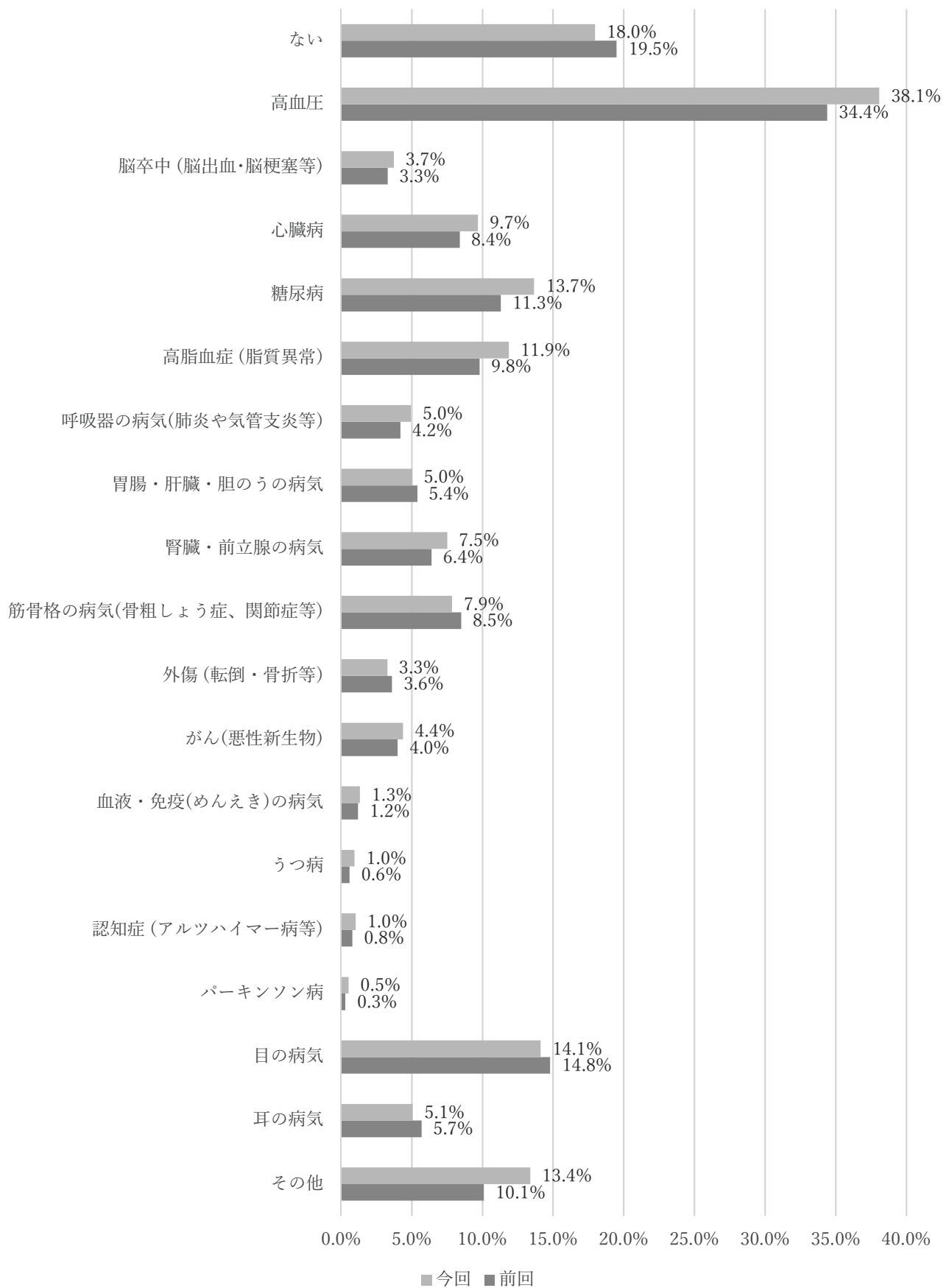
「現在治療中、または後遺症のある病気はありますか」について、「高血圧」が 38.1%と最も多く、次いで、「目の病気」14.1%、「糖尿病」13.7%、「高脂血症（脂質異常）」11.9%の順になっており、生活習慣病の比率が高いとされます。

前回調査でも同様の傾向が見られましたが、今回は「高血圧」が 3.7 ポイント増えています。

表 7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(複数選択)

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
ない	471	18.0%	458	19.5%	△1.5 ポイント
高血圧	998	38.1%	807	34.4%	3.7 ポイント
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	98	3.7%	78	3.3%	0.4 ポイント
心臓病	254	9.7%	196	8.4%	1.3 ポイント
糖尿病	358	13.7%	265	11.3%	2.4 ポイント
高脂血症（脂質異常）	311	11.9%	229	9.8%	2.1 ポイント
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	130	5.0%	98	4.2%	0.8 ポイント
胃腸・肝臓・胆のうの病気	132	5.0%	126	5.4%	△0.4 ポイント
腎臓・前立腺の病気	197	7.5%	149	6.4%	1.1 ポイント
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	206	7.9%	200	8.5%	△0.6 ポイント
外傷（転倒・骨折等）	86	3.3%	85	3.6%	△0.3 ポイント
がん(悪性新生物)	115	4.4%	94	4.0%	0.4 ポイント
血液・免疫(めんえき)の病気	35	1.3%	29	1.2%	0.1 ポイント
うつ病	25	1.0%	15	0.6%	0.4 ポイント
認知症（アルツハイマー病等）	27	1.0%	18	0.8%	0.2 ポイント
パーキンソン病	14	0.5%	7	0.3%	0.2 ポイント
目の病気	370	14.1%	348	14.8%	△0.7 ポイント
耳の病気	133	5.1%	133	5.7%	△0.6 ポイント
その他	351	13.4%	237	10.1%	3.3 ポイント

図7-7現在治療中、または後遺症のある病気はありますか



問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

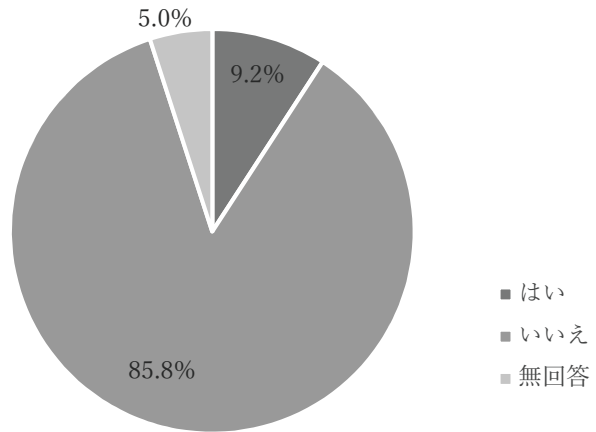
問 8-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

「認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか」の質問に「はい」と回答した人は9.2%でした。

表 8-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

	回答数	構成比
はい	240	9.2%
いいえ	2,248	85.8%
無回答	132	5.0%
計	2,620	100.0%

図8-1認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか



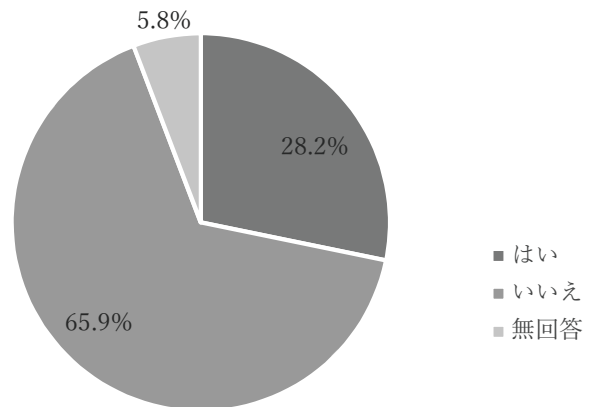
問 8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

「認知症に関する相談窓口を知っていますか」の質問に「はい」と回答した人は28.2%でした。

問 8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか

	回答数	構成比
はい	740	28.2%
いいえ	1,727	65.9%
無回答	153	5.8%
計	2,620	100.0%

図8-2認知症に関する相談窓口を知っていますか



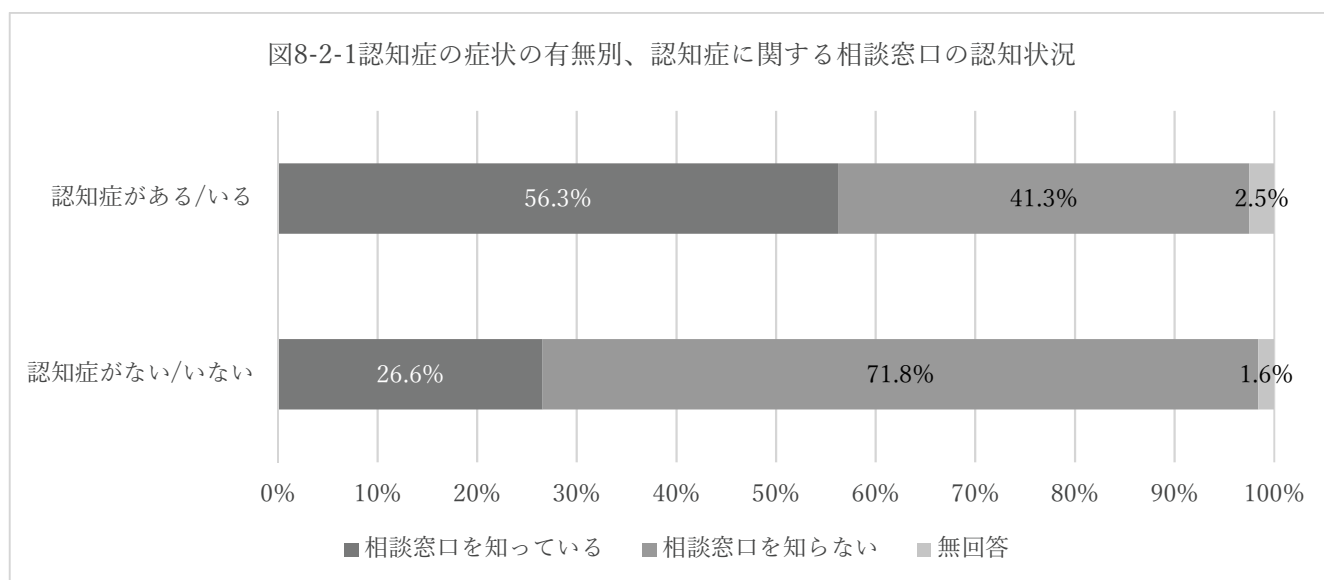
「認知症の症状の有無別、認知症に関する相談窓口の認知状況」を見ると、「本人又は家族に認知症の症状がある人がいる」と回答した 240 人のうち、「認知症に関する相談窓口を知っている」人は 56.3%でした。

「本人又は家族に認知症の症状がある人がいない」と回答した 2,248 人のうち、「認知症に関する相談窓口を知っている」人は 26.6%でした。

認知症の症状がある人が身近にいるかどうかで、認知症に関する相談窓口の認知状況に大きな開きが見られます。

表 8-2-1 認知症の症状の有無別、認知症に関する相談窓口の認知状況

		認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか			
		はい		いいえ	
認知症に関する相談窓口を知っていますか	はい	135	56.3%	598	26.6%
	いいえ	99	41.3%	1,614	71.8%
	無回答	6	2.5%	36	1.6%
	計	240	100.0%	2,248	100.0%



問9 その他

問 9-1 地域包括支援センターを知っていますか

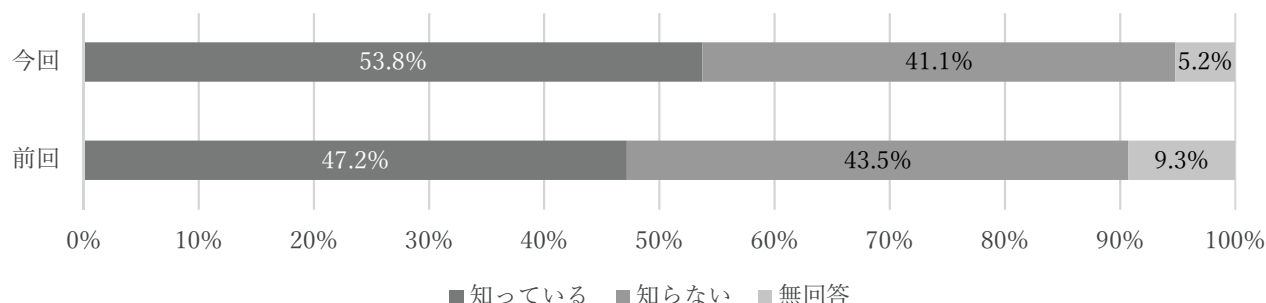
「地域包括支援センターを知っていますか」については「知っている」と回答した人は 53.8%でした。

前回の調査と比べると、地域包括支援センターの認知状況は 6.6 ポイント高まっています。

表 9-1 地域包括支援センターを知っていますか

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
知っている	1,409	53.8%	1,106	47.2%	6.6 ポイント
知らない	1,076	41.1%	1,019	43.5%	△2.4 ポイント
無回答	135	5.2%	219	9.3%	△4.1 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

図9-1地域包括支援センターを知っていますか



問 9-2 能勢町に高齢者の入所施設ができた場合、入所を希望されますか

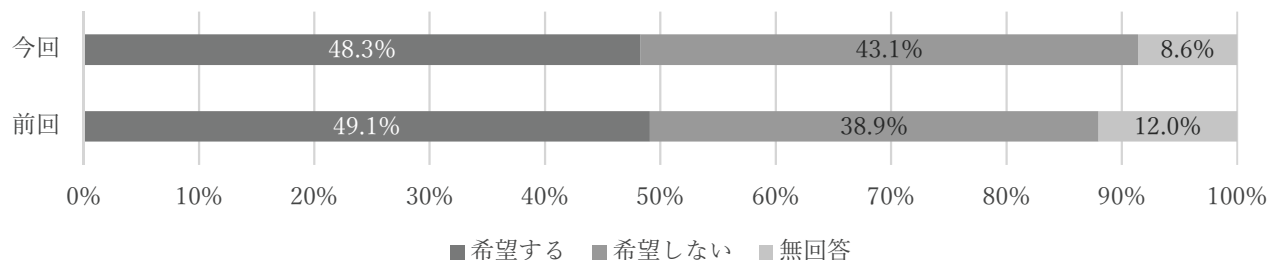
「能勢町に高齢者の入所施設ができた場合、入所を希望されますか」については、「希望する」が 48.3%、「希望しない」が 43.1%と、ほぼ希望が二分される結果となりました。

前回調査との比較では「希望しない」が 4.2 ポイント増えています。

表 9-2 能勢町に高齢者の入所施設ができた場合、入所を希望されますか

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
希望する	1,266	48.3%	1,150	49.1%	△0.8 ポイント
希望しない	1,128	43.1%	912	38.9%	4.2 ポイント
無回答	226	8.6%	282	12.0%	△3.4 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—

問9-2能勢町に高齢者の入所施設ができた場合、入所を希望されますか



問 9-2-1 入所希望されない理由はなんですか

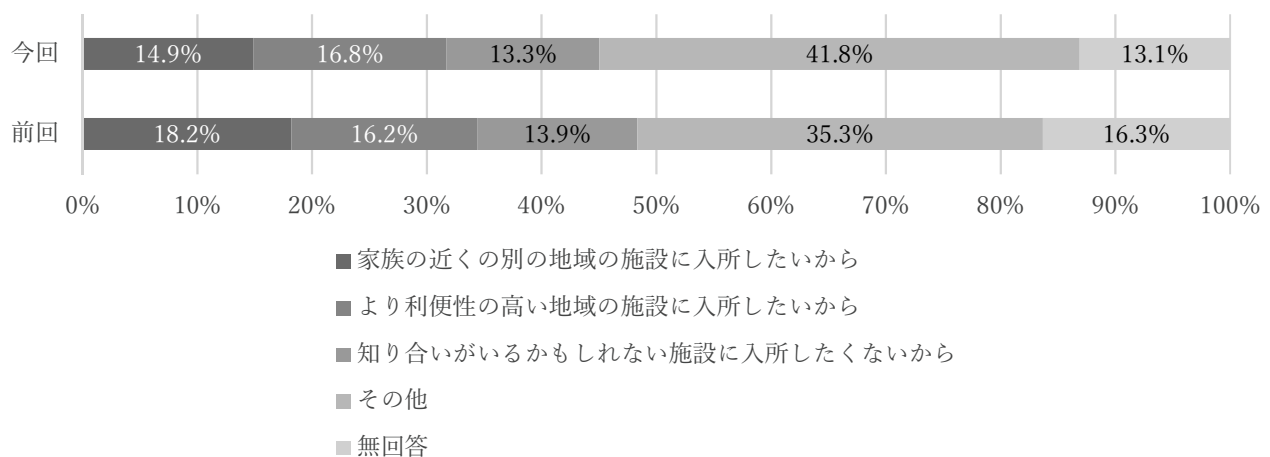
問 9-2 で「入所を希望しない」と回答した 1,128 人にその理由を訊ねたところ、「その他」が 41.8%を占め、自由記述を見ると、在宅を希望する旨の理由が多く見受けられました。選択肢に例示されている理由では「より利便性の高い地域の施設に入所したいから」が 16.8%、「家族の近くの別の地域の施設に入所したいから」が 14.9%、「知り合いがいるかもしれない施設に入所したくないから」が 13.3%でした。

前回調査でもほぼ同様の傾向がみられていました。

表 9-2-1 入所希望されない理由はなんですか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
家族の近くの別の地域の施設に入所したいから	168	14.9%	166	18.2%	△3.3 ポイント
より利便性の高い地域の施設に入所したいから	190	16.8%	148	16.2%	0.6 ポイント
知り合いがいるかもしれない施設に入所したくないから	150	13.3%	127	13.9%	△0.6 ポイント
その他	472	41.8%	322	35.3%	6.5 ポイント
無回答	148	13.1%	149	16.3%	△3.2 ポイント
計	1,128	100.0%	912	100.0%	—

図9-2-1入所希望されない理由はなんですか



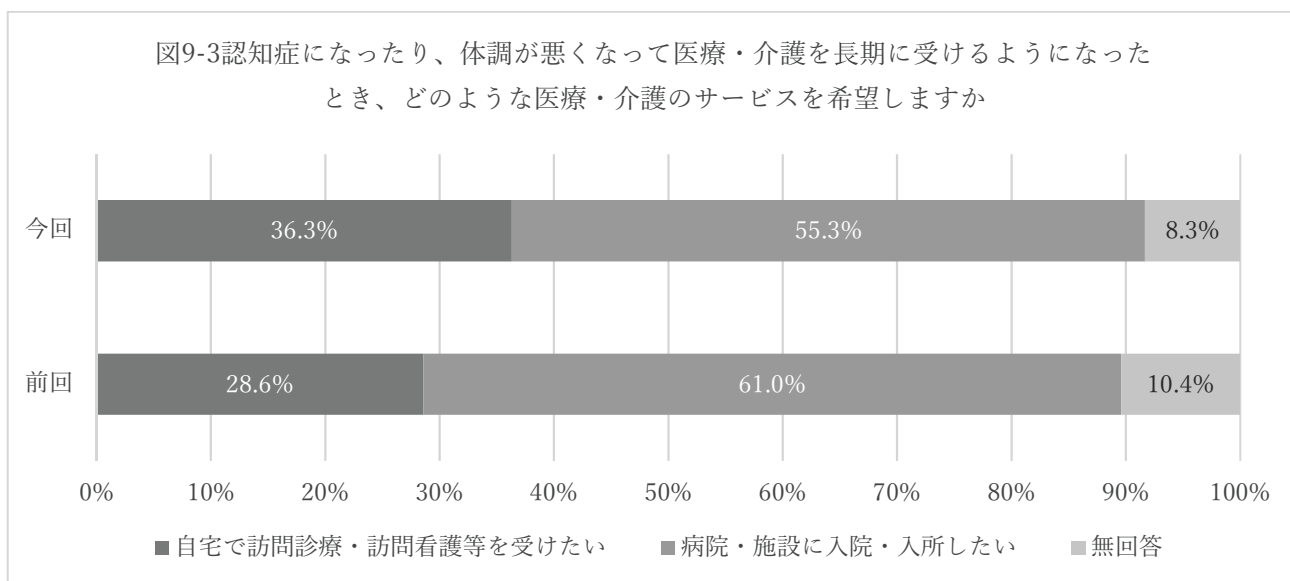
問 9-3 あなたが認知症になったり、体調が悪くなって医療・介護を長期に受けるようになったとき、どのような医療・介護のサービスを希望しますか

「病院・施設に入院・入所したい」が55.3%と、「自宅で訪問診療・訪問看護等を受けたい」36.3%を19.0ポイント上回りました。

前回調査との比較では、「自宅で訪問診療・訪問看護等を受けたい」が7.7ポイント増えています。

表 9-3 認知症になったり、体調が悪くなって医療・介護を長期に受けるようになったとき、どのような医療・介護のサービスを希望しますか

	今回		前回		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
自宅で訪問診療・訪問看護等を受けたい	952	36.3%	671	28.6%	7.7 ポイント
病院・施設に入院・入所したい	1,450	55.3%	1,430	61.0%	△5.7 ポイント
無回答	218	8.3%	243	10.4%	△2.1 ポイント
計	2,620	100.0%	2,344	100.0%	—



問 9-3-1 入院・入所を希望される理由はなんですか

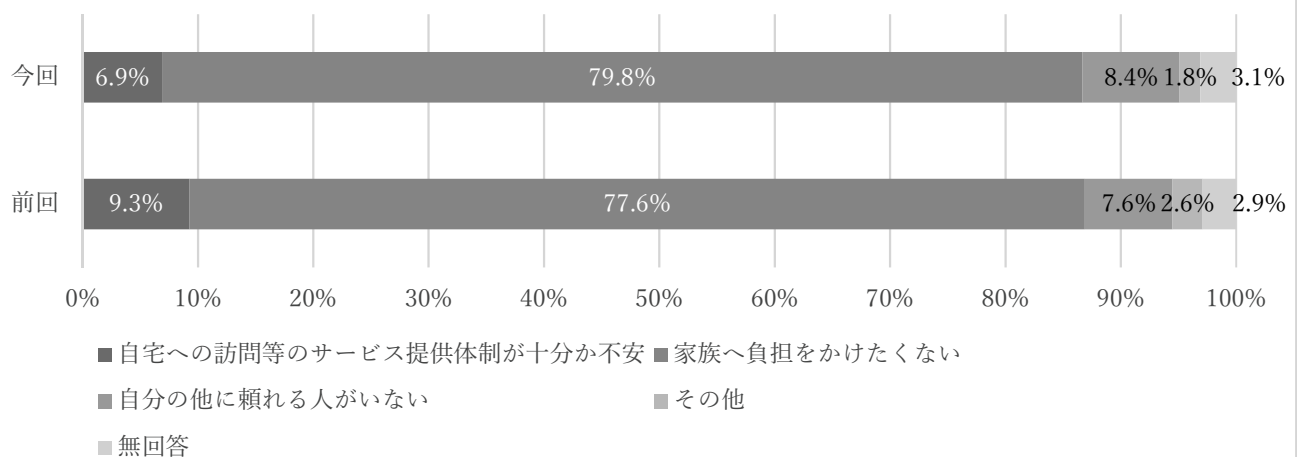
問 9-3 で「病院・施設に入院・入所したい」と回答した 1,450 人にその理由を訊ねたところ、「家族へ負担をかけたくない」が 79.8%と他の理由を寄せ付けない結果となりました。

前回調査でも、ほぼ同様の傾向を示しています。

表 9-3-1 入院・入所を希望する理由

	今回(N=1,450)		前回(N=1,430)		増減
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	(①-②)
自宅への訪問等のサービス提供体制が十分か不安	100	6.9%	133	9.3%	△2.4 ポイ
家族へ負担をかけたくない	1,157	79.8%	1,110	77.6%	2.2 ポイ
自分の他に頼れる人がいない	122	8.4%	109	7.6%	0.8 ポイ
その他	26	1.8%	37	2.6%	△0.8 ポイ
無回答	45	3.1%	41	2.9%	0.2 ポイ
計	1,450	100.0%	1,430	100.0%	—

図9-3-1入院・入所を希望する理由

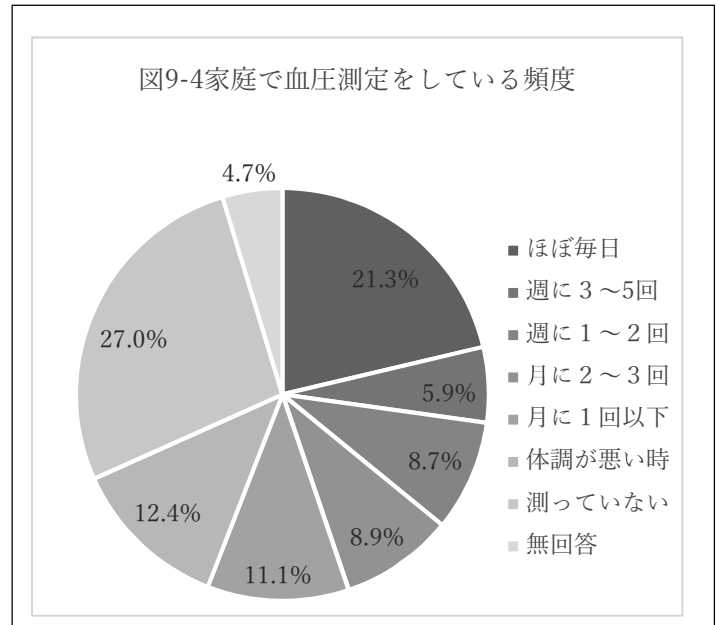


問 9-4 ご家庭でどの程度の頻度で血圧を測っていますか

家庭で血圧測定をしている頻度については、「測っていない」が 27.0%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が 21.3%、「体調が悪い時」が 12.4%の順になっています。

表 9-4 家庭で血圧測定をしている頻度

	回答数	構成比
ほぼ毎日	557	21.3%
週に3～5回	154	5.9%
週に1～2回	228	8.7%
月に2～3回	232	8.9%
月に1回以下	292	11.1%
体調が悪い時	325	12.4%
測っていない	708	27.0%
無回答	124	4.7%
計	2,620	100.0%



「健康状態別、家庭で血圧測定をしている頻度」を見ると、健康状態が良くないほど、血圧測定の頻度が高くなっています。

「ほぼ毎日」が多い順に健康状態で並べると

よくない(32.9%)>あまりよくない(28.2%)>まあよい(20.6%)>とてもよい(13.4%)

となりました。

「血圧測定の習慣化」を「週1回以上、実施」と仮定すると、血圧測定が習慣化している人は

よくない(52.1%)>あまりよくない(42.6%)>まあよい(35.1%)>とてもよい(27.9%)

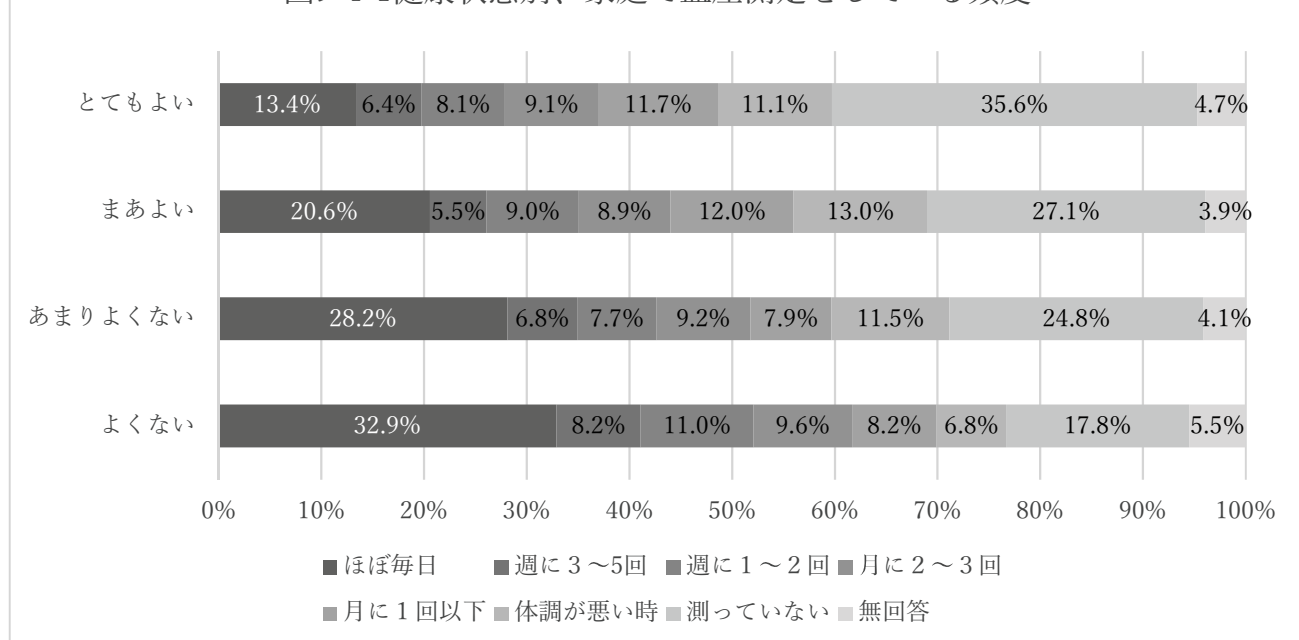
となります。

健康を害している人が血圧測定を習慣化することによって、健康に関する自己管理を行うことは重要なことですが、健康状態が良い人が血圧測定を習慣化することによって、健康に関する自己管理意識を高めていくことは健康を維持し、介護予防を進めていく上で重要なポイントになると思われます。

表 9-4-1 健康状態別、家庭で血圧測定をしている頻度

	健康状態							
	とてもよい		まあよい		あまりよくない		よくない	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ほぼ毎日	40	13.4%	355	20.6%	125	28.2%	24	32.9%
週に3～5回	19	6.4%	95	5.5%	30	6.8%	6	8.2%
週に1～2回	24	8.1%	155	9.0%	34	7.7%	8	11.0%
月に2～3回	27	9.1%	154	8.9%	41	9.2%	7	9.6%
月に1回以下	35	11.7%	207	12.0%	35	7.9%	6	8.2%
体調が悪い時	33	11.1%	223	13.0%	51	11.5%	5	6.8%
測っていない	106	35.6%	466	27.1%	110	24.8%	13	17.8%
無回答	14	4.7%	67	3.9%	18	4.1%	4	5.5%
計	298	100.0%	1,722	100.0%	444	100.0%	73	100.0%
週1回以上(再掲)	83	27.9%	605	35.1%	189	42.6%	38	52.1%

図9-4-1健康状態別、家庭で血圧測定をしている頻度



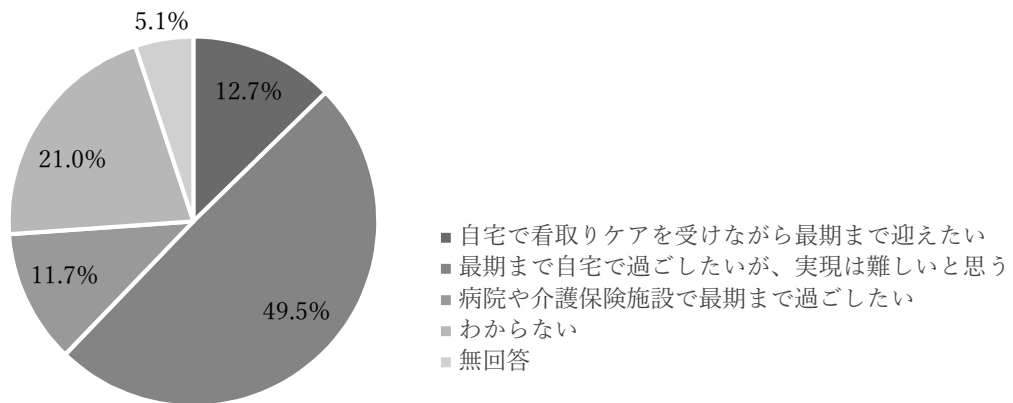
問 9-5 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思っていますか

「最期まで自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」が 49.5%とほぼ半数を占める結果となりました。次いで、「わからない」が 21.0%と多くなっていますが、調査対象の高齢者(介護保険第1号被保険者のうち、非認定者、介護保険要支援認定者及び事業対象者)には「看取り問題」はまだまだ身近な問題になっていないものと思われます。

表 9-5 人生の最期をどこで迎えたいと思っていますか

	回答数	構成比
自宅で看取りケアを受けながら最期まで迎えたい	333	12.7%
最期まで自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う	1,297	49.5%
病院や介護保険施設で最期まで過ごしたい	306	11.7%
わからない	550	21.0%
無回答	134	5.1%
計	2,620	100.0%

図9-5 人生の最期をどこで迎えたいと思っていますか



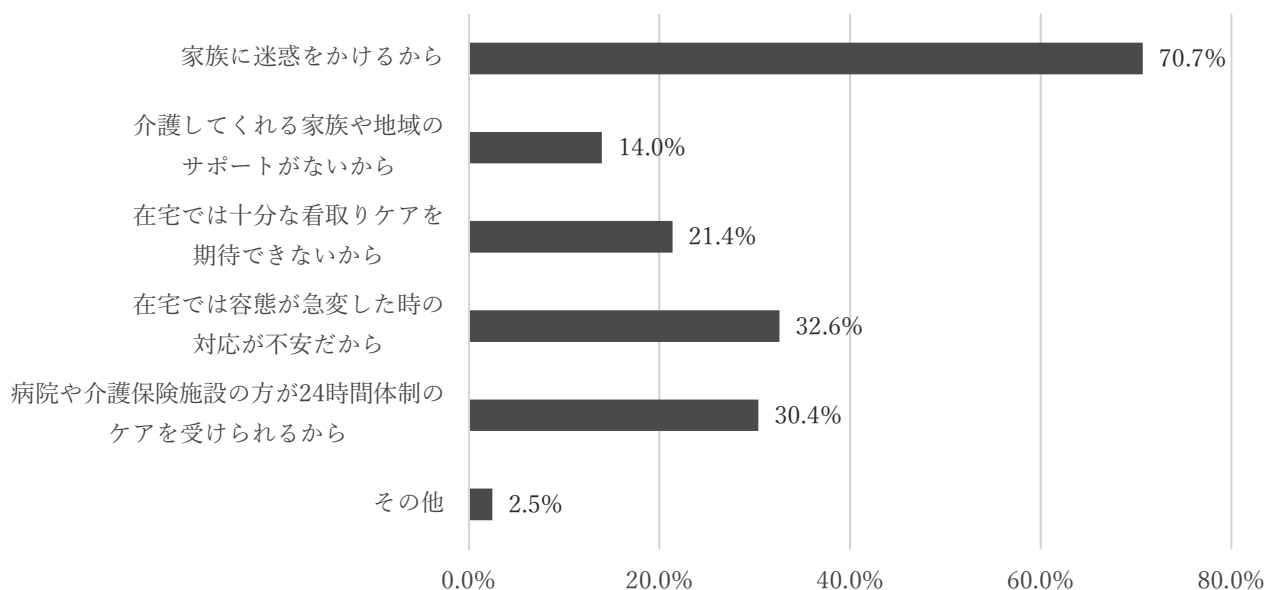
問 9-5-1 難しいと思う理由は何ですか

問 9-5 で「最期まで自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」と回答した 1,297 人にその理由を複数選択で訊ねたところ、「家族に迷惑をかけるから」が 70.7%と 7 割を占め、次いで「在宅では容態が急変した時の対応が不安だから」が 32.6%、「病院や介護保険施設の方が 24 時間体制のケア(医療や介護)を受けられるから」が 30.4%、「在宅では十分な看取りケア(医療や介護)を期待できないから」が 21.4%の順になっています。

表 9-5-1 難しいと思う理由は何ですか（複数選択 N=1,297）

	回答数	構成比
家族に迷惑をかけるから	917	70.7%
介護してくれる家族や地域のサポートがないから	181	14.0%
在宅では十分な看取りケア(医療や介護)を期待できないから	278	21.4%
在宅では容態が急変した時の対応が不安だから	423	32.6%
病院や介護保険施設の方が 24 時間体制のケア(医療や介護)を受けられるから	394	30.4%
その他	32	2.5%

図9-5-1 難しいと思う理由は何ですか



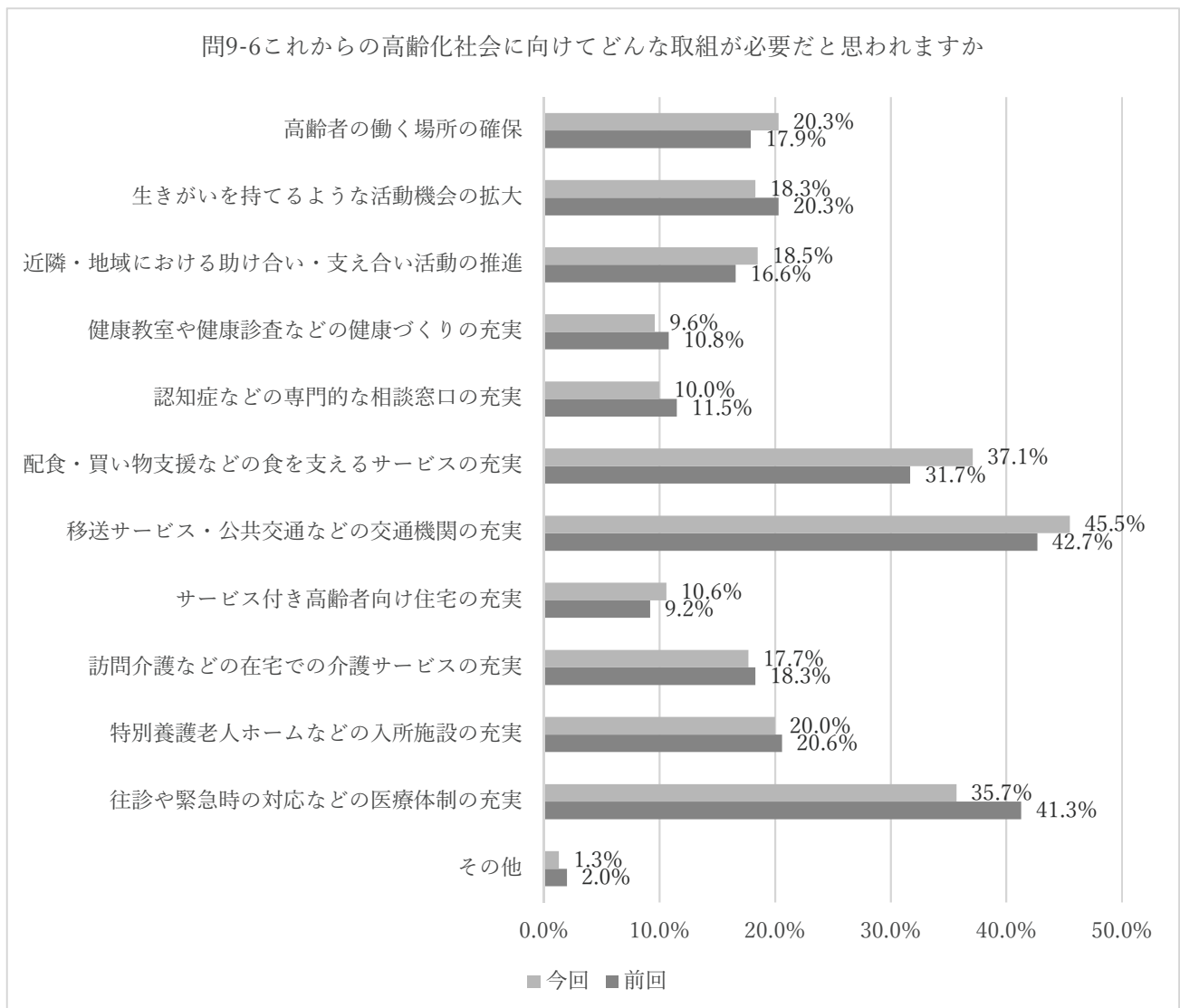
問 9-6 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか

「これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか」を 3 つまでの選択で訊ねたところ、「移送サービス・公共交通などの交通機関の充実」が 45.5%と最も多く、次いで「配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実」が 37.1%、「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」が 35.7%の順となっています。

「前回調査」との比較では、「配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実」が 5.4 ポイント増えています。

表 9-6 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか(3 つまで選択)

	今回(N=2,620)		前回(N=2,344)		増減 (①-②)
	回答数	構成比①	回答数	構成比②	
高齢者の働く場所の確保	531	20.3%	419	17.9%	2.4 ポイント
生きがいを持てるような活動機会の拡大	479	18.3%	476	20.3%	△2.0 ポイント
近隣・地域における助け合い・支え合い活動の推進	484	18.5%	390	16.6%	1.9 ポイント
健康教室や健康診査などの健康づくりの充実	251	9.6%	252	10.8%	△1.2 ポイント
認知症などの専門的な相談窓口の充実	262	10.0%	270	11.5%	△1.5 ポイント
配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実	972	37.1%	743	31.7%	5.4 ポイント
移送サービス・公共交通などの交通機関の充実	1,193	45.5%	1002	42.7%	2.8 ポイント
サービス付き高齢者向け住宅の充実	279	10.6%	215	9.2%	1.4 ポイント
訪問介護などの在宅での介護サービスの充実	464	17.7%	430	18.3%	△0.6 ポイント
特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	525	20.0%	483	20.6%	△0.6 ポイント
往診や緊急時の対応などの医療体制の充実	935	35.7%	969	41.3%	△5.6 ポイント
その他	35	1.3%	48	2.0%	△0.7 ポイント



【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

問9-7 能勢町の保健福祉サービスや高齢者施策などについてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
1	お医者さんへの交通送迎お世話になっています。助かっています。							1							
2	現在夫との2人暮らしですが、将来私が一人に残った場合、自宅で最期を迎えたいと希望していても夜などが不安です。常にだれかの目のあるところで淋しくない最後を迎えたいと思っています。自宅近くの施設で。							1							
3	希望は多く有りますが、食べてしもの処理が出来ておれば良いのです。これが出来れば在宅でいきたいです。これが出来ないため施設に世話にならないのです。よろしく。									1					
4	移送サービス、公共交通などの交通機関の充実							1							
5	免許返納後の交通手段が不安。食糧販売店が少なく、片寄りがある							1							
6	格安な交通手段がない							1							
7	夜間の介護サービス									1					
8	出来るだけ長く自宅で暮らして行きたいのが、希望。医療機関や商店等、歩いて行ける距離ではない。車の運転が出来なくなる等の事態に備え、生活援助のシステムがあればと思う。						1			1					
9	町立の老人施設の充実。交通の便の確保。町独自の給付金。非常電話等の機器の配布。							1	1	1		1			
10	自分の故郷に戻りたい														1
11	70才以上になれば誰でも希望すれば配食サービスが受けられるシステム。自動車の運転が出来なくなった時移動に不便を感じるので移動サービスの充実						1	1							
12	人とのつきあいがキライです														1
13	介護保険制度の世の中にならなくなった為か、育ててもらった親に対しての感謝の気持ちが忘れがちになっている今日、制度が良かった面ばかりでなく、人間的な愛情が欠けて来ている。考えが古いと言えそれまでですが、苦勞して育てて末は見放されてしまう世の中、人の足を踏んでも何ともない人間が多く感じる。			1											
14	時間も余り有りませんが簡単に必要な本（読書）が出来る場所（施設）があれば嬉しいような楽しい日、時が過ぎせるような気が致します…？		1												
15	高齢化が急速に進む中独居老人や老夫婦のみで暮らしている人が多くなっている。町内でも具体的なより広い取り組み（買い物や外出時の移動手段）を早急に考えて実現していただくよう強く希望します。運転ができなくなった時の移動が現状では殆どできません。（アンケートのみで終了は困る）							1							
16	福祉、施策が重要と介護保険料は毎年上昇し年金生活が苦しめられる時期が接近して来た様に思うが今後の計画はどうか。介護を受けている方々は満足かもしれないが年金より天引きされている我々はそのうちに生活苦になる可能性が充分見込まれます。今後私も含めてどんどん高齢化が進行しますが町の対策を聞きたいですね。「取れるものから取れ」の時代は過ぎつつあると思います。的確な回答がほしいですね。私は現在83才です。											1			
17	独居老人も多い世間安否確認等も含め体操教室イベント等地域で開催してほしい。今はｺｰﾎﾟでイベント等中止しているが収束したら家にいる老人等の心のケア、やりがい生きがいをもった生活をおくってほしい。		1												
18	より一層高齢者が安心して生活できる様な施策を願う。													1	
19	社協のゆめクラブにはもっと各部落から入所があればよいと思うけど15名以上あればスタッフの人は大変忙しいので、それを大人数に出来たら良いと思います。		1												
20	問9-7ではありませんが、今年はコロナウィルスの関係でこのアンケートに対して答えが書にくい所が多々ありました。外出とか色々な方とはいつもと違って会う事が出来なかつたりしますので、答えにまよいました														1
21	外出自粛の時期と平時では回答が変わることもあると思うか？														1
22	インフラの整備												1		

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
23	安心して生活できる医療体制。食を支えるサービス。自分で車を利用できる間は良いが、長くこの地に住める体制をおねがいしたい。						1	1			1				
24	車の運転ができなくなると、買物など大変になるので充実した移動支援体制が必要だと感じている。もっと若者（子ども・孫）が町に住みやすい環境の検討を。能勢町の多くの場所が現在都市調整区域になっている為、土地があっても子どもたちが家を建てるのがなかなかできず、若者・子供達が家を建てるのがなかなかできず、若者が増えるのには無理がある。手続きをもっとスムーズにできることを望む。							1					1		
25	能勢町の場合、車の運転が出来なくなった時がすぐに生活に支障がでる事です。すぐに近所でもこの問題は直面する一番の事案です。介護認定をなかなか受けず、「いざという時」が来て大変な方が老人世帯に見受けられます。90才以上の老夫婦には積極的に支援を進めてあげて下さい（1人の方は言うまでもありませんが）					1		1							
26	コロナの緊急宣言の時期でしたので、外出の件など、うまく表現できないと思います。														1
27	町に広くて、明るくて、安くて、充実した施設ができると良いのですが。特養がどんな施設かわかりませんが、ケセラセラで暮らそうと思っています。								1						
28	ケアマネージャ様にはいつも訪問をして下さりありがたく思っております。今後ともよろしく願い申し上げます。														1
29	昔からの農業を続けるには80才過ぎて二人で作業したり食べたり（三食）大変しんどくなってきた。					1									
30	能勢町は高齢ばかりです。福祉の方にたよりますので宜しくお願いす					1									
31	大阪府に嫁いで来ました。私は住めば住程、能勢が好きになっています。「能勢は昔、山奥ヤツ」と聞いていましたが、今は能勢が好きで空気もいいし、大雨、風がこわいだけです。昔兵庫県のスキー場でスキーをし!! こんな田舎にお嫁さんが来るのかな!!と聞いていたけど、嫁いで来たら住めばミ・ヤ・コ。とってもいい所です。でも今コロナと言う変な病気に頭が痛いです。能勢町の遅すぎる対応を見て!! エッ私もお金もらえんヤツ!!とビックリしました。対応が遅いのは仕方がない事ですが、こんな大事な事は、他の所よりももっと早く対応してほしいかと思っています。これからも私は能勢を愛していきたいと思っているし、ヒ孫も「能勢に行く」といって空気のいい事や外で遊べる事をよこんでくれています。※1人暮らしですので夜が長く感じる事もあります。夜回り（ケイサツ）をしてほしいと願っています。									1					
32	ご近所の高齢の方が次々亡くなられ、「売家」がたくさん。10年もすれば同じ道をたどる。不安でさみしい。「サービス」にもの申すことはないけれど、何故若者が住めない状況になったんだろう？												1		
33	能勢町は高齢者施策、サービスについて良くやっているとされる。しかし、具体的に何をやっているのか見えてこない。これからも、施策について他市町の様子をみて後を追いかけることなく、決断力をもって他市町よりも早く取りくんでほしい。					1									
34	自分で運転出来なくなった時の移送サービスの充実。自宅での訪問看護、訪問診療等の充実							1			1				
35	私は車の運転が出来ません。							1							
36	先日も同様のアンケートを提出しましたが定期的に調査されているのでしょうか？														1
37	高齢者が直接保健福祉センター等に出向き、相談出来る様、移送サービスの確保。町の各種福祉業務を多くの方によくわかる様周知してほしい。					1		1							
38	オンラインによるサービスの安全安心健康相談等があれば良い					1									
39	何しろ交通が不便なので、家に引きこもる以外にない。車類の利用の便を図ってほしいです。							1							
40	今はまだ先のことと思っているのですが、その時が来たらどうしようか時々考えることがあります。今サ高住施設で働いていてそういう人達と毎日接していますので、みんな寂しそうでかわいそうに見えてくるのです。					1									
41	廃校になった施設の利用												1		
42	自己管理に努めて参ります。														1
43	アンケートをとるだけなら意味がない。アンケートの結果どう生かしたのか、目で見えるような型を見たい。パフォーマンスならアンケートは必要はない														1

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
44	良い施策を立ててください													1	
45	現在70才です。今のところ特に高齢者対策等まだ頭にうかんできませんがもう4～5年もすれば多くの事を考えねばならない時が必ず来ると思います。					1									
46	コロナの関係で回答に困る項目があった。運転免許を返納すると不安。若い人たち大歓迎の町、若い人も高齢者も住みやすい能勢になってほしい。							1					1		
47	問9-6の取り組みを早急に検討願いたい													1	
48	現在、コロナ感染対策でのタイミングであり、回答に迷う設問も多々あった。普段のくらしとちがうので。※食、医療、文化に触れるなど、全て運転できるからこそ、今は人並みのくらしができていますが、車に頼れなくなったとき、交通弱者となり、全てを失う。将来に対する不安がかなりある。							1							1
49	能勢町は高齢者が多いので、これから特に高齢者が生活しやすい町にしてほしい。												1		
50	1人暮らしは買いものが不便。						1								
51	特に下田尻区はバス等の乗物がない。							1							
52	高齢で自動車免許を返上したあと、バス等公共交通機関がない中で、独居生活は極めて困難。下田尻は陸の孤島と化す。交通手段を確保する施策を切望する。免許返納まで2年、急を要する。							1							
53	交通手段の充実							1							
54	主人が運転出来なくなったら買い物やちょっとした用事で出かけることが難しくなるのが不安になる							1							
55	現在は畑、ゴルフ等毎日が充実した日々を過ごしております。大きな病気になっていないので病気になった時に心配ですが…。その時に考えます。					1									
56	町外での受診の交通手段の確保、タクシーを呼んで往復するとかなりの高額となる。後期高齢者宅へは時折訪問があればと思う。高齢者夫婦の共倒れが近い。					1		1							
57	高齢者が参加して学べる「老人大学」等の開催。その場所に行くことができる交通手段の確保、町内巡回バスの運用を望みます。		1					1							
58	関節リウマチで手足の指が変形している				1										
59	インターネットが使える環境があればよいと思います。												1		
60	能勢電までの足回り、スポーツセンターでの足回りなど交通機関の充実。イベントに参加したくても参加できない人が多い。高齢者に携わる方は早口でなく接して欲しい。コロナ規制のない状態で回答している。							1							1
61	現在車を運転しているが免許返納した時、どのような変化が生ずるか不安→案として他の地域に移動（異動）（施設を含めて…）。医療の充実（P Cでの対応）。”コロナ”の体制を見ると”非常に不備”を感じる→農村地に於いて独自の体制！					1					1				1
62	ひとり暮らしのため掃除などの介護サービスを受けたい。入院手術が必要なのですが、付添いを求められているが、誰もいない。									1					
63	車の運転が出来なくなった時どうなるのか心配です。							1							
64	能勢町は交通手段が自家用だけです。現在は運転ができますが、いずれ運転ができなくなります。健康に気を付けて歩けても、家の周りのみの生活になり行動・活動範囲が狭まります。いろいろな刺激や世間の流れや動きを見たいので町外から出ていける交通手段を考えていただきたいと思います。能勢町の妙見口駅または山下駅までせめて行けるようお願いします。認知症予防のためにも活動範囲を広げ身体、脳にも刺激を与えたい							1							
65	今の時期にニーズ調査？														1
66	移送サービスの充実を願います。（いつまで運転できるのか心配です）							1							
67	必要な時に必要な人たちがどうなんやろというような必要なく今の健康を自ら将来の人生を不安が消えるような、安心を最大に自分の力、体力を信じながらこの土地で生きていける、施策があれば人に頼りながらも人とともに自分らしく無理なく生活できる街づくりを望みます。												1		

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
68	そういったサービスをなるべく受けず自立をモットーに生活しています。5年位前から、東洋医学に興味を持ち、これなら簡単に出来ると、野菜の力が身体に良いと云うのでお茶を作ることとし、4月～秋ごろまで15種類位野菜茶を作り飲んでいきます。かげもひかなくなりました。周囲の者にも喜んでもらっています。なるべく世話いらずで人生を終えたいと思っています。														1
69	車で移動できる期間は良いが、出来なくなった場合不安がある。							1							
70	親身に相談にのってほしい					1									
71	ペットを飼っているので1～2日間共に過ごしてみたいな。少しの時間、ゆっくりと楽しい園みたいなのがあれば気分も良くなるのでは		1												
72	どんな活動をしているのかよくわからない					1									
73	本書を提出して何に役立ててもらえるのか？														1
74	現在70才、特に健康には気を付けて毎日を送っていますが、今同居してもらっているパートナーとは死に別れると一人になってしまいます。年金だけでは生活が苦しいので不安です。					1									
75	独居老人になるのは決まっている。その時認知症になっていたら一人で暮らすのは無理と思う。グループホームがあってもっと安いお金で入れたらいいと思う。認知症でない病気の時には、なるべく家で訪問診療や看護を受けたい。								1		1				
76	色んな方から、施設をせめていいと思われれるが、あまう町民に役立っていない様に思われる。広報による紙面だけで理解しにくい。もっと住民に寄り添う施策を希望します。					1									
77	能勢町保健福祉センター 自動車、ふるさとかいかん														1
78	交通の便が良くない。バスは少ないので、バスが出ない手段が無いので、もっとバスの数があったら出かけ易いし、お医者さんに行くにも助かると思う。							1							
79	今や高齢者でも金がなければ老人ホームにも入れない時代。充実した安らかに世を終りたいものです。									1					
80	左足と左視力に障害が残っており上手く歩けない。転倒の危険がある。														1
81	東地区だが、災害があっても近くに避難する場所がなく心配。足も弱いので					1									1
82	老人クラブに補助金をもらっているが、提出する用紙が多すぎるので考えてほしい。老人クラブの各自の人々が思っているの、係に云って下さい。よろしく。別のことで申し訳ない。老人の楽しみを考えてほしい。老人が多くて大変でしょうが。買い物など大変困っている人もいる。		1				1							1	
83	高齢者が多い地域なので、もう少し喜びがほしいと思う。たとえば、温泉の日、食事の日、娯楽の日、観劇など楽しく過ごせる日があればよい。願っています。又日ごろ逢わない人とも会ってうれしいですね。		1												
84	問9-6の中にある特別養護老人ホーム等入所施設の充実であろうと思う。移送サービスの充実も必要である。予算的な根幹の、問題があるが？							1	1						
85	高齢になれば自分の意志とは関係なくだれかの世話にならなければならない現実があるのだから、それを踏まえて能勢町が何をするか具体策を提示してほしい													1	
86	娯楽の場所をたくさん作ってほしい。好きなことをして楽しみたい。今まで、働いてきたのだから…!! ゲートボール、手芸、音楽、映画、民よう、色々なことが出来る所があるとうれしい。毎日通いたい。西能勢ばかりでなく東地域の方でもつくって!!		1												
87	交通の便を良くしてほしい。バスの回数を増やす、電話でお願いしたら家まで迎えに来て欲しい							1							
88	今現在では元気で動けているので先の事はわからない。何かあれば一番に子供達に相談します。					1									
89	コロナのためいきいき体操も自粛となりました。各自での体力づくりなり、工夫しながらやっているが、忘れることある。週1回集まり、皆でするから一緒にがんばれる、楽しむことができる大切さを感じた。				1										
90	今の所元気ですので考えが出て来ません。今の所、車が運転出来るので良いのですが車に乗れなくなったらどうしようと考えますね。気分が良くなり色々な所に自由に行けるから楽しいです。					1									

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	地域（地区）には、民生委員や社会福祉委員の任務に就かれた方がおられますが、大半は別の分野の職に長年勤務されていて、福祉の分野には精通している人は少ないみたいです。『ご苦労様』というしかなく、信用していない訳ではありませんが、相談するにはあまりにも個人的な事なので限界を感じます。また、従来より顔見知りであることが却って氣を使う要因になり、相談できる相手とは思えないのが、正直なところです。できれば、最初から専門職員の方と面談し個人に応じた適切な指導を受けることを望みます。	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
91	件数⇒					1									
92	現在は車を運転出来るので移動に関して不自由はないが、近い将来運転が出来なくなった時に行動範囲が限られ楽しみが減る事が一番の悩みなので交通機関の充実が最大の望みです。							1							
93	まもなくバイクに乗れなくなるので移動の方法を能勢町でもっと考えていただきたい							1							
94	このアンケートの設問の仕方があまりにも不適切。この調査の結果をもって「事業計画」を作るのは無理です。														1
95	福祉サービスは知っている者が得をし利用できるという制度から脱皮するため地域包括支援センター等の組織体制を再考・充実させ、各地区を拠点とした、密着した見える福祉制度により、高齢者住民が手軽に利用できるものにする取組。町内等の移送サービスにおいて、通学バスの一部を昼間帯、色々なコースを設定し住民が利用（公共交通）できるように行政全体で施策願いたい。					1		1							
96	いつまで車の運転ができるか不安があります。町内でコミュニティバスを運行してもらえると病院の受診、買物等に利用でき、少し不安が解消します。						1	1							
97	サービスや施策の理解が不足（私自身）					1									
98	家賃支払っての年金生活は大変なため、上記⑧⑨の高齢者向け住宅。特養の充実をお願いしたいです。いつもきめ細かいご尽力ありがとうございます。								1						
99	30年以前の生活の範囲で記入致しましたのでご回答下さい。今も継続している生活もたくさんあります														1
100	行政の充実が一番と思われます。人口が少なくなっていく原因は何なのか？何につけ不便と高齢化を防がなければ													1	
101	交通手段を考えて欲しい。今のバスは役に立たないと思います。							1							
102	路線バスを減らしておいて外出しろと言われてもどうすればいいのかわからない。							1							
103	町内の移動に利用できる交通手段の整備							1							
104	もっと若い人が住みたくするような街にしてほしい												1		
105	特養の施設の充実。最新設備やホーム内容の充実								1						
106	あまり考えたことがない。33年間働いてきたことが一番楽しかった。今でもあの時のことが良かったと思っている。														1
107	問9-6の項目を早急に充実していただくとありがたいです													1	
108	養護の老人の施設 安くて								1						
109	他の自治体に比べ財政的な面からでもあるが、劣っているし、高額である。高齢者には厳しい。										1				
110	いきいき百歳体操が出来なくて残念です。一人ではなかなかする気にはなりません。皆でわいわい言いながらするのが気持ちいがほぐれてすっきりします。6月から始められるのでしょうか。気になります。				1										
111	利用したことがないからわからない														1
112	気づかない、問9-6で○をした三点を早急に充実してほしい													1	
113	いつも気づかいいただきありがとうございます。感謝いたします。														1
114	バスの運行時間を考えてもらいたい。福祉バスの利用時間も広げてもらいたい。これらのせいで行動が狭くなっている。家からでなくなった。能勢町は人が生活できる町ではないとつくづく思う。								1						

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
115	介護保険制度を利用しないと損と思う人が多い。昔人間かもしれないが家族社会を壊すのが介護保険制度で、家族関係が軽化させたのは行政で保険料を納付したくないし、制度を利用したくない。調査票に記名欄はないが、記入者が特定できる番号はなぜ必要なのか連絡してほしい。是非。														1
116	バスに乗る様になれば回数券などの配布があれば良いと思いますが！！（年齢別に枚数を考えたりとか）							1							
117	特養施設充実拡大。能勢町以外への買い物、病院など交通手段の拡充（高齢者運転は厳しくなる）						1	1	1						
118	79歳の主人は運転で外出、私は免許がないのでバスの便が少なく外出が困難です。							1							
119	サービス等について知らないことが多い。今まで他人事だと思っている					1									
120	巡回バス							1							
121	日頃この福祉のお仕事に携わって下さる職員の皆様に感謝申し上げます。高齢化社会に突入し多くの高齢者を支えるにあたりますますそのニーズに対応するのは大変な事だと思います。一個人としては今は健康で暮らせる事に日々感謝です。この先の事はわかりませんがなるべく人に頼らず生きていく色々な力を養いたいと思っています。これからも地域福祉の為に愛を持って仕事頑張ってください。														1
122	何事も人任せ、行政任せにしないで自立した大人になること														1
123	配食を利用させてもらっていますが、土日はお休みであるのと、お弁当のメニューがあまり高齢者向けとは思えないです…ボランティアさんのお弁当がとても楽しかったのにこのコロナで作られていないようで…また、今は昼食の配食ですが、夕食の配食であれば良いと思います。昼食は軽く済ませやすいからです。要望ばかりで申し訳ないですが、先程も書かせていただきましたがボランティアさんのお弁当はほんとうに美味しくてありがたく思っています。そして毎回お声いただいて生活のハリが出来て良かったと思っています。						1								
124	せめて1時間に1本のバス運行を願う							1							
125	公共交通（バス）能勢町独自のバス運行の充実を実現すること							1							
126	バスの運行時間を増やしてほしい。阪急バスにたよらずに、能勢バスとしてマイクロバスの様な、小さなバス、西から東、東から西へ、能勢温泉などへきめ細かく、移動出来る様にしてほしい							1							
127	今年はウィルスの感染拡大で医療、介護者の方々のご苦労を考えるとお世話かけない様に頑張らねばと思うばかりです。役所の保健福祉サービスの方、本当に頭の下がる思いです。いつもありがとうございます。														1
128	車の運転ができなくなった時、交通機関の不便を感じると思う。自分の足となって頂ける移送サービスの充実を図ってもらえたらと思う。							1							
129	いつもご苦労様。感謝しますね。ありがとう♡														1
130	貧困家庭でも受ける事が可能なサービスの充実									1					
131	高齢になると今までできたことが身体的にだんだんできなくなってつらくて不安になります。仕事をなくしたら、すぐにお金の面でも困ってしまうし、先のことを考えるのもつらくなります。先の安心が欲しいです。福祉サービスのさらなる安心が欲しいです。									1					
132	10年後、15年後高齢者が多くなります。支えていただける福祉サービスの方々が大変に思えます。お世話になります。よろしくお願いします。														1
133	元気な高齢者の交流の場がない。体育館とかをもっと開放に、外に出ていける場が欲しい。		1												
134	この設問でどのような事を考えているのかよく分からない。経費が無駄です。														1
135	交通対策を早期にしてほしい。利便性が悪いのを理由に引越した方もいる。							1							
136	今のところ体の方も大丈夫ですが、逆に福祉サービスが何をしてもらえるのか教えて下さい。現在65才です。大阪から移ってきて約30年になります。が子供の数が少なすぎです。お年寄りの事よりも若い人に能勢に残ってもらって子供の数を増やした方が良いのではありませんか！					1							1		

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
137	能勢町には福祉政策の豊富な知識と行動力、実行力のあるリーダーは少ないのでは か？もっと、他県の自治体等を研究して下さい。それには、町長さんの力量です。力量 の無さにはウンザリです。（福祉関係だけではなくありませんが…）もっと改善を望みま す。													1	
138	高齢者が他府県へ移動する場合、ローコストの公共手段は限られる現状であり、スクー ルバスの空き時間に能勢電山下駅前まで、利用できる、バスを動かしてほしい。数年 後、財政赤字団体、人口減による公債の返済源の不足が見込まれる現状で福祉政策の充 実ができるのか疑問に思う。							1							
139	入院、入所できる施設紹介と充実					1			1						
140	病気や怪我によって寝たきり状態になってしまうので、今私がどうしてはいい と、いっていても又変わります。町としても一人一人の悩みをしっかりと聞いてもらっ てふさわしい手当てをしてあげて下さい。いろいろとありがとうございます。今後ともよ ろしくお願いします。					1									
141	現在母親の介護をしています。自分は働きながら家事はもちろん他の用事などはすべ てしなければなりません。経済的にも余裕がないので負担はかなり大きいです。毎日毎日 が本当に辛いです。もう少し介護をする側に立って考えてもらえるかと助かります。最後 が不幸になるのが嫌なのでお願いします。					1									
142	高齢者に対する思いやりのある人になってほしい														1
143	能勢の歴史、文化、特性を考えた政策立案研究を推進してもらいたい。他の自治体の後 追いでは問題多い。今の政策の問題点、状況を町民に知らせながら進める。													1	
144	今は自由に元気に車で移動していますので、なかなか先のことは実感がありません。					1									
145	趣味を持ち同好会を積極的にしてほしい高齢者の方を月に一回集まって頂きそこから 個々にグループができ前向きに対話ができる友人をつなげていきたい最初のとりかかりを していただきたい		1												
146	現在高齢者時代の為か？ 各地域の関わりが薄いと思う。人口減のためか、もう少し人 と人との関係がもと福祉の方へと考えてもなかなか難しい			1											
147	特養施設の充実・働く場所の設営	1							1						
148	保健福祉課の方に国保等の件で訪庁しますが、職員の方々は、とても親切に対応してく ださるので感謝いたしております。保健福祉サービスは今のところわかりません。														1
149	歩いて行ける場所に居場所（サロン）を設置してください。		1												
150	昨年5月、いきなり家族3人共倒れ。初めて包括支援係様にお世話になりました。それま で当り前のように健康な生活を送っていました。母の入院、夫の入院、介護者である私 の骨折、頼れる実家の母の死、兄・姉の交通事故…と一斉に重なりおろおろ状態で包括 支援窓口を訪れました。病人、家族の立場に立った新設で的確なアドバイス、手続きを 早急にしていただき、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げま す。現在寝たきり（母）から見事に回復し、デイサービスに行きながら元気に過ごして います。私たち夫婦があまり元気でないので今は不安です。またご相談にお伺いするか もしれませんがその節はよろしく願いいたします。					1									
151	色々なサービスの充実が必要だし、ありがたいですが生活保護を受けている人の方が （金銭的にも老後の心配にも）余裕があると思える生活をしている者にとっては、金銭 的に無理。現状では充実すればするほど色々な税負担も増える。特養は現状要介護4で ないと受け入れ先がなく、デイ含む施設利用も多額。家族の金銭的、肉体的負担が少な くなればと願う。									1		1			
152	憩いの場がない（お茶を飲んだり、お話したり、楽しく過ごせる所）。町の施設の利用 （グループ活用は無償で）。サービス付き高齢者向け住宅が少ない。交通の便が少ない （無償か、1回100円位でボランティアの活用）		1					1	1						
153	1つでも動けるように願いたい！														1
154	私はヘルパー2級で仕事もさせてもらっています。そして、大阪市内に週3回働いていま す。能勢町でもお仕事させてもらったことがあります。でも、長時間の勤務はきついで す。短時間のヘルパーのお仕事を高齢者のヘルパーにも欲しいです。	1													
155	このような調査は無駄だほおっといて														1
156	現在、実施されている「保健福祉サービス」「高齢者施策」等詳しく知りたい。					1									

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
157	図書館を早く開いてほしい													1	
158	現在、自立して、日常生活できていると思っているが、高齢が進んでいくとどんな障がいが出てくるか不安である。その時に、自宅で看取りケアを受けながら最後が迎えられよう施設等を充実してほしい。										1				
159	五月に聞かれても答えるのに困る														1
160	スマホ、タブレット、電話、ファックス等による見守りにつながるための使用、購入、使えるための講習会をしてほしい					1									
161	例えば、元気に自立している人は健康維持や健康づくり等の教室を主催、健康や精神的に不安のある人は地域の助け合いや支えあいや相談窓口を希望するでしょう・身体や脳に支障がでた場合は介護や施設が必要です。なので今の自分の現状や体調によりサービスや希望が違って来る様に思います。加齢と共に変化するので希望やサービスも変わってきます					1									
162	最期まで能勢の地で暮らせたら幸いと思っています									1					
163	仮想の実現は不可能自己完結で満足する以外なし老人は毎年かならず増加する検討中は金いらず。人は誰もやがて高齢者になる														1
164	現在の私には高齢者との認識がない														1
165	公共交通機関の充実、病院がない、その対応策も見えてこない					1		1			1				
166	独居老人増加に向けての施策														1
167	高齢者の学習等、継続できる。脳、健康活性化できる教室があれば参加したいです。引きこもり寝たきりにならないためにも、健康寿命めざして。				1										
168	1人暮らしの高齢者であっても民生委員の家庭訪問を受けたことがない。町から委託金？をもらっているのだから旅行に行くのが能ではない、もっと動くべきだ					1									
169	このアンケートの結果や結果に基づいての施策は、いつ頃どのように知らせてもらえるのでしょうか。					1									
170	現在は自力で動いて生活できていますが、身体が不調になったときにすぐに相談できることを知っておきたいと思う。その時は、よろしく願います。川西市立病院がなくなるのは不安症状が悪い時はどのような手順で動けば的確な治療を受けることができるのか不安です。※現在は自粛生活の為、平常の生活の内容でアンケートに答えています。					1					1				
171	現在は主人と2人暮らしですが夫の運転で外出や病院、買物と生活に不自由さはさほど感じません。しかし高齢になると思う様に外出できなくなる不安が大きい。百歳体操は近くであり大変良いと思うが、それ以外は少し遠い。出かけたが足（車）、夫が運転出来なくなったり1人暮らしになるのが今のままでは不安が大である。							1							
172	どのようなサービスをしているのか等がわからない。普段から住民に気軽に声かけをしてほしい。					1									
173	能勢町は高齢者の多い地域なので、能勢町ならではの山間を利用した取り組みを考えていきたいですね。どうしたらいいのでしょうか？												1		
174	孤独を好む老人が多いが、亡くなって何日も発見されなかったという町にだけは、してほしいです													1	
175	息子が障がいがあるので死んでも死にきれない。息子の障がいを最終までしっかりとみてくれますよう。					1									
176	問9-6にあるようなことすべて充実してほしいものですが、財政的に無理だと思えます。せめて税金のムダ使い、不要な政策による後世に借金強いようなことはやめて、町民に有効な税金の使い方をしてほしいものです。貧しいなら貧しいならではの助け合い、工夫があることが本町で暮らしていてよかったーと思えると思います。ぜひ町幹部、町議会がそのような絆が生まれる街にするために考えてほしいものです。			1										1	
177	町を挙げて、真剣に取り組むならば、まず人生の先輩達に老後は長生きすればこのような、安らげる場所が用意されている喜んで暮らせる場所を提供しますと、声を大にして活動し、そのことを若者達にも知らせしめ、若者にも明るい未来があることで長寿社会に希望の光が差し、この町の未来も開かれると思います。経営者はとんでもない人間で金儲けのツールでしかないと平然と何百億儲けたのもう一つもう一件と大きくしています。全て税金ですよ！！（能勢町は公で始めてほしいです期待を込めて！）		1										1		1

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
178	①移送サービス ②配食サービス						1	1							
179	町は娯楽施設が少ないので、能勢温泉、汐の湯温泉などが半額で入浴できたら良いと思います		1												
180	最近思うのですが70歳以上の人が親切ではなくなっています。昔はお年寄りは親切で優しかった。認知症のふりして本当はボケてない。能勢町の中には悪質な施設はないと思うけど。														1
181	能勢町の保健福祉サービスの健康保険と介護保険が年金で引かれているのがもったいない。出来たら払いたくない。											1			
182	真のニーズをしっかりと考えてくれる場。行政側からでなく、P/P(顧客)側に立った配慮を特にお願する次第です。													1	
183	一人暮らし高齢者に対して介護サービスが受けやすい制度にしてほしい									1					
184	能勢町の場合、包括支援課を訪ねたらいいのでしょうか					1									
185	このアンケートはコロナの時期に実施しても意味がないと思うが如何														1
186	公共交通機関の充実。町内での高齢者への助け合い（現状ではこちらがあいさつしても、隣の人でもあいさつなし）			1				1							
187	現在、主人が認知症のため老人ホームにサービスに5年程前からお世話になっているのですが先々特養の方に行くことになりますと経費が2割負担の為利用料が高くなりますので金銭的にどうしたものかとそれだけが心配しています。認知症が大分進み2年前から入浴を全部洗っています。私も86歳になり体力的に非常に厳しい毎日です。									1					
188	住民の高齢化に伴う職員への負担が少ない。痛み・不自由さを客観的にみて後回しにされたり必要ないと判断されることが多い									1					
189	交通機関の充実							1							
190	自分が入所したい施設、そんなパンフレットはどこでいただくのですか！ 今75才。80才から入所できる施設知りたい					1									
191	後期高齢者の健康保険料が高いと思う。今は自分で車の運転をしているが、いつまで出来るか不安。							1				1			
192	交通も不便だし分りません							1							
193	誰もがどんな状態でも本人が望む人生を送るためのサポートを権利として保障したい。すべてを公的サービスにゆだねるのではなくて助け合いによる共的サービスをわかちあえたら良いと思います。			1										1	
194	ひとり暮らしが多くなってきた状況で元気なときは自らが出かけあるいは電話等で相談はできるか病気の場合、家族がいないと相談することは難しくなると考えられる今までは申告制これからは問合わせ制があってもいいのではと考えられる					1									
195	神奈川県横須賀市の取り組みで希望する市民の「終活情報」を市役所が預かっている事業を能勢町でもしてほしい。「命のかげ」の取り組みはあるけれどもう一步踏み込んだものにするには参考にして実現してほしい。一人暮らしの高齢者が増えるので													1	
196	今は妻が介護を受けてます。能勢町福祉は良くしてくれます。能勢町は良い所です現在住んで良かったなあと 생각합니다。														1
197	山林を開拓して高齢者施設を作ってください								1						
198	時間ができれば車で走っています。空家や畑が草ぼうぼうになってたり…。すてき能勢町を時間のある高齢者が再利用、有効利用でき、若い人に目を向けさせたい。能勢町に興味を持してほしい。大阪のすばらしい自然がいっぱいの能勢町に。												1		1
199	選挙投票日、特定健診日は無料送迎バス等で！バス代（500円）かかるのでこれからは行きたくないです！他市に住んでいる時は（学校・公民館）徒歩です。投票は学校でお願いします。なんで学校でできないのでしょうか？							1				1		1	

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
200	1. 相談に行く理由が現状において無い事が第一。 2. ふれあい会館等の充実により、「笑顔で無償のデイサービス」を考慮されたい。 3. 民生子ども委員の充実。肩書きだけと言う役職者が多いのでは？ 4. 能勢町民で良かったと言われ、人口流出の無い、高齢者にやさしい街づくりを目指していただきたい（希望です） 5. 町広報を含め、高齢者に判り易い、広報読むのが楽しみ、 と思えるような広報であって欲しいと思っている。					1							1		1
201	町民が減少している中では、能勢町という単位では無く大阪府、近隣市町村と力を合わせて、又、力を借りて高齢者施設等を建設して、能勢の自然の中でより良く暮らす方向を考えて欲しい。雇用、就労等とてもメリットが有ると考えます。												1		
202	能勢町と豊中市の共有施設をめざしたらよいのでは（1町村の財政ではきびしいため）													1	
203	高齢者の多い能勢町では、事故を起こしそうな運転をしてる人が多すぎる。町が9人乗りくらいの車を用意して1回300円くらいで町内を回してほしい。3台～5台くらい（運転出来ない高齢者が多い）学校の送迎バスが多すぎる。いつも小人数しか乗ってない。大きなバスは必要ない。1番のむだ使いと思う。周りの人達はみな言ってます。							1							
204	高齢者宅をまめに（週3日程）訪問してほしい					1									
205	どのようなサービスを受けられるのか知らない。近所付き合いがないので直接町のサービスのことがわかる。携帯のアプリ等があれば助かる。能勢の中にある高齢者施設の見学会などがあれば参加してみたい。高齢者施設というだけでイメージが暗くて悪い。					1									
206	色々お世話になりましてありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。														1
207	今は必要ありませんが、いよいよ困った状態になってからでなければ解りません。					1									
208	高齢者の楽しめる場所を増やしてほしい		1												
209	近所の方が（女性）入所なさっていらっしゃいます。先日1日帰宅のお姿を家の窓から拝見させて頂きました。お元気の御様子を知りホッ！とさせて頂きつつ自分は、金銭的に入所は、無理だろうか…と思いつつ見送らせて頂きました。子供3人の今後に大きな心配をもしながら、涙して居る自分です。（国民年金の自分なので…）保健福祉センターの皆様、今後も大変でしょうが頑張ってくださいませ。														1
210	自分だけのことで良いと思わず、みんなと助け合い、笑顔のできる町であってほしい。能勢町は良いことが沢山あり、楽しい町にしてほしいと。			1											
211	アンケートの数が多すぎる。必要性はわかるがもっと方法を考えて欲しい														1
212	問9-5-1は病気によって違うと思います。老衰なら自宅でいいし、痛みを伴う病気なら自宅での最後は無理だと思います。又、のどにタンがからんでも自宅では取り除けないので状況によってかわるので、答えられません。ほとんどの質問が？って考えられる様な質問の仕方なので、質問の仕方に問題があると思います。														1
213	高齢者が気軽に参加できるサークル（例えば卓球教室）がほとんどない。楽しむ場と機会が少なすぎる（他市町に比べ）。地域の民生委員の顔が見えない。妻は読書が趣味だが、能勢町の図書館（？）はあまりにも貧弱。もっと充実した図書館にすべき。元気な高齢者の活躍できる場と機会を行政主導で提供する（少しでも収入の得られる仕事のあっせん等）→システムの構築（チケット制とか）。元気な高齢者の活躍できる場と機会を行政主導で提供する。・町内にもっと安価（年金でまかなえる）な特養施設の充実（順番待ちの少ない→順番がきた時には死亡していたという話がある）		1			1			1						
214	高齢者が毎日明るく楽しく元気に過ごせるようなサービス、施策を計画実施してください。		1							1					
215	昭和27年生まれの人には少し早い問です。														1
216	近所に病院が少ないので病気になったときに不安があります										1				
217	能勢町にあまり期待しない														1
218	車の運転ができなくなった時の巡回バス？のような移動手段がほしい							1							
219	高齢者の話を、一カ月に一度でいいから会って見てほしい。					1									
220	都合のように利用させてもらってます。ありがとうございます。														1
221	いつもご親切に頂き有難うございます。現在なんとか家の事ができていますがもし、動けなくなって何もできなくなった時はよろしくお願いします。					1									

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
222	囲碁、将棋、麻雀等、娯楽ができるような施設があればよい		1												
223	私の地域で、百歳体操をされていますが、まだ参加していません。今は体操を休んでおられますが、開催されたら、参加させて頂きたいと思っております				1										
224	保健センターに相談しようと思っているので、安心して暮らしています。これからもよろしく願います。社協さんにも親切にもらったことがありました。（姑さんの時にすごく助かりました。だから安心します。）					1									
225	田舎のため何をするにも不便です														1
226	私は旧能勢町職員であったが当時は職員の定数も少なく、昼夜にわたり、カコクな時代を送ってきた。国の制度とはいえ、衰退する時代にかんがみ、子供、孫達のこれから先の事を考えると、不安でいたたまれない。我田引水で世の中を渡れるか？														1
227	最期に近い時点で介護、医療等（床ずれ、薬の副作用による変化など）かかりつけ医院とか相談できるのが安心と思うので、救急車の方にも迷惑をかけないようにシステムのにも参加できるように願います。パーキンソン病でips細胞とかの問題もあるし、かなり現実遠い将来かも知れませんが。各専門病院へは通院していましたが、最期を近くの医院へお願いするタイミングは不明でした。動けなくなって2日で亡くなりました。弱っているのは徐々にわかっていても急に来るので全く突然でした。										1				
228	（１）特定健診受診券が送られてくるのですが、以前に他で人間ドッグを受診しているのではとお話しその結果も報告しているのに送られてくるのはどうしてか？（２）このアンケート調査はこの時期（コロナ感染）にはふさわしくなく無意味だと感じますが。外出したくても出来ない状態なので。														1
229	高齢が多くなり若者は町外に出る。年齢と共に運転ができなくなり、バスが必要。町立総合病院が必要。池田への通院は苦痛。トンネルの明るさを増すべし							1			1		1		
230	義母を介護して自宅老健と5～6年間 最後は1ヵ月自宅で看取りました。老人性痴呆でした、その間骨折・病気で病院入院といういろいろありましたがケアマネや看護の方々といろいろよくしていただきました。自分も若かったし家族も3人でよく協力してくれました。一人で世話をするのはできないと思います。老人介護にこれからはなると思いますが、そして、自宅で世話をするのは大変です。清潔にしきり食を作ってたんとてできないと思います。義母は自宅で大変ニコニコとして喜んで大往生してくれたと思いますがこれを次世代にやってもらうのは無理です。福祉のお世話になりたいと思います。よろしく願います。									1					
231	高齢者お楽しみ会の充実、継続。区老友会への補助金の増額		1											1	
232	今の所必要としていませんが、能勢町には(私の知っている限り)特養もあまりないし、老健等の施設も無いように思います。近くの県の施設に入所・連所されている方が多いように思いますので近くで入所等が出来る施設を希望します。グループホーム等もあれば嬉しく思いますが、いつもお世話になり有難うございます。								1						
233	交通77kmの整備をしてほしい							1							
234	能勢町に2、3か所介護施設が欲しいです								1						
235	施設に入所する時、順番待ちや費用の心配がないようにしてほしい								1						
236	コロナウイルスに対する対応の充実														1
237	家からバス停まで歩いていけなくなった。社協のふれあい号を利用させてもらっているが、時間外でも利用できたら良いと思うことがある。							1							
238	社協福祉協議会や地域包括支援センター、民生委員等高齢者の支援制度の内容や連絡方法等をもう少し詳しく知りたい。これまでに各種のアンケートが実施されてきましたが実施結果による報告をあまり聞いたことがない。アンケートから得られた住民の実態や町としての対応、更にこれらに基づいての府や政府への請願等が知りたい。せっかくのアンケートが活かされていないように思います。高齢者は支援を希望しているが方法や制度の内容がよくわからないのが実態であります。今後とも高齢者に対する広報をお願いいたします。					1									
239	週に2回ヘルパーさんの世話になっていますが、大変感謝しています									1					
240	よそから来たので、能勢町の施策など、わかりません														1

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
241	いろいろお世話になると思います。よろしくお願いします。すみません。														1
242	特養の充実を…								1						
243	ゴミステーションまで5分、バス停まで15分、電車が近くに通ってないので不便。							1							
244	健康はやはり体操だと思います。種類も沢山（200以上）有ります。百才体操も本当に高齢者に喜ばれています。行く所がある…すばらしい！！この地域で出来ることもっと有ると思います。ふれあい居場所も如何ですか。（例えば子供と老人の伝承あそび伝説他）地域を知ることで災害につながると思います。何だかまとまりなくてすみません。		1												
245	高齢者であっても元気な人間がいるので仕事がしたい。令和2年4月30日まで仕事をしていた。	1													
246	まだ元気ですが、何かあった時にお世話になると思うので、よろしくお願いします。					1									
247	交通の便がなく老人二人、一人が悪くなると引っ越しを考えている。知り合いが出来ても同じ様に老いてきている為							1							
248	町内の3診療所があるがもう少し丁寧に診察して欲しい。待ち時間30分以上で診察時間が1分以内。あとは薬を出すだけの医院もある。何も診察しない話を聞いて終わり!! それで費用だけ支払わされている、おかしい!!										1				
249	73歳、ひとり暮らしで運転しているが、運転できなくなった時が心配。							1							
250	現在はまだ、2・3回の3時間ぐらいのパートに出来ていますがこの仕事がなくなると全く家族だけになってしまうので社会との接触がなくなり不安があります。家族が多いので家族の為に食事作りをして年齢を重ねていき知らない間に年齢が高くなっていく事がちょっぴり不安でもあります。そして今は車にも乗れて買い物も出ていますが、出来なくなった時どうすれば良いのかそんな不安もあります。地区によっては違いもあるのですが、公民館活動で食べ物作り等みんなが集まってしゃべったり食べたりする活動があれば良いと思います。（すでにされているところはありますが…）高齢者が身体を動かす場所が必要だと思います。具体的にわかりませんが…		1		1	1		1							
251	能勢町での住みよいまちづくり、運転ができない交通手段							1					1		
252	新型コロナ蔓延の時期に友達と会う機会等、聞くのはおかしいと思う。このアンケートは年度が変わって、当たり前に行っているしか思えない。時期を考えてやるべきと思う。														1
253	気軽にお茶を飲んだり話し合える場所が欲しい		1												
254	私共義母を見て介護しておりますが、家の中でも子供が1人増えた感じで接しています。やはりケアマネジャーさんや、デイに行かせて頂いておりますので私共にとって本当に大助かりです。感謝しております。有り難うございました。									1					
255	不安は運転年齢を過ぎた時のこと。いつまで運転が可能なのか、それが無理になってきた時の対応策についてぜひご考慮いただきたい							1							
256	アンケートの質問事項から具体的施策を連想できる項目を入れるべき														1
257	色々な施設が建てられていますが、予算的には高く将来やっていけないかと不安です。1人になった時、淋しい思いをするのではないかと心配です。真心ある制度で導いていただきたいです。					1								1	
258	交通の便について、バスくらいしか手段はないのですが、バス停が遠い。徒歩で25分はかかる（タクシーを使うことになると思う）							1							
259	町の保健福祉サービスや高齢者施策に詳しくないので意見は特になし！														1

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
260	町囲基クラブに所属して、東部デイサービスセンターの一室で週1回クラブ活動している。また、月2回程度、通所介護施設で囲基ボランティアとしておりお役に立っている限りは続けたいと思っている。東部デイサービスセンターでの活動で思うことは、 （1）駐車場が狭くて置きにくい。山沿いに止めたり、草ぼうぼうの空き地に止めたりしている。（3）百足や蜘蛛などが時々出てくるし不衛生な感じがする。（2）15時半迄の時間制限が16時半位まで伸びると活動にゆとりが出るが…（4）デイサービスの方から歌声が聞こえてきたりするのとは楽しく感じられ時々眠いたりする事もある。（6）多分、囲基クラブの活動場所も歌垣小学校の跡地に移りそう。駐車スペースの問題は解決できるかもと期待はしている。（5）ほとんどの方が西地区から峠を越えて参加されており西地区からの参加者にとっては負担が多い。年を取って自家用車の運転ができなくなると参加できなくなる。活動場所が西地区に移ると東地区の方に負担がかかり同様の問題が起こるので難しい問題だが…。例えば宿野の社協に一堂借りて隔月で場所を交代するのはどうかと考えますが、これについては参加者の意見を聞く必要があるでしょう。（7）町の方が活動状況を確認に来られることはほとんどない。他の高齢者活動でも同じではないか？ 公の施設を利用しているのだし、やはり年1回は活動状況を町職員がチェックするべきではないでしょうか？ 現状ほったらかしに近いと思う。		1					1					1	1	1
261	新型コロナでアンケートの時期が悪かったですね。新型コロナで仕事も大変でしょうが、頑張ってください。お互い体に気を付けて。														1
262	国保税が高すぎるので下げるべきです。年金のみの収入になると本当に生活が厳しくなると思います。											1			
263	現在主人がデイサービスと訪問入浴とケアマネジャー様に良くして頂いているのでとても喜んでます。私も老友会役をしているので、自分の為にも頑張ろうと思います、とりあえず、今はコロナにならないように外出は早めに行ってます。									1					
264	なるべく自分で動いて終えていきたいです														1
265	現在は健康に毎日を過ごしておりますが、いずれは色々な福祉サービスのお世話にならなければいけなくなると思っております。今の健康な間に様々なサービスの内容を勉強しておきたいと思っております。					1									
266	人間ドックの助成金を増額してほしい													1	
267	出来ましたら、月に1度か2度部落の公民館に来てくださって保健師さんや栄養士さんとお話したいですね					1									
268	出来ないことが多く思考が低下して、まるで乳幼児な状態になっても年を重ねた大人であり尊厳を守るふさわしい言葉で接することは心の満足に与えます。能勢の保健福祉サービスに希望期待することは管轄の施設従事者が「個人の尊厳を見守り温かく接する」と感じさせる指導教育を行っていただきたい													1	
269	大変良い町だと思いました。サービスも充実していると思います。景色もきれいで良い町だと思いました。														1
270	公共交通の充実をお願いいたします							1							
271	保険料が高い											1			
272	町内に老人の入所施設がないがどの様な計画がありますか。町外への入所は条件的に不利な事が多いとよく聞きますが…								1						
273	若者が住みやすいサービスの充実を希望します。老人へのサービスは今以上は必要なし未来の能勢を考えて。												1		
274	移動手段の充実をお願いします							1							

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
275	1人になってもできる限り暮らしたいと思いますが…。町内にグループホームも無く、特養など入所施設、デイサービスも川西市や猪名川町へ行かないと受けられません。家族の形態が変化している中、心の支えにはなってくれても、それぞれ子供達も家族があり、私達があたり前のように(仕方なく…かな?)同居というのは、私自身もしんどいな…と思うし、生活のリズムもちがうし…同居はしたくありません。自分自身もそんな気づかいはもうしたくないと思うのと、間に入る息子や娘達にあんなしんどい思いさせたくないと思います。入所施設と、移送サービス、せめて山下か日生中央軌道のある所までの送迎をして欲しいです。自ら運転が出来なくなった時の事を思うと、楽しみも激減してしまうだろう…と、淋しくなります。							1	1						
276	交通機関の充実、配食、買物等の支援サービス						1	1							
277	交通機関を良くしてほしい							1							
278	車の運転が出来なくなった時の移動手段を考えてください							1							
279	町内に入院施設が必要と思います。								1						
280	高齢になり運転免許返納を考えているが能勢町の公共交通機関があまりにも貧弱なので今のところは絶対に返納は出来ない。能勢町は高齢者入所施設が青山荘しかないと思うのでこの先施設入所を希望してもできるかどうかとても心配です。							1	1						
281	今は主人が福祉の方々ととてもお世話になって申し訳ない。自分は夜も寝られず今は4回トイレの世話でとても83才の私には酷なことでもそれはしかたないので今一生こうしています。									1					
282	福祉バスなどの交通機関の充実。現在77才。免許更新ができなかった場合、交通の便が極めて悪い。この地では、とても住めない。							1							
283	交通の便をもう少し考えてほしい。高齢者は運転も難しい為、バスを増便してほしい！病院にも朝の便が少ない為、病院にも行けない！							1							
284	高齢化社会が進む現在、高齢者に生きがいがある方が持てる能勢町作りを加速してほしい。よろしく！												1		
285	食べる事が一番の楽しみになりましたが、一人ではどんなにごちそうでも味気ないものです。地域ごとぐらいでお食事会（健康志向献立）を兼ねて健康教室等気軽に参加でき、おしゃべりもできたらと思います。そうなれば自分なりの身だしなみにも力が入るのではと思います。お考えくださいませ。				1										
286	人口一万人千人を謳った時代もあったが、瞬間に一万人を切ってしまった能勢町の人、今後増々少子高齢化が進行する能勢町において、保健福祉・介護保険事業施策などは大変な時代に突入することが予想されます。今回のアンケートを基に、この度の高齢者保健制度がより良き施策として実施されることを祈願しております。													1	
287	このアンケートの項目で集計結果が施策等に果たして有効か疑問に思う項目がありました。どちらかといえばこれは個別の相談で聞くべきことでしょう・・・助け合い支えあいというよりも生きがいがある方がいきいきと活動できます。														1
288	他府県（広域連合含む）や近隣市町の設備施設の利用														1
289	高齢者が集まって楽しく話したり遊んだりする場所がない		1												
290	訳あって自治会には参加していないので会から配布される「広報のせ」を読んでいません。従って能勢の町政情報や福祉・健康関係は把握できておらず意見はありません。					1									
291	民生委員さん等が時々来られてお話をしてみたいです。					1									
292	家族が核家族化している現在だから能勢町など若い人が働ける場所やとっとみんなが喜んで住める所になれば良いと思う。何もないからみな若者は出て行ってしまいたい。ましてや結局老いてからも帰る人が少ない気がする。子どもが昔のように外に出ていいる事がないみたい。さみしい時代だと思います。												1		
293	シルバー人材センター以外でちょっとした家電や大工をしてくれる人の紹介等々					1									

【能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 自由記述設問 結果】

NO	問9-7（自由意見）	働く場所	集いの場	地域の 支え合い	健康 づくり	相談情報 提供	配食買物 支援	交通対策	サ高住・ 入所施設	在宅介護 サービス	医療体制	介護 保険料	まちづく り	町への 要望	その他
	件数⇒	3	24	6	7	58	10	80	21	20	11	9	21	24	68
294	仕事の関係で大阪市内に仮住まいしているが、来年をめどに能勢に戻りたい。単身なので心細い。必要な時に心的サポートを受けられると良いなと思っている。					1									
295	2020年、高額医療費制度利用させていただき認定証を迅速に送付いただきありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。														1
296	能勢町には役場に大分勤務していて福祉に努力してきました。私の時は一人で全てしていましたが今は人数も増えて充実している様に思います。大臣表彰や知事の感謝状等頂きましたが皆能勢の家にあります。能勢の家には長男夫婦が住んでいます。														1